

令和4年度

川崎市健康安全研究所年報

第10号

(通巻第58号)



KAWASAKI CITY

川崎市健康安全研究所

(発行：令和5年度)

はじめに

昭和27(1952)年川崎市中央保健所内に設置された川崎市衛生試験所は、昭和45(1970)年川崎区大島町にて川崎市衛生研究所となり、平成25(2013)年川崎区殿町国際戦略拠点キングスカイフロント(Kawasaki INovation Gateway at SKYFRONT:KSF)の一面に新築された川崎生命科学・環境研究センター(Life Science Environmental Research Center:LiSE 通称「ライズ」)へ移転し、名称を「川崎市健康安全研究所」と改め、令和4(2022)年度で9年を経ました。KSF地区全体には、公的・民間研究機関が多く集まり、それぞれが活発な活動を始めています。これらの施設・機関のほとんどは「イノベーション」をキーワードとしていますが、私たち川崎市健康安全研究所は、「市民の健康と安全を守る」をキーワードとして、公衆衛生にかかわる幅広い調査そして研究を行う公的研究機関として活動をしています。私たちは、まず日常的な調査業務を着実にを行いながら、公衆衛生に資する新たな知見を生み出す研究を継続して行い、その中からイノベーションが生まれてくるようにしていきたいと思っており、KSFの中でもユニークな存在となっています。

令和元(2019)年末に中国武漢市で発生し世界に拡大した新型コロナウイルス感染症は、日本もそして川崎市も直撃を食らい、令和4(2022)年度末までに8回の波を経験することになりました。その間、検査を担当するウイルス担当部門、情報を担当する感染症情報センターは多忙を極めましたが、所内総務、細菌部門や理化学部門等全所的な応援により対応することができました。当所で行った令和2(2020)年度の新型コロナウイルスPCR検査検体数は30,477件、令和3(2021)年度全体40,683件、令和3(2021)年7月からは検査の一部を民間委託としたことにより令和4(2022)年度は10,587件となっています。この中で検査に関する大きなミスもなく、成績を出し続けることができたことは、公衆衛生研究所として胸を張ってご報告できることと考えています。対応の変更に伴い検査数が減収したため、新型コロナウイルス発生以前より購入していた2台の次世代シーケンサー(NGS)の取り扱いも可能となり、地方衛生研究所の中でもいち早く本格的な新型コロナウイルスのゲノム解析に取り組むことができ、一時は周辺自治体の検体のNGS解析受け入れなども行いました。NGSによる分子疫学的解析は94ページの様な発表を行い、学術的にも高い評価を得ています。

新型コロナウイルス対応で多忙を極める一方、通常の業務については滞ることなく遂行し、じっくりとした研究への取り組みの時間はやはり減少したものの、学会発表や論文発表など、引き続き行うことができました。一時かなり縮小された学会や研究会、研修・講習等への参加は、令和4年度には現地開催となるものも増加したため、現地参加・オンライン参加の双方を使い分けるような形で積極的に研鑽を続けるように致しました。また当研究所への見学研修も回復傾向となり、「夏の科学イベント」へは事前申し込み制でしたが233人

の親子連れが当研究所を訪れ、実験室内で実験操作体験などを楽しんでくれました（30 ページ）。

当研究所における機能強化と実行、進展は、新型コロナウイルス流行下においても着実に進められております。川崎市の関係各位・各部署の御理解と御協力、各地方衛生研究所等との連携、KSFにおける顔の見えるお付き合い、そして市民の方々の御理解の賜物であり、この場を借りて改めて厚く御礼申し上げます。

当研究所が、川崎市民の健康と安全、ひいては我が国そして世界の人々のための公衆衛生の向上に貢献できるよう、そしてその様子を引き続き皆様にお伝えすることができるよう、職員一同精進を続けることを本年も改めてここに誓うものです。

川崎市健康安全研究所 所長 岡部 信彦

歴代所長

福田 諄	昭和	45年	6月	～	昭和	49年	3月
杉原 正造(所長事務取扱)	昭和	50年	4月	～	昭和	50年	7月
本庄 茂敏	昭和	50年	8月	～	昭和	51年	10月
依田 源次(所長事務取扱)	昭和	51年	10月	～	昭和	52年	3月
長田 信	昭和	52年	4月	～	昭和	57年	1月
中村 武雄	昭和	57年	2月	～	昭和	61年	3月
和田 明	昭和	61年	4月	～	平成	2年	3月
吉澤 秀明	平成	2年	4月	～	平成	5年	3月
原田 忠彦	平成	5年	4月	～	平成	6年	3月
大村 敏郎	平成	6年	4月	～	平成	9年	3月
安藤 正義	平成	9年	4月	～	平成	11年	3月
佐藤 欣弥	平成	11年	4月	～	平成	13年	3月
黒澤 登	平成	13年	4月	～	平成	17年	3月
小川 正之	平成	17年	4月	～	平成	20年	3月
丸田 茂貴	平成	20年	4月	～	平成	22年	3月
妙摩 博	平成	22年	4月	～	平成	24年	3月
岡部 信彦	平成	24年	4月	～			

川崎市衛生研究所

(昭和45年6月 川崎市衛生試験所から名称変更・移転)



川崎市健康安全研究所

(平成25年3月 川崎市衛生研究所から名称変更・移転)



目次

第1章 概要

1 沿革	1
2 施設概要	2
(1) 川崎生命科学・環境研究センター(LiSE)施設概要	2
(2) 川崎市健康安全研究所の移転開設について	2
(3) 健康安全研究所施設概要	3
3 組織	4
(1) 組織と業務	4
(2) 事務分掌	5
(3) 人員配置	5
4 予算及び決算	6
5 学会参加並びに視察対応等の実績	7
(1) 学会・研究会等出席実績	7
(2) 講習会・研修会等受講実績	10
(3) 会議等出席実績	12
(4) 講師派遣実績	24
(5) 研修指導実績	26
(6) 視察・見学受け入れ実績	28
(7) 研修報告会開催実績	29
(8) 「キングスカイフロント夏の科学イベント2022」への出展	30

第2章 業務実績

1 企画調整部門	31
(1) 企画調整担当	31
(2) 感染症情報センター担当	33
2 理化学部門	38
(1) 食品担当	38
(2) 水質・環境担当	41
(3) 残留農薬・放射能担当	45
3 微生物部門	63
(1) 消化器・食品細菌担当	63
(2) 呼吸器・環境細菌担当	68
(3) ウイルス・衛生動物担当	70

第3章 試験検査

1 月別検査件数	74
2 依頼別・項目別検査件数	77
3 食品別検査項目内訳	82
(1) 食品別検査項目内訳(理化学検査)	82
(2) 食品別検査項目内訳(食品細菌検査)	83
4 水質別検査項目内訳	84

第4章 調査研究

1 令和4年度調査研究課題一覧	85
2 調査研究報告等実績一覧	87
(1) 令和4年度学会発表実績(口演発表)	87
(2) 令和4年度学会発表実績(示説発表)	88
(3) 令和4年度論文掲載実績	88
(4) 令和4年度行政報告等実績	90
(5) 令和4年度その他執筆実績	91
(6) 令和4年度表彰等受賞実績	91
3 調査研究報告	92

第5章 職員に関する事項

1 人事記録	101
2 職員名簿	102

【第1章 概要】

1 沿革

年月	事項
昭和27.1	川崎市条例第2号(昭和27年1月9日)により公衆衛生の向上及び増進に寄与するため川崎市立衛生試験所が設置される。庁舎は川崎市砂子1丁目7番地 川崎市中央保健所2階の一部を使用。
昭和27.2	川崎市事務分掌条例(昭和22年川崎市条例第16号)に基づく事務分掌規則により「庶務係」及び「試験係」が設置される。
昭和36.7	市内に4か所の原子炉関係施設が設置され、市民からの強い要望に応じて、川崎市立川崎病院構内に放射能測定室を設置し、業務を開始。
昭和36.10	川崎市事務分掌規則の改正により試験係が廃止され、新たに、試験第1係、試験第2係が設置される。
昭和37.9	川崎市中央保健所庁舎が改築され、同時に同庁舎4階に移転する。
昭和40.4	試験第1係、試験第2係が廃止され、新たに、微生物係、臨床検査係、理化学環境検査係が設置される。
昭和42.7	川崎市事務分掌規則の改正により理化学環境検査係が廃止され、新たに、食品化学係、環境検査係が設置される。
昭和44.4	川崎市立川崎病院構内に設置の放射能測定室を閉鎖し、環境検査係内に移す。
昭和44.9	川崎市大島5丁目5番地2(元川崎市交通局トロリーバス車庫跡地)に庁舎新築起工する。
昭和45.5	新庁舎竣工する。
昭和45.6	川崎市条例第2号が改正され、川崎市衛生研究所条例(昭和45年3月31日条例第14号)が新たに 施行される。(名称変更と設置場所の変更) 川崎市事務分掌規則の改正により課制を施行、2課7係が設置される。 微生物課(①庶務係、②細菌検査係、③臨床検査係、④ウイルス検査係) 理化学課(①食品検査係、②水質検査係、③環境検査係)
昭和45.6	川崎市衛生研究所新庁舎の開庁式が挙行される。
昭和46.3	川崎市衛生研究所条例の一部を改正する条例が公布される。(昭和46年3月23日条例第6号)
昭和46.8	川崎市衛生研究所放射線障害予防規程(昭和46年7月29日訓令第14号)が施行される。
昭和46.10	川崎市事務分掌規則の改正(昭和46年10月15日規則第71号)により、1室、2課6係となる。同時に川崎市役所機構改革により公害局公害研究所が新設され、庁舎共同使用となる。
昭和47.4	川崎市が指定都市に指定される。(地方自治法第 252条の19第1項)
昭和48.12	公害研究所が新庁舎建設に伴い移転する。
昭和50.4	川崎市衛生研究所条例の一部改正施行される。(昭和50年4月1日条例第6号) 川崎市衛生研究所条例施行規則が全面改正施行される。(昭和50年4月1日規則第21号)
昭和50.7	4階に実験室を増築する。
昭和61.10	川崎市事務分掌規則等の一部改正により、課、係制を廃止し、主幹・主査制を導入する。
平成元.3	1階に安全実験室を設置する。
平成3.3	電子顕微鏡室を設置する。
平成4.3	3階に有機溶媒排気装置を設置する。
平成4.4	川崎市事務分掌規則等の一部改正により、事務分掌の内容を変更する。
平成4.5	主査(衛生動物検査担当)及び主査(残留農薬検査担当)を増設する。
平成6.4	川崎市衛生研究所条例の一部改正施行される。(平成6年3月30日条例第13号)
平成6.7	川崎市衛生研究所条例の一部改正施行される。(平成6年3月30日条例第6号) 手数料(第7条関係別表)を大幅に改定する。
平成9.5	神奈川県から医薬品検査業務が本市に移管されたことに伴い、4階に医薬品検査施設を増設する。
平成10.4	川崎市衛生研究所条例の一部改正施行される。(平成10年3月24日条例第4号) 医薬品検査手数料を新設する。
平成12.4	川崎市衛生研究所条例の一部改正施行される。(平成12年3月24日条例第12号) 手数料(第7条関係別表)を一部改定する。
平成16.2	川崎市衛生研究所条例の一部改正施行される。(平成15年12月25日条例第48号)
平成16.3	川崎市衛生研究所条例の一部改正施行される。(平成16年3月24日条例第8号) 川崎市衛生研究所条例の一部改正施行される。(平成18年3月31日条例第34号)
平成20.3	川崎市衛生研究所条例の一部改正施行される。(平成20年3月25日条例第20号)

年月	事項
平成21.4	組織再編により第2類事業所となる。 衛生動物検査部門をウイルス検査部門に統合する。
平成24.4	組織再編により第1類事業所となる。 副所長及び企画調整担当を設置する。 環境検査部門を水質検査部門に統合する。
平成25.2	川崎区殿町3丁目25番13号川崎生命科学・環境研究センター2階に移転する。
平成25.3	平成24年10月10日条例第42号により、川崎市衛生研究所条例が川崎市衛生試験検査手数料条例として一部改正施行される。(名称等の変更) 組織改正により衛生研究所を再編し、健康安全研究所を設置する。 感染症情報センターを健康安全研究所内に設置する。
平成25.4	平成24年10月10日条例第42号により、川崎市衛生研究所条例が川崎市衛生試験検査手数料条例として一部施行される。(手数料の改訂) 企画調整担当課長を設置する。

2 施設概要

(1) 川崎生命科学・環境研究センター (LiSE) 施設概要

川崎生命科学・環境研究センター(LiSE; Life Science and Environment research center)は、市の研究施設である「川崎市健康安全研究所」及び「川崎市環境総合研究所」に加え、民間の研究施設が入居した施設であり、殿町国際戦略拠点キングスカイフロントにおける、ライフサイエンス・環境分野の研究開発拠点として建設された。

土地は川崎市、建物は大成建設株式会社が保有し、施設維持管理は大成有楽不動産株式会社が実施するPP(Public Private Partnership)方式が採用されている。

環境に配慮した設計とされており、太陽熱や空気熱を利用した給湯システム、太陽光パネルを用いた電力供給、外壁へのダブルウォール(二重壁)使用による断熱性、メンテナンス性向上等の様々な環境対策が施されている。

表1 川崎生命科学・環境研究センター (LiSE) 建物概要

所在地	〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-13
敷地面積	6,999.93㎡
建築面積	3,110.63㎡
延床面積	11,406.09㎡(うち健康安全研究所使用部分2329.38㎡)
構造	鉄筋コンクリート造、鉄骨造
規模	地上4階、塔屋1階(うち健康安全研究所として2階フロアを使用)
竣工年月	2012年12月
設計・監理	大成建設株式会社一級建築士事務所
施工	大成建設株式会社横浜支店
建物所有	大成建設株式会社
建物維持管理	大成有楽不動産株式会社
主な施設	1F カフェ、防災センター、会議室、書庫、セミナー室等 2F 川崎市健康安全研究所 3F 川崎市環境総合研究所 4F 民間ラボ

(2) 川崎市健康安全研究所の移転開設について

本研究所は平成25年3月、川崎区大島5丁目から、川崎区殿町3丁目の川崎生命科学・環境研究センター(LiSE)2階に移転開設し、名称が「川崎市衛生研究所」から「川崎市健康安全研究所」に変更された。

移転時には、企画調整担当の新設に加え、感染症情報の収集・解析・発信を行う感染症情報センター機能を

健康福祉局健康安全室(現在の健康福祉局保健所)から移管するなど、移転開設に併せて研究所機能の強化が図られた。

研究所の役割は、川崎市の衛生行政を支える科学的・技術的中核機関として、試験検査、調査研究、情報発信、研修指導の4本柱を基盤とし、市民の健康で安全な暮らしを支えることを目的としているほか、実験動物中央研究所をはじめとする殿町地区内外の研究機関との共同研究にも力を注いでいる。

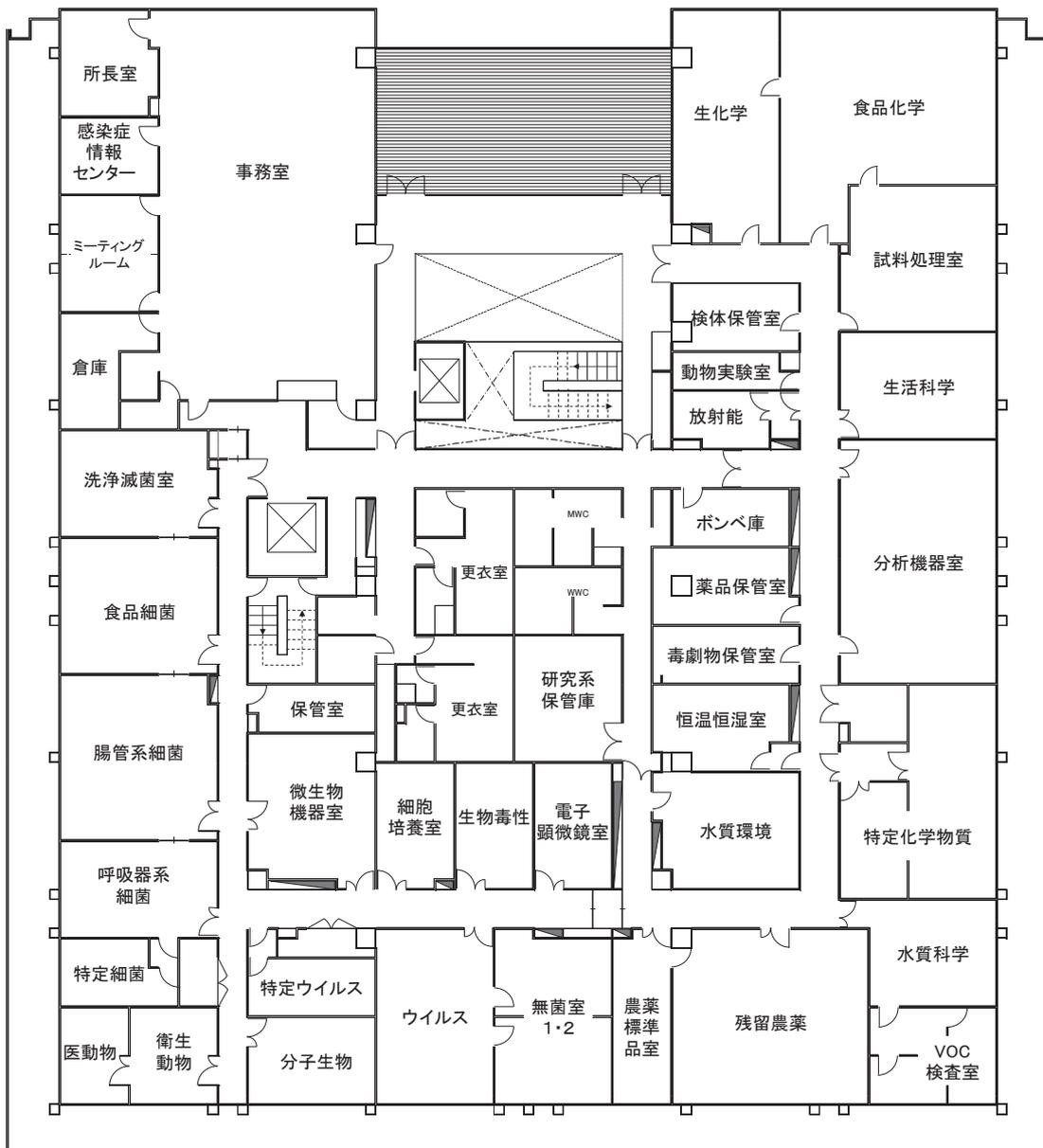
(3) 健康安全研究所施設概要

研究所施設は川崎生命科学・環境研究センター(LiSE)の2階フロア全体を占め、理化学エリア、微生物エリアの他、事務室及び感染症情報センターの4エリアで構成されている。

旧施設の衛生研究所では、事務担当以外の職員の事務机はそれぞれの検査室に配置されていたが、健康安全研究所では全ての職員について、事務室に事務机を配置し、情報の共有化が図りやすい環境となった。

また、それぞれのエリアではICカードによる入室管理が行われている。特に理化学エリア及び微生物エリアは2次セキュリティのフロアとなっており、また入室の権限についても個人ごとに別々に付与されているため、たとえ職員であっても不要な諸室には入室できないようになっている。

図1 健康安全研究所図面(川崎生命科学・環境研究センター(LiSE)2階)



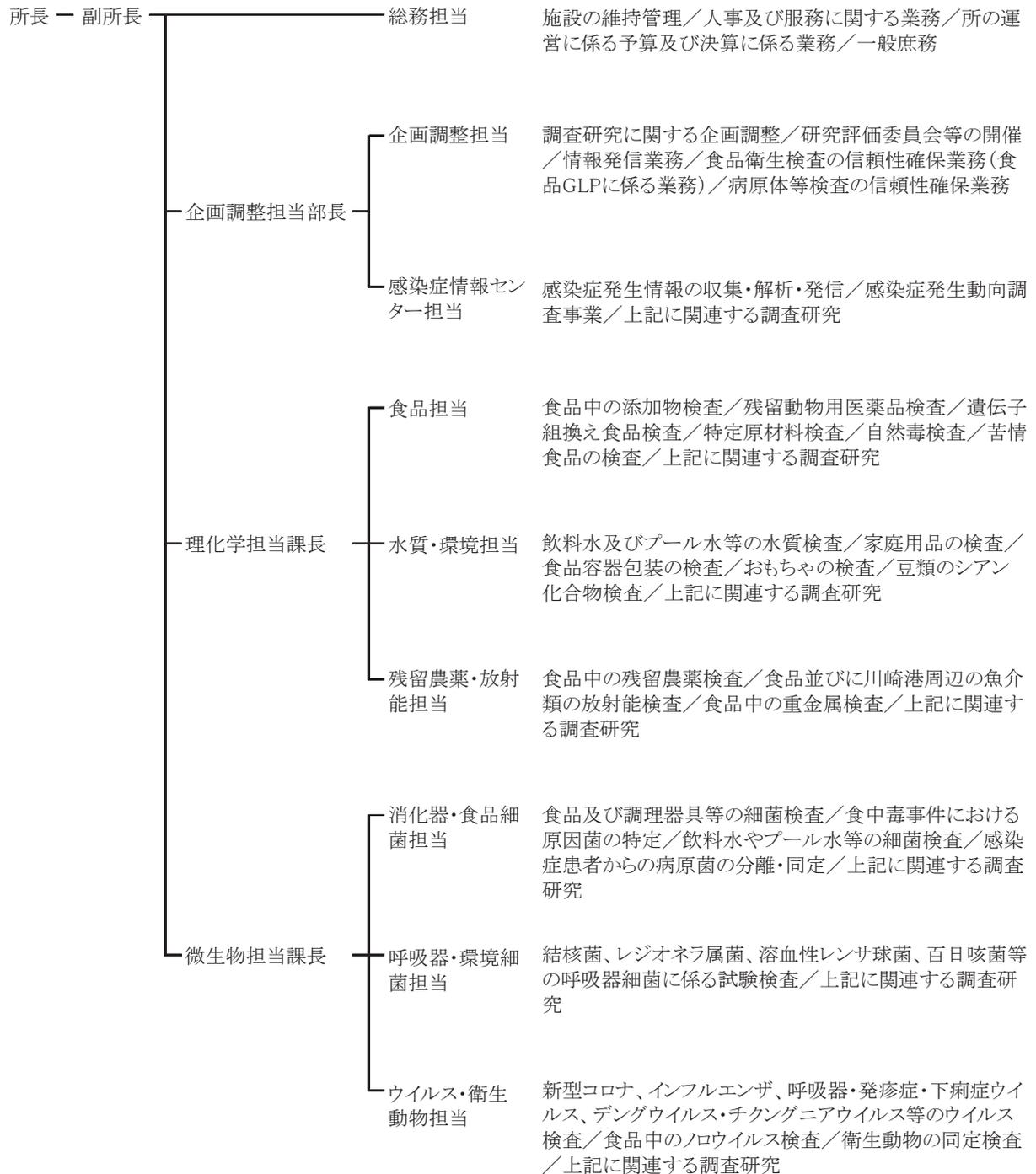
3 組織

(1) 組織と業務

本研究の組織は、所長のもとに9担当で構成されている。

組織体制と各担当の主な業務を図2に示す。

図2 組織図



(2) 事務分掌

川崎市事業所事務分掌規則(昭和 51 年 4 月 30 日規則第 39 号)第 3 条の事務分掌は、次のとおりとする。

健康安全研究所

- ア 所の維持管理に関すること。
- イ 試験検査の企画、調査及び統計に関すること。
- ウ 公衆衛生従事者の研修に関すること。
- エ 感染症情報センターに関すること。
- オ 微生物学的試験検査及び調査研究に関すること。
- カ 衛生動物の試験検査及び調査研究に関すること。
- キ 理化学的試験検査及び調査研究に関すること。
- ク その他公衆衛生上必要な試験検査及び調査研究に関すること。

(3) 人員配置

令和 4 年 4 月 1 日現在の人員配置を表 2 に示す。

表2 人員配置

		職種						総数
		医師	一般事務	獣医師	薬剤師	臨床検査技師	化学	
所長		1						1
副所長				1				1
総務			4		1			5
企画調整	担当部長	1						1
	企画調整			1	1			2
	感染症情報センター			1	2			3
理化学	担当課長			1				1
	食品			1	3		1	5
	水質・環境				3		2	5
	残留農薬・放射能				2	2		4
微生物	担当課長					1		1
	消化器・食品細菌			1	2	3		6
	呼吸器・環境細菌			1	1	1		3
	ウイルス・衛生動物			2	2	2		6
合計		2	4	9	17	9	3	44

4 予算及び決算

令和4年度の歳入及び歳出をそれぞれ表3及び表4に示す。

表3 歳入

単位:円

款項目	節	予算額	決算額
使用料及び手数料			
手数料			
健康福祉手数料	保健衛生施設手数料	472,995,000	179,471,240
諸収入			
雑入			
弁償金	健康福祉費弁償金	0	82,400
雑入	健康福祉費雑入	7,481,000	1,009,380

表4 歳出

単位:円

款項目	節	予算額	決算額
健康福祉費			
保健衛生施設費			
健康安全研究所費		545,159,000	428,630,259
	報酬	2,091,000	1,778,080
	給料	878,000	877,032
	職員手当等	158,000	139,464
	共済費	0	0
	報償費	305,000	80,000
	旅費	1,297,000	825,977
	需用費	151,102,000	63,359,582
	消耗品費	147,197,000	62,070,916
	燃料費	27,000	15,311
	印刷製本費	908,000	808,610
	光熱水費(ガス料)	27,000	37,043
	修繕費	2,943,000	427,702
	役務費	1,325,000	1,020,744
	電信電話料	162,000	149,761
	郵便料	272,000	256,974
	運搬料	5,000	0
	手数料	886,000	614,009
	委託料	53,491,000	45,627,094
	使用料及び賃借料	215,198,000	206,433,168
	備品購入費	66,347,000	55,659,813
	負担金補助及び交付金	52,967,000	52,829,305

5 学会参加並びに視察対応等の実績

(1) 学会・研究会等出席実績

年月日	名称	場所	参加者
R4.4.15～17	第125回日本小児科学会学術集会	ビッグパレットふくしま、郡山ビューホテルアネックス	岡部、三崎
R4.4.17	第119回日本内科学会総会・講演会	ロームシアター京都	岡部
R4.4.22～23	第96回日本感染症学会総会・学術講演会	オンライン	三崎、小嶋、丸山、淀谷、廣富、西里
R4.5.19	小児呼吸器ウイルス研究会	オンライン	岡部
R4.5.19～20	日本食品化学学会 第28回総会・学術大会	東京ビッグサイト	沼田
R4.5.21～22	第95回日本整形外科学会学術総会	神戸国際会議場	岡部
R4.6.12	第63回日本臨床細胞学会総会(春期大会)	グランドプリンスホテル新高輪	岡部
R4.6.16～18	第37回日本環境感染症学会総会・学術集会	パシフィコ横浜ノース・展示ホール	岡部、三崎、小嶋
R4.6.18～19	第63回日本臨床ウイルス学会	北里大学白金キャンパス 大村記念ホール	岡部、三崎、丸山、佐々木(国)、廣富、若菜、荒井(智)
R4.6.30～7.1	第96回日本結核・非結核性抗酸菌症学会総会・学術講演会	omo旭川	淀谷
R4.6.30～7.1	衛生微生物技術協議会第42回研究会	オンライン	岡部、三崎、小嶋、吉田、湯澤、赤星、丸山、廣富、荒井(智)、淀谷、西里、佐々木(国)、畠山、若菜、荒井(千)、夏井、池田、福島、荒木(靖)、浅井、佐藤、江原、今井
R4.7.2	第68回東海公衆衛生学会学術大会	鈴鹿医療科学大学白子キャンパス	岡部
R4.7.5	アジア小児感染症学会	オンライン	岡部
R4.7.8	米国研究製薬工業協会ワクチンカンファレンス	オンライン	岡部
R4.7.8	ペインクリニック学会第56回学術集会	東京国際フォーラム	岡部
R4.7.12	福岡大学東洋医学研究会	オンライン	岡部
R4.8.5～6	第74回日本産科婦人科学会学術講演会	福岡国際会議場	岡部
R4.9.10	第4回SFTS研究会学術集会	山口大学	岡部
R4.9.17	バムサ・第41回トラベラーズワクチンフォーラム	オンライン	岡部
R4.9.18	第35回日本臨床内科医学会	名古屋国際会議場	岡部

R4.9.20～24	第10回国際レジオネラ会議	はまぎんホール	淀谷、西里
R4.9.24～25	第40回東北・北海道小児科医会連合会総会	札幌グランドホテル	岡部
R4.9.26～28	日本防菌防黴学会 第48回年次大会	オンライン	西里
R4.9.27	神奈川県公衆衛生協会令和4年度第2回企画・学術部会	オンライン	岡部
R4.9.29～30	日本食品微生物学会	タワーホール船堀	福島
R4.9.29～30	令和4年度第36回関東甲信静支部ウイルス研究部会	川崎生命科学・環境研究センター	岡部、小嶋、清水、湯澤、赤星、島山、若菜、荒井(千)、夏井、荒木(靖)
R4.10.7～9	第81回日本公衆衛生学会総会	YCC県民文化ホール、山梨県立図書館	岡部、三崎、丸山、廣富
R4.10.11	日本食品化学学会 第38回食品化学シンポジウム	長井記念ホール	栗田
R4.10.13～14	第24回腸管出血性大腸菌感染症研究会	川崎生命科学・環境研究センター	岡部、三崎、小嶋、湯澤、丸山、阿部、池田、福島、荒木(靖)、廣富、荒井(智)
R4.10.14	第26回日本神経感染症学会・学術集会	オンライン	岡部
R4.10.19～21	令和4年度日本水道協会全国会議(第101回総会・水道研究発表会)	ポートメッセなごや(名古屋市国際展示場)	田中
R4.10.26～28	The 10th Asian Congress of Pediatric Infectious Diseases, ACPID 2022	The Shilla Seoul, Seoul, Korea	岡部、三崎
R4.10.26～28	第71回日本感染症学会東日本地方会学術集会・第69回日本化学療法学会東日本支部総会 合同学会	京王プラザホテル札幌	丸山、荒井(智)、西里
R4.10.31～11.1	第59回全国衛生化学技術協議会年会	国立医薬品食品衛生研究所等	岡部、清水、浅井、佐々木(清)、高居、江崎、沼田、今井
R4.11.4	令和4年度地方衛生研究所全国協議会近畿支部自然毒部会研究発表会	オンライン	清水、浅井、赤星、佐藤、江原、今井、牛山
R4.11.5～6	第54回日本小児感染症学会総会・学術集会	アクロス福岡、オンライン	岡部、三崎、丸山、廣富
R4.11.10～11	国際医療リスクマネージメント学会 感染症の危機管理教育セミナー2022	オンライン	岡部
R4.11.10～11	第118回日本食品衛生学会学術講演会	出島メッセ長崎	牛山、江原
R4.11.18	令和4年度地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部第12回公衆衛生情報研究部会総会・研究会	オンライン	岡部、三崎、丸山、廣富、荒井(智)
R4.11.21	第68回神奈川県公衆衛生学会	オンライン	岡部
R4.11.26～27	第26回日本ワクチン学会学術集会	香川県県民ホール(レクザムホール)	岡部、三崎、丸山、荒井(智)
R4.12.2	第43回日本臨床薬理学会学術総会	パシフィコ横浜	岡部

R4.12.3	第90回神奈川県感染症医学会	神奈川県立かながわ労働プラザ	岡部、三崎、小嶋、吉田、丸山、赤星、廣富、若菜、荒井(千)、夏井、荒井(智)、荒木(靖)
R4.12.7	日本公衆衛生協会シンポジウム「新型コロナウイルス感染症～これまでの評価と今後の展望～」	全社協・灘尾ホール	岡部
R4.12.10	第26回SRL感染症フォーラム	JRタワーホール	佐々木、畠山
R5.1.7	大阪大学シンポジウム・感染症総合教育研究拠点(CiDER)シンポジウム「私たちのくらしとワクチン」	グランキューブ大阪	岡部
R5.1.16	シンポジウム 「コロナ禍における子どもの発育・教育・生活を 医療、脳科学、教育、心理、子育ての観点から考える」	オンライン	岡部
R5.1.26～27	第36回公衆衛生情報研究協議会総会・研究会	オンライン	岡部、三崎、丸山、廣富、荒井(智)
R5.1.28	第18回静岡小児感染症研究会	オンライン	岡部
R5.2.3～2.5	第34回日本臨床微生物学会総会・学術集会	パシフィコ横浜	岡部、小嶋、阿部、淀谷、夏井
R5.2.9～10	第34回地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部細菌研究部会総会・研究会	神奈川県総合薬事保健センター	三崎、小嶋、湯澤、丸山、池田、荒井(智)、淀谷、西里
R5.2.12	第23回食物アレルギー研究会	オンライン	佐藤
R5.2.15	令和4年度地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部理化学研究部会	オンライン	清水、浅井、佐々木(清)、岸、佐藤、江原、今井、牛山、三亀、江崎、沼田
R5.2.19	第14回予防接種に関する研究報告会	リロの会議室コンフォート新宿	岡部、三崎、丸山、廣富
R5.3.1～3.3	2023 St. Jude/PIDS Pediatric Infectious Diseases Conference	St.Jude Children Research Hospital, Memphis, TN, The United States of America	三崎
R5.3.6	令和4年度地域保健総合推進事業発表会	オンライン	丸山
R5.3.17	第57回日本水環境学会年会	オンライン	佐々木(清)、田中、牛山
R5.3.25	第18回川崎STI研究会	ステーションコンファレンス川崎	岡部

(2) 講習会・研修会等受講実績

年月日	名称	場所	参加者
R4.4.13	アイスティサイエンス主催「Webセミナー/残農/STQ法ガイドブック徹底解説 第7回」	オンライン	岸、三亀、江崎、沼田
R4.4.14	水道水質・環境分析ウェビナー2022(アジレント・テクノロジー)	オンライン	清水、佐々木(清)、田中、高居
R4.4.21～22	地方衛生研究所サーベイランス業務従事者研修	オンライン	荒井(智)
R4.4.28	保健医療政策部主催「令和4年度違反食品等机上演習」	オンライン	江原、岸、三亀、江崎、沼田、牛山、湯澤、池田、安澤
R4.5.10～11	バイオセーフティ技術講習会 基礎コース48期 座学	オンライン	佐々木(国)
R4.5.18	バイオセーフティ技術講習会 基礎コース48期 実習	習志野	佐々木(国)
R4.5.26	令和4年度神奈川県食品衛生監視員研修(食品監視コース・前期)	オンライン	池田、今井
R4.6.3	第1回iCONM学術セミナー	オンライン	岡部
R4.6.6	日本食品衛生学会主催「残留農薬のリスク管理の動向と食品安全を支える微生物検査」	オンライン	岸、三亀、江崎、沼田
R4.6.6	次期感染症サーベイランスシステム更改説明会	オンライン	丸山
R4.6.9	令和4年度神奈川県食品衛生監視員研修(食品監視コース・前期)	オンライン	池田、今井
R4.6.13	令和4年度神奈川県食品衛生監視員研修(食品監視コース・前期)	オンライン	池田、今井
R4.6.16	令和4年度神奈川県食品衛生監視員研修(食品監視コース・前期)	オンライン	池田、今井
R4.6.23	Dionex IC技術説明会 2022	東京コンファレンスセンター・品川	牛山
R4.6.28	マイルストーンゼネラル主催「マイクロ波酸分解の基礎 ～マイクロ波装置の取り扱い～」	オンライン	佐々木(清)、牛山
R4.7.4	中央卸売市場食品衛生検査所体験	中央卸売市場食品衛生検査所	沼田
R4.7.15	AOAC INTERNATIONAL JAPAN SECTION	オンライン	浅井、栗田
R4.7.22	令和4年度厚生労働省関係動物実験施設協議会総会・研修会	オンライン	須崎、浅井、佐藤、今井
R4.7.23	第13回 FDSC食品衛生精度管理セミナー	大田区産業プラザ	荒木(靖)
R4.7.29	令和4年度第1回感染症危機管理研修会	オンライン	丸山、赤星
R4.9.7～9.9	JASIS2022	幕張メッセ	今井
R4.9.8	新感染症サーベイランスシステム研修会	オンライン	丸山、廣富、荒井(智)

R4.9.8～9	検査能力向上講習会	オンライン	畠山
R4.9.11	JAMSNET日本オンラインセミナー	オンライン	岡部
R4.9.14	神奈川県衛生研究所公衆衛生専門技術研修	オンライン	赤星
R4.9.29	ジーエルサイエンス株式会社分析基礎セミナー祭り(GC)	オンライン	岸、沼田
R4.10.3～7	令和4年度国立保健医療科学院新興再興感染症技術研修	国立感染症研究所村山庁舎	若菜
R4.10.5～6	令和4年度薬剤耐性菌の検査に関する研修基本コース	オンライン	池田
R4.10.9	2022年感染症事例のリスクアセスメント研修会	山梨県立図書館	丸山、廣富
R4.10.11～28	細菌研修	国立感染症研究所	淀谷
R4.10.13	マイルストーンゼネラル主催「マイクロ波試料前処理法における酸試薬の特徴と選択」	オンライン	田中、高居、牛山
R4.10.18	JBCO技能試験2022理化学試験フォローアップセミナー	オンライン	浅井、佐藤
R4.10.19	日本農薬学会主催「残留農薬分析セミナー」	オンライン	沼田、三亀
R4.10.28	令和4年度第2回感染症危機管理研修会	オンライン	廣富
R4.11.8	公益通報者保護研修	ソリッドスクエア	杉本
R4.11.8	関東甲信静ブロック地域専門家会議	オンライン	小嶋、吉田、西里
R4.11.10	高圧ガス保安講習会	LiSE大会議室	畠山、荒井(千)、夏井
R4.11.10	関東化学主催「薬品の取り扱いについてー消防法編ー」	オンライン	三亀、江崎、沼田
R4.11.15	オフフレーバー研究会 第12回勉強会	オンライン	佐藤
R4.11.17	令和4年度 アニサキスを中心とした寄生虫性食中毒に関する技術講習会	オンライン	荒井(千)
R4.11.28	農林水産省主催「食品中の放射性物質のこれからを考える」	オンライン	岸、三亀、江崎、沼田
R4.11.29	日本環境感染学会COVID-19対策委員会ウェビナー及び意見交換会	オンライン	三崎
R4.12.1	令和4年度日本水道協会関東地方支部研究発表会	動画公開	佐々木、牛山
R4.12.2	日本食品衛生学会主催「残留農薬等のリスク管理の動向とゲノム編集食品」	オンライン	岸、三亀、江崎、沼田
R4.12.5	令和4年度神奈川県食品衛生監視員研修(食品監視コース・後期)	神奈川県衛生研究所、オンライン	杉本、荒木(啓)、夏井、今井
R4.12.14	タカラバイオWEBセミナー 細胞培養技術の基礎 I	オンライン	荒井(千)
R5.1.18～20	基礎技術研修「病原性細菌検査法の基礎研修」	神奈川県衛生研究所	荒木(靖)

R5.1.20	令和4年度第3回感染症危機管理研修会	オンライン	三崎、丸山
R5.2.2～3	令和4年度 公衆衛生実務者研修	神奈川県衛生研究所	畠山
R5.2.3	JASIS関西2023	グランキューブ大阪	江原
R5.2.6	新感染症サーベイランスシステム説明会	オンライン	丸山
R5.2.8	実験動物管理者研修会	オンライン	須崎、清水、浅井、佐藤、今井
R5.2.10	神奈川県衛生研究所主催「化学検査の基礎」	オンライン	浅井、今井
R5.2.11	感染対策向上加算 川崎市中部/南部合同訓練	独立行政法人労働者健康安全機構 関東労災病院	丸山
R5.2.24	認定産業医研修会	産業保健総合支援センター	三崎
R5.3.7	神奈川県衛生研究所主催 令和4年度衛生検査基礎技術研修	神奈川県衛生研究所	杉本、荒木(啓)、荒井(千)、沼田、今井
R5.3.10	令和4年度水道水質検査精度管理に関する研修会	オンライン	清水、佐々木(清)、田中、牛山、高居

(3) 会議等出席実績 * メール会議の場合照会×切

年月日*	名称	場所	参加者(担当者)
R4.4.6	第79回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R4.4.7	日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会	オンライン	岡部
R4.4.8	川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議医療PT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R4.4.8	第15回新型コロナウイルス感染症対策分科会	オンライン	岡部
R4.4.11	健康福祉局衛生委員会	ソリッドスクエア12階12D会議室	赤星
R4.4.11	令和4年度第1回川崎市健康安全研究所動物実験委員会	健康安全研究所ミーティングルーム	須崎、小嶋、清水、赤星、浅井、佐藤、栗田、今井
R4.4.12	第56回埼玉県新型感染症専門家会議	オンライン	岡部
R4.4.13	第80回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R4.4.13	第78回予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会	オンライン	岡部
R4.4.14	健康福祉委員会	川崎市役所第2庁舎	岡部
R4.4.18	川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議医療PT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R4.4.18	第16回茨城県新型コロナウイルス感染症対策協議会	オンライン	岡部
R4.4.18	キングスカイフロント夏の科学イベント2022第1回実行委員会	川崎生命科学・環境研究センター	杉本、荒木(啓)

R4.4.19	次期病原体等管理システムに関する技術審査委員会	厚生労働省	三崎
R4.4.20	第81回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R4.4.20	令和4年度第1回川崎市予防接種運営委員会事故対策部会	オンライン	岡部
R4.4.21	東京都板橋区予防接種健康被害調査委員会	板橋区保健所	岡部
R4.4.21	文部科学省新型コロナウイルス感染症対策会議	オンライン	岡部
R4.4.22	健康福祉委員会	川崎市役所第2庁舎	岡部
R4.4.22	HPVワクチンの安全性に関する研究 令和4年度班会議	オンライン	岡部、三崎、杉本
R4.4.22	下水道疫学研究会	オンライン	岡部
R4.4.26	第57回埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議	埼玉県庁	岡部
R4.4.27	第16回新型コロナウイルス感染症対策分科会	オンライン	岡部
R4.4.27	第82回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R4.4.28	厚生労働科学研究(谷口班)第1回研究班会議	オンライン	三崎、丸山
R4.4.28	川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議医療PT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R4.5.9	川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議医療PT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R4.5.9	社会医学系専門医プログラム委員会	オンライン	三崎
R4.5.10	KAWASAKI地域感染制御協議会幹事会	川崎市立多摩病院	三崎
R4.5.11	第83回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R4.5.13	令和4年度第1回神奈川県外部精度管理調査委員会	メール会議	牛山
R4.5.16	キングスカイフロントネットワーク協議会理事会・総会	川崎生命医科学・環境研究センター	岡部
R4.5.16	令和4年度第1回キングスカイフロントネットワーク協議会総務企画部会	川崎生命医科学・環境研究センター	杉本
R4.5.17	公衆衛生協会会議	オンライン	岡部
R4.5.18	三重大学医学部附属病院企画競争選定委員会	オンライン	岡部
R4.5.19	麻しん風しん排除認定国内会議	オンライン	岡部
R4.5.19	第49回川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議	川崎市役所第3庁舎	岡部
R4.5.19	第84回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R4.5.19	厚生労働科学研究(谷口班)第2回研究班会議	オンライン	三崎、丸山

R4.5.20	川崎市における研究推進の事前打合せ	オンライン	杉本、荒木(啓)
R4.5.23	第5回麻しん風しん排除認定会議	オンライン	岡部、三崎
R4.5.23	厚生労働科学研究(今村班) 班会議	オンライン	岡部、赤星、佐々木(国)
R4.5.23	新型インフルエンザ等対策推進会議基本的対処方針分科会(第27回)	書面開催	岡部
R4.5.24	川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議医療PT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R4.5.24	第58回埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議	オンライン	岡部
R4.5.25	第85回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード	オンライン	岡部
R4.5.26	東京都感染症予防検討委員会	公益社団法人東京都医師会	岡部、丸山
R4.5.27	健康福祉委員会	川崎市役所第2庁舎	岡部
R4.5.27	下水道疫学研究会	オンライン	岡部
R4.5.31	「公衆衛生体制の見直しと新たな体制構築のための政策研究」班会議	オンライン	岡部
R4.6.1	2021年度厚生労働省科学研究(前川班) 班会議(第1回)	オンライン	淀谷、吉田、西里
R4.6.1	神奈川県公衆衛生協会令和4年度第1回企画・学術部会	オンライン	岡部
R4.6.1	第86回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード	オンライン	岡部
R4.6.3	令和4年度地方衛生研究所全国協議会臨時総会	オンライン	岡部
R4.6.3	令和4年度厚生労働科学研究費補助金食品の安全確保推進事業 国内流通食品に検出されるカビ毒に対する安全性確保の方策の確立に資する研究班第1回班会議	オンライン	浅井、佐藤
R4.6.3	予防接種リサーチセンター理事会	予防接種リサーチセンター	岡部
R4.6.6	健康福祉局衛生委員会	ソリッドスクエア12階12D会議室	赤星
R4.6.6	令和4年度第2回川崎市予防接種運営委員会事故対策部会	オンライン	岡部
R4.6.7	川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議医療PT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R4.6.8	第87回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード	オンライン	岡部
R4.6.9	日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会	オンライン	岡部
R4.6.10	第80回予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会	オンライン	岡部
R4.6.10	厚生労働科学研究(谷口班) 播磨分担会議	オンライン	三崎、丸山
R4.6.13	大阪大学感染症総合教育研究拠点アドバイザリーボード	オンライン	岡部

R4.6.13	キングスカイフロント夏の科学イベント2022第2回実行委員会	川崎生命科学・環境研究センター	杉本、荒木(啓)
R4.6.14	KAWASAKI地域感染制御協議会幹事会	川崎市立多摩病院	三崎
R4.6.14～16	WHOワクチン安全性専門家委員会(GACVS)会議	オンライン	岡部
R4.6.17	第59回埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議	オンライン	岡部
R4.6.20	新型インフルエンザ等対策推進会議医療及び公衆衛生分科会	中央合同庁舎	岡部
R4.6.21～24	31th Meeting of the Technical Advisory Group (TAG) on Immunization and Vaccine-preventable Diseases in the Western Pacific Region	オンライン	岡部、三崎
R4.6.23	第88回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード	オンライン	岡部
R4.6.24	下水道疫学研究会	オンライン	岡部
R4.6.28～29	WHOポリオ根絶認証グローバル委員会(GCC)	ジュネーブ	岡部
R4.6.30	第89回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード	オンライン	岡部
R4.7.1	令和4年度公衆衛生情報研究協議会第1回理事会	オンライン	須崎
R4.7.5	KAWASAKI地域感染制御協議会懇話会	オンライン	三崎
R4.7.8	川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議医療PT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R4.7.8	第81回予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会	厚生労働省	岡部
R4.7.8	令和4年度第76回地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部総会	オンライン	岡部、小嶋、湯澤、赤星
R4.7.10	令和4年度ウエルシュ菌食中毒の制御のための検査法の開発及び汚染実態把握のための分担研究	国立医薬品食品衛生研究所	小嶋
R4.7.11	学校法人日本大学評議員会	アルカディア市ヶ谷	岡部
R4.7.13	令和4年度第1回川崎市予防接種運営委員会・令和4年度第3回川崎市予防接種運営委員会事故対策部会	川崎市医師会館	岡部
R4.7.13	第90回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード	オンライン	岡部
R4.7.14	第17回新型コロナウイルス感染症対策分科会	オンライン	岡部
R4.7.14	日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会	オンライン	岡部
R4.7.14	新型インフルエンザ等対策推進会議基本的対処方針分科会(第28回)	書面開催	岡部
R4.7.19	第60回埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議	埼玉県庁	岡部
R4.7.19	KAWASAKI地域感染制御協議会打合せ	川崎市立多摩病院	三崎
R4.7.20	川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議医療PT	川崎市役所第3庁舎	岡部

R4.7.21	第91回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード	オンライン	岡部
R4.7.22	川崎市における研究推進の打合せ	オンライン	岡部、須崎、三崎、盛崎、杉本、荒木(啓)
R4.7.23	厚生労働科学研究(角野班) 班会議	オンライン	岡部
R4.7.25	キングスカイフロント夏の科学イベント2022第3回実行委員会	川崎生命科学・環境研究センター	杉本、荒木(啓)
R4.7.25	「公衆衛生体制の見直しと新たな体制構築のための政策研究」第1回班会議	オンライン	岡部、杉本
R4.7.25	令和4年度厚生労働科学研究(工藤班) 分担研究班会議	国立医薬品食品衛生研究所	小嶋、湯澤、荒木(靖)
R4.7.27	第92回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード	オンライン	岡部
R4.7.28	令和4年度第1回川崎市感染症対策協議会	オンライン	岡部、三崎、小嶋、吉田、赤星、丸山、廣富、荒井(智)
R4.7.28	日本環境感染学会COVID-19対策委員会	オンライン	三崎
R4.7.28	東京都感染症予防検討委員会	オンライン	岡部
R4.7.28	文部科学省健康教育課新型コロナウイルス感染症対策会議	オンライン	岡部
R4.7.29	川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議医療PT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R4.7.29	アジア小児感染症学会幹事会	オンライン	岡部
R4.8.1	令和4年度第1回研究・調査企画会議事後評価部会	食品安全委員会	岡部
R4.8.1	令和4年度 厚生労働科学研究 食品用器具・容器包装等の安全性確保に資する研究 第1回班会議	オンライン	田中
R4.8.1	厚生労働科学研究(鈴木班) 第1回研究班会議	オンライン	三崎、丸山
R4.8.3	第61回埼玉県新型感染症専門家会議	オンライン	岡部
R4.8.3	第93回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード	オンライン	岡部
R4.8.5	MEJ四次元医療改革研究会	オンライン	三崎
R4.8.8	令和4年度第2回研究・調査企画会議事後評価部会	食品安全委員会	岡部
R4.8.9	第50回川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議	川崎市役所第3庁舎	岡部
R4.8.9	第62回埼玉県新型感染症専門家会議	オンライン	岡部
R4.8.9	厚生労働科学研究(牛田班) 班会議	オンライン	岡部
R4.8.10	第94回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード	オンライン	岡部
R4.8.18	第95回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード	オンライン	岡部

R4.8.23	大阪大学感染症総合教育研究拠点アドバイザーボード	オンライン	岡部
R4.8.25	令和4年度第2回キングスカイフロントネットワーク協議会総務企画部会	川崎生命科学・環境研究センター	杉本
R4.8.26	第63回埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議	オンライン	岡部
R4.8.26	日経・FT感染症会議	オンライン	岡部
R4.8.26	令和4年度地域保健総合推進事業に係る第1回関東甲信静ブロック会議	WEB会議	清水、浅井、江原
R4.8.30	厚生労働科学研究(長谷川班)谷口分担班会議	オンライン	三崎、丸山
R4.8.31	第97回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R4.9.1	令和4年度指定都市衛生研究所長会議	書面開催	岡部
R4.9.1	厚生労働科学研究(五十嵐班)第1回研究会議打合せ	国立成育医療研究センター	三崎
R4.9.2	MEJ四次元医療改革研究会	オンライン	三崎
R4.9.5	川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議医療PT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R4.9.6	中野区予防接種健康被害調査委員会	中野区保健所	岡部
R4.9.7	第98回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R4.9.8	新型インフルエンザ等対策推進会議基本的対処方針分科会(第29回)	オンライン	岡部
R4.9.9	キングスカイフロント夏の科学イベント2022第4回実行委員会	川崎生命科学・環境研究センター	杉本、荒木(啓)
R4.9.9	KAWASAKI地域感染制御協議会定例会	川崎市立多摩病院	三崎
R4.9.12	AMEDワクチン班会議	東京理科大学	岡部
R4.9.14	第99回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R4.9.14	第84回予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会	オンライン	岡部
R4.9.15	川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議医療PT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R4.9.15	令和4年度第3回研究・調査企画会議事後評価部会	食品安全委員会	岡部
R4.9.15	第64回埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議	オンライン	岡部
R4.9.15	MEJ四次元医療改革研究会	オンライン	三崎
R4.9.16	第18回新型コロナウイルス感染症対策分科会	オンライン	岡部
R4.9.16	学校法人日本大学評議員会	日本大学会館	岡部
R4.9.20～22	WHO第15回東南アジアポリオ根絶地域認証委員会(SEA-RCCPE)	ニューデリー	岡部

R4.9.21	第100回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R4.9.22	MEJ四次元医療改革研究会	オンライン	三崎
R4.9.22	東京都感染症予防検討委員会	公益社団法人東京都医師会	丸山
R4.9.27	MEJ四次元医療改革研究会	オンライン	三崎
R4.9.30	文部科学省新型コロナウイルス感染症対策会議	オンライン	岡部
R4.10.3	第5回厚生科学審議会感染症部会薬剤耐性(AMR)に関する小委員会	書面開催	三崎
R4.10.5	第101回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R4.10.6	令和4年度地方衛生研究所全国協議会総会	オンライン	岡部
R4.10.7	健康福祉委員会	川崎市役所第2庁舎	岡部
R4.10.7	第85回予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会	オンライン	岡部
R4.10.11	文部科学省新型コロナウイルス感染症対策会議	オンライン	岡部
R4.10.12	令和4年度食品中の食品添加物分析法検討班第1回班会議	オンライン	浅井、栗田、江原
R4.10.12	川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議医療PT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R4.10.12	第18回茨城県新型コロナウイルス感染症対策協議会	オンライン	岡部
R4.10.12	第102回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R4.10.13	日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会	オンライン	岡部
R4.10.13	第19回新型コロナウイルス感染症対策分科会	オンライン	岡部
R4.10.13	MEJ四次元医療改革研究会	オンライン	三崎
R4.10.14	WHOポリオ根絶認証グローバル委員会(GCC)	オンライン	岡部
R4.10.18	令和4年度神奈川県内衛生研究所等連絡協議会所長会	オンライン	岡部、須崎、三崎、佐々木(清)、赤星、杉本、荒木(啓)
R4.10.18	MEJ四次元医療改革研究会	オンライン	三崎
R4.10.19	令和4年度第1回川崎市感染症発生動向調査委員会	オンライン	岡部、三崎、小嶋、湯澤、赤星、丸山、廣富、荒井(智)、吉田、荒井(千)
R4.10.20	町田市予防接種健康被害調査委員会	町田市保健所	岡部
R4.10.20	第103回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部

R4.10.20	令和4年度地域保健総合推進事業に係る関東甲信静ブロック地域レファレンスセンター連絡会議	オンライン	夏井
R4.10.24	第6回厚生科学審議会感染症部会薬剤耐性(AMR)に関する小委員会	オンライン	三崎
R4.10.28	第65回埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議	オンライン	岡部
R4.10.28	下水道疫学研究会	オンライン	岡部
R4.10.31	PMDA専門審査会	オンライン	岡部
R4.11.1	令和4年度第4回川崎市予防接種運営委員会事故対策部会	ソリッドスクエア	岡部
R4.11.1	MEJ四次元医療改革研究会	オンライン	三崎
R4.11.8	long COVID研究班会議	オンライン	岡部
R4.11.9	川崎市新型インフルエンザ等対策検討委員会	ソリッドスクエア	岡部
R4.11.9	予防接種リサーチセンター理事会	オンライン	岡部
R4.11.9	第105回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R4.11.10	神奈川県感染症医学会第1回理事会	神奈川県立かながわ労働プラザ	三崎
R4.11.10	第52回川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議	川崎市役所第3庁舎	岡部
R4.11.10	日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会	オンライン	岡部
R4.11.11	第20回新型コロナウイルス感染症対策分科会	オンライン	岡部
R4.11.15～17	WHO第28回西太平洋地域ポリオ根絶地域認証委員会	ハノイ	岡部
R4.11.17	第106回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R4.11.17	2021年度厚生労働省科学研究(前川班)班会議(第2回)	オンライン	淀谷、吉田、西里
R4.11.18	動物由来感染症レファレンスセンターWebミーティング	オンライン	赤星、荒井(千)
R4.11.21	令和4年度厚生労働省科学研究工藤班分担研究班会議	国立医薬品食品衛生研究所	小嶋、湯澤、荒木(靖)
R4.11.21	川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議コアPT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R4.11.21	第66回埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議	オンライン	岡部
R4.11.22	令和4年度茨城県感染症対策委員会	茨城県庁	岡部
R4.11.22	第107回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R4.11.24	東京都感染症予防検討委員会	公益社団法人東京都医師会	岡部、丸山

R4.11.24	新型インフルエンザ等対策推進会議基本的対処方針分科会(第30回)	書面開催	岡部
R4.11.25	下水道疫学研究会	オンライン	岡部
R4.11.28	茨城県健康対策課感染症対策会議	オンライン	岡部
R4.11.29	アジア小児感染症学会理事会	オンライン	岡部
R4.11.29	第67回埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議	オンライン	岡部
R4.11.30	川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議コアPT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R4.11.30	第108回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R4.11.30	WSPID(国際小児感染症学会)理事会	オンライン	岡部
R4.11.30~12.2	WHO第12回太平洋地域予防接種プログラム管理者会議	オンライン	岡部
R4.12.3	神奈川県感染症医学会評議員会	神奈川県立かながわ労働プラザ	岡部、三崎
R4.12.6	厚生科研今村班実態調査・企業視察	群馬県館林市	赤星、牛山
R4.12.7	第109回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	厚生労働省	岡部
R4.12.8	川崎市新型インフルエンザ等対策検討委員会	ソリッドスクエア	岡部
R4.12.8	日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会	オンライン	岡部
R4.12.9	厚生労働科学研究(伊藤(澄)班)班会議	オンライン	岡部
R4.12.9	第21回新型コロナウイルス感染症対策分科会	オンライン	岡部
R4.12.9	川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議コアPT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R4.12.12	第7回厚生科学審議会感染症部会薬剤耐性(AMR)に関する小委員会	オンライン	三崎
R4.12.14	第110回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R4.12.15	文部科学省新型コロナウイルス感染症対策会議	オンライン	岡部
R4.12.21	第111回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R4.12.22	川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議コアPT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R4.12.22	令和4年度第5回川崎市予防接種運営委員会事故対策部会	オンライン	岡部
R4.12.22	「hvKP(過粘稠性肺炎桿菌)の発生状況の把握と重症例の解析に関する研究」に係る情報共有会議	川崎市コンベンションホール	三崎、小嶋、丸山、淀谷、池田、廣富、荒井(智)
R4.12.23	第68回埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議	オンライン	岡部

R4.12.23	下水道疫学研究会	オンライン	岡部
R4.12.26	厚生労働科学研究(五十嵐班)研究班会議打合せ	国立成育医療研究センター	三崎
R4.12.26	アデノウイルスレファレンスセンター会議	オンライン	若菜
R4.12.28	第112回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R5.1.4	川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議コアPT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R5.1.5	MEJ四次元医療改革研究会	オンライン	三崎
R5.1.6	文部科学省健康教育課新型コロナウイルス感染症対策会議	オンライン	岡部
R5.1.10	北里大学教員評価委員会	オンライン	岡部
R5.1.11	第113回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R5.1.11	川崎市新型インフルエンザ等対策検討委員会	ソリッドスクエア	岡部
R5.1.12	日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会	オンライン	岡部
R5.1.13	「公衆衛生体制の見直しと新たな体制構築のための政策研究」第2回班会議	オンライン	岡部
R5.1.16	川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議コアPT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R5.1.16	日本小児科学会小児医療提供体制委員会	オンライン	岡部
R5.1.17	第114回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R5.1.19	厚生労働科学研究(五十嵐班)第2回研究班会議	オンライン	岡部、三崎
R5.1.19	第69回埼玉県新型感染症専門家会議	オンライン	岡部
R5.1.19	食品衛生担当係長会議	ソリッドスクエア	杉本
R5.1.20	第90回予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会	オンライン	岡部
R5.1.24	厚生労働科学研究(今村班)班会議	オンライン	岡部、赤星、佐々木(国)
R5.1.24	川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議コアPT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R5.1.25	第115回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R5.1.26	令和4年度食品中の食品添加物分析法検討班第2回班会議	オンライン	浅井、栗田、江原
R5.1.26	東京都感染症予防検討委員会	オンライン	岡部
R5.1.26	令和4年度公衆衛生情報研究協議会第2回理事会	オンライン	岡部

R5.1.27	iCONM CHANGE全体会議	ナノ医療イノベーションセンター (iCONM)	岡部、杉本
R5.1.27	新型インフルエンザ等対策推進会議基本的対処方針分科会(第31回)	オンライン	岡部
R5.1.29	厚生労働科学研究(菅班)第1回研究班会議	オンライン	岡部、三崎、丸山、吉田、淀谷、西里
R5.1.30	「公衆衛生体制の見直しと新たな体制構築のための政策研究」第3回班会議	オンライン	岡部
R5.1.31	キングスカイフロントネットワーク協議会理事会	キングスカイフロントマネジメントセンター	岡部
R5.2.1	川崎市予防接種事故対策委員会	ソリッドスクエア	岡部
R5.2.1	感染対策向上加算 川崎市中部/南部合同訓練打合せ	ソリッドスクエア	三崎
R5.2.2	令和4年度第2回神奈川県外部精度管理調査委員会	オンライン	牛山
R5.2.2	令和4年度県内衛生研究所等における平常時連携にかかる検討委員会	オンライン	杉本、荒木(啓)
R5.2.3	川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議コアPT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R5.2.6	ハーモニック伊藤財団研究助成審査委員会	オンライン	岡部
R5.2.7	第1回学校における新型コロナウイルス感染症対策に関する懇談会	オンライン	岡部
R5.2.8	令和4年度第2回川崎市予防接種運営委員会	川崎市医師会館	岡部
R5.2.8	第116回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R5.2.9	日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会	オンライン	岡部
R5.2.10	第53回川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議	川崎市役所第3庁舎	岡部
R5.2.10	新型インフルエンザ等対策推進会議基本的対処方針分科会(第32回)	オンライン	岡部
R5.2.10	令和4年度 厚生労働科学研究 食品用器具・容器包装等の安全性確保に資する研究 第2回班会議	オンライン	牛山、田中
R5.2.13	令和4年度第2回茨城県感染症対策委員会	茨城県庁	岡部
R5.2.15	川崎市新型インフルエンザ等対策協議会	川崎市役所第3庁舎	岡部
R5.2.16	希少感染症診断技術研修会	オンライン	小嶋、吉田、淀谷、西里
R5.2.16	第70回埼玉県新型感染症専門家会議	オンライン	岡部
R5.2.17	全国地方衛生研究所所長会	オンライン	岡部、三崎
R5.2.17	神奈川県動物由来感染症対策会議	オンライン	岡部
R5.2.17	神奈川県感染症発生動向調査解析委員会	神奈川県衛生研究所、オンライン	岡部、三崎、丸山、廣富、荒井(智)

R5.2.21	MEJ四次元医療改革研究会	オンライン	三崎
R5.2.21～22	WHOポリオ根絶認証グローバル委員会(GCC)	アンマン	岡部
R5.2.24	下水道疫学研究会	オンライン	岡部
R5.2.27	AMEDワクチン班会議	オンライン	岡部
R5.3.1	川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議医療PT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R5.3.1	令和4年度第2回川崎市感染症対策協議会	ソリッドスクエア、オンライン	岡部、小嶋、赤星、丸山、 廣富、荒井(智)
R5.3.2	令和4年度ウエルシュ菌食中毒の制御のための検査法の開発及び汚染実態把握のための分担研究	国立医薬品食品衛生研究所	小嶋、湯澤、荒木(靖)
R5.3.3	文部科学省新型コロナウイルス感染症対策懇談会	文部科学省	岡部
R5.3.4	令和4年度結核対策推進会議	オンライン	吉田、淀谷、西里
R5.3.4	厚生労働科学研究(角野班)班会議	ホテルオーシャン(那覇)	岡部
R5.3.6	茨城県感染症課新型コロナウイルス感染症対策会議	オンライン	岡部
R5.3.7	Gサイエンス学術会議2023	オンライン	岡部
R5.3.8	第118回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R5.3.9	日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会	オンライン	岡部
R5.3.10	令和4年度埼玉県次世代シーケンサー解析結果評価委員会	埼玉会館	岡部
R5.3.10	令和4年度度神奈川県内衛生研究所等連絡協議会微生物情報部会	オンライン	小嶋、湯澤、赤星、佐々木 (国)、若菜
R5.3.13	健康福祉委員会	川崎市役所第2庁舎	岡部
R5.3.14	川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議コアPT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R5.3.15	令和4年度新型コロナウイルス感染症対策に関する医療関係5団体連携会議	川崎市役所第3庁舎	岡部
R5.3.16	令和4年度神奈川県内衛生研究所等連絡協議会理化学情報部会	オンライン	清水、浅井、佐藤、佐々木 (清)、栗田、田中、高居、 牛山、江原、今井、三亀、 江崎、沼田
R5.3.17	衆議院内閣委員会	衆議院	岡部
R5.3.17	KAWASAKI地域感染制御協議会定例会	オンライン	三崎
R5.3.20	川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部会議コアPT	川崎市役所第3庁舎	岡部
R5.3.20	令和4年川崎港保健衛生協議会委員会総会	書面開催	岡部
R5.3.23	第20回茨城県新型コロナウイルス感染症対策協議会	オンライン	岡部

R5.3.23	第119回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード	オンライン	岡部
R5.3.23	令和4年度第2回川崎市感染症発生動向調査委員会	オンライン	岡部、三崎、小嶋、吉田、赤星、丸山、廣富、荒井(智)
R5.3.24	第71回埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議	オンライン	岡部
R5.3.24	令和4年度第2回川崎市健康安全研究所動物実験委員会	健康安全研究所	須崎、小嶋、赤星、浅井、佐藤、栗田、江原、今井
R5.3.24	東京都感染症予防検討委員会	公益社団法人東京都医師会	岡部、丸山
R5.3.24	県・保健所設置市連携会議	オンライン	三崎
R5.3.24	キングスカイフロント夏の科学イベント2023第1回実行委員会	川崎生命科学・環境研究センター	杉本、荒木(啓)
R5.3.27	第2回学校における新型コロナウイルス感染症対策に関する懇談会	オンライン	岡部
R5.3.27	COI-NEXT川崎拠点“CHANGE”キックオフシンポジウム	オンライン	岡部
R5.3.29	「公衆衛生体制の見直しと新たな体制構築のための政策研究」第4回班会議	オンライン	岡部
R5.3.30	文部科学省新型コロナウイルス感染症対策懇談会	オンライン	岡部
R5.3.30	日本環境感染学会COVID-19対策委員会Web会議	オンライン	三崎

(4) 講師派遣実績

年月日	名称	会場	講師名
R4.4.7	公益社団法人日本WHO協会 世界保健デー2022	オンライン	岡部
R4.4.11	東京大学医学部公衆衛生学講義	オンライン	岡部
R4.4.14	川崎市立中学校教育研究会養護部会講演会	川崎市立学校教職員互助会館とどろき	三崎
R4.4.21	第24期実地疫学専門家養成コース初期導入研修	国立感染症研究所	三崎
R4.4.28	第24期実地疫学専門家養成コース初期導入研修	国立感染症研究所	岡部
R4.5.21	神奈川県保険医協会第30回在宅医療・介護セミナー	オンライン	三崎
R4.5.30	名古屋大学医学部感染症講義	名古屋大学	岡部
R4.6.4	生田ライオンズクラブ講演会	生田ライオンズクラブ	岡部
R4.6.8	相模原市保健衛生部職場研修会	ウェルネスさがみはら	三崎

R4.6.16	第37回日本環境感染学会総会・学術集会 委員会企画1「高齢者・介護・福祉施設の感染対策:見えてきた課題と今後の取り組み」	パシフィコ横浜ノース・展示ホール	三崎
R4.6.18	第63回日本ウイルス学会 イブニングセミナー2	北里大学白金キャンパス 大村記念ホール	清水
R4.6.20	かながわサイエンスパーク(KSP)交流会	かながわサイエンスパーク(KSP)	岡部
R4.6.21	市町村アカデミー研修会	オンライン	岡部
R4.7.1	第42回衛生微生物技術協議会 シンポジウムII「新興・再興感染症」	オンライン	三崎
R4.7.4	山口県健康福祉部健康増進課研修会	オンライン	三崎
R4.7.20	令和4年度第1回座間市医療・介護連携定期研修会	オンライン	三崎
R4.7.26	神奈川県立保健福祉大学感染症講義	神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター	岡部
R4.8.6	KAWASAKI地域感染制御協議会プレ訓練	川崎市医師会館	三崎
R4.8.8	慶応大学公衆衛生実践プログラム	キングスカイフロントマネジメントセンター	岡部、三崎
R4.8.13	神奈川県立保健福祉大学感染症講義	オンライン	岡部
R4.8.22	学校保健会講義	オンライン	岡部
R4.8.31	日本環境感染学会ウェビナー及び意見交換会「医療機関におけるCOVID-19ー情報共有と今後の対応等」	オンライン	三崎
R4.9～R5.3	「院内感染対策講習会事業」に係る講習会 ③院内感染対策等の業務を実施する行政機関(特に保健所)向け	オンライン	三崎
R4.9.9	令和4年度感染症集団発生対策研修	国立保健医療科学院	三崎
R4.9.12	川崎ロータリークラブ 卓話	日航ホテル	岡部
R4.9.15	第2回ふれあい子育てサポート事業ヘルパー研修	高津区役所	三崎
R4.10.9	2022年感染症事例のリスクアセスメント研修会	山梨県立図書館	三崎
R4.10.20	聖マリアンナ医科大学感染症講義	聖マリアンナ医科大学	岡部
R4.11.29	令和4年度FETP実地疫学調査研修講義	東京都健康安全研究センター	岡部
R4.12.15	成城大学講義(新型コロナウイルス感染症対策)	成城大学	岡部
R4.12.22	横浜市立大学感染症講義	オンライン	岡部
R5.1.14	新興感染症対応訓練	川崎市立多摩病院	三崎
R5.1.20	令和4年度第3回感染症危機管理研修会	国立感染症研究所	三崎

R5.1.27	東北大学第21回SDGS-IDセミナー	オンライン	岡部
R5.1.28	日本環境感染学会地域セミナー首都圏ブロック研修会	横浜ワールドポーターズ	岡部
R5.2.5	第33回全国保育園保健研究大会	オンライン	三崎
R5.2.11	感染対策向上加算 川崎市中部/南部合同訓練	独立行政法人労働者健康安全機構 関東労災病院	三崎
R5.2.13	川崎市役所衛生課新人・新任研修	川崎市役所	三崎
R5.2.18	全国保健師活動研究会集会	江東区産業会館	岡部
R5.2.24	2023長崎感染対策WEB講演会	オンライン	三崎
R5.3.16	茨城県感染症対策研修	茨城県庁	岡部
R5.3.28	新興再興感染症に対する危機管理としてのPPE着脱訓練	川崎市医師会館	三崎

(5) 研修指導実績

年月日	内容	対象	人数
R4.4.7	動物実験についての職員説明会	新任担当者等	2名
R4.5.18	第1回FETP-Kミーティング	実地疫学専門家養成コース(FETP)初期導入研修修了者	5名
R4.6.15	第2回FETP-Kミーティング	実地疫学専門家養成コース(FETP)初期導入研修修了者	6名
R4.7.21	第3回FETP-Kミーティング	実地疫学専門家養成コース(FETP)初期導入研修修了者	3名
R4.7.28	保育園サーベイランスシステム研修会	市内保育園職員	7名
R4.7.29	保育園サーベイランスシステム研修会	市内保育園職員	7名
R4.8.31	第4回FETP-Kミーティング	実地疫学専門家養成コース(FETP)初期導入研修修了者	2名
R4.9.22	第5回FETP-Kミーティング	実地疫学専門家養成コース(FETP)初期導入研修修了者	4名
R4.10.13	第6回FETP-Kミーティング	実地疫学専門家養成コース(FETP)初期導入研修修了者	4名
R4.11.2	第1回FETP-Jインターンシップ	実地疫学専門家養成コース(FETP)研修生	3名
R4.11.9	第2回FETP-Jインターンシップ	実地疫学専門家養成コース(FETP)研修生	3名
R4.11.16	第3回FETP-Jインターンシップ	実地疫学専門家養成コース(FETP)研修生	5名
R4.11.24	第4回FETP-Jインターンシップ	実地疫学専門家養成コース(FETP)研修生	3名

R4.11.24	第7回FETP-Kミーティング	実地疫学専門家養成コース(FETP) 初期導入研修 修了者	2名
R4.11.30	第5回FETP-Jインターンシップ	実地疫学専門家養成コース(FETP) 研修生	3名
R4.12.7	第6回FETP-Jインターンシップ	実地疫学専門家養成コース(FETP) 研修生	3名
R4.12.21	第7回FETP-Jインターンシップ	実地疫学専門家養成コース(FETP) 研修生	3名
R4.12.21	第8回FETP-Kミーティング	実地疫学専門家養成コース(FETP) 初期導入研修 修了者	2名
R5.1.6	第8回FETP-Jインターンシップ	実地疫学専門家養成コース(FETP) 研修生	2名
R5.1.12	第9回FETP-Jインターンシップ	実地疫学専門家養成コース(FETP) 研修生	2名
R5.1.18	第10回FETP-Jインターンシップ	実地疫学専門家養成コース(FETP) 研修生	2名
R5.1.25	第11回FETP-Jインターンシップ	実地疫学専門家養成コース(FETP) 研修生	2名
R5.1.25	第9回FETP-Kミーティング	実地疫学専門家養成コース(FETP) 初期導入研修 修了者	2名
R5.2.1	第12回FETP-Jインターンシップ	実地疫学専門家養成コース(FETP) 研修生	2名
R5.2.8	第13回FETP-Jインターンシップ	実地疫学専門家養成コース(FETP) 研修生	2名
R5.2.22	第10回FETP-Kミーティング	実地疫学専門家養成コース(FETP) 初期導入研修 修了者	3名
R5.3.23	第11回FETP-Kミーティング	実地疫学専門家養成コース(FETP) 初期導入研修 修了者	2名

(6) 視察・見学・講義等受け入れ実績

年月日	名称	人数
R4.4.13	井田病院	2名
R4.4.27	社会学系専門医(産業医)研修	3名
R4.6.1	神戸市	1名
R4.6.13	井田病院	2名
R4.7.27	金沢市	2名
R4.8.8	慶応大学公衆衛生実践プログラム	16名
R4.8.10	夏の科学イベント	15名
R4.9.5	川崎病院	2名
R4.9.14	インターンシップ	2名
R4.10.3	危機管理室	6名
R4.10.17	福岡市保健環境研究所	3名
R4.10.21	教育委員会	12名
R4.10.26	市立川崎高校	15名
R4.10.31	東京都健康安全研究センター	6名
R4.10.31	千葉県環境保健研究所	1名
R4.11.16	感染研インターンシップ	5名
R4.12.20	東海大学医学部	11名
R5.1.23	井田病院	2名
R5.2.14	川崎病院	13名
R5.3.9	市立川崎高校附属中学校	44名
R5.3.23	神奈川県	8名
計	21件	171名

(7) 研修報告会開催実績

当研究所職員が出席した学会や研修会等の内容を所内で情報共有するとともに、プレゼンテーション能力の向上を目的として、研修報告会を原則月1回開催している。

令和4年度研修報告会開催実績

開催日	報告内容	報告者
R4.5.12	有機溶媒使用の注意点及び検査廃液の取扱いについて グリホサートについて 小児の原因不明の急性肝炎について	佐々木(清) 岸 三崎
R4.6.9	日本食品化学学会第28回学術大会参加報告 バイオセーフティ研修 基礎コースについて 第96回日本感染症学会学術講演会報告	沼田 佐々木(国) 廣富
R4.7.12	第63回日本臨床ウイルス学会報告 第63回日本臨床ウイルス学会講演報告 (感染症対策における衛生研究所の役割 -川崎市の衛生研究所30年史-) WPRO 第31回 TAG Meeting 参加報告	廣富 清水 三崎
R4.8.18	第97回日本結核・非結核性抗酸菌学会 学術講演会参加報告 第37回日本環境感染症学会参加報告	淀谷 小嶋
R4.10.17	令和4年度食品衛生監視員研修(食品監視コース・前期)参加報告 令和4年度検査機関に対する検査能力・精度管理等の向上を目的とした講習参加報告 WHO South East Asia Regional Office Regional Certification Committee on Polio Eradication (WHO SEARO RCCPE) 参加報告	池田 畠山 岡部
R4.12.12	新興再興感染症技術研修参加報告 第71回日本感染症学会東日本地方会学術集会参加報告 第71回日本感染症学会東日本地方会学術集会 ・第69回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会参加報告 第81回公衆衛生学会発表報告 WHOポリオ根絶会議、太平洋諸島ワクチン会議の概要について	若菜 西里 荒井(智) 廣富 岡部
R5.1.17	令和4年度アニサキスを中心とした寄生虫性食中毒に関する技術講習会参加報告 第54回日本小児感染症学会学術集会報告	荒井(千) 廣富
R5.3.16	令和4年度 食品衛生監視員研修(食品監視コース・後期)参加報告 病原性細菌基礎研修参加報告 令和4年度 短期研修 細菌研修参加報告 第26回日本ワクチン学会参加報告 ACPID 2022 The 10th Asian Congress of Pediatric Infectious Diseases 参加報告	今井 荒木(靖) 淀谷 荒井(智) 三崎

(8) 「キングスカイフロント夏の科学イベント 2022」への出展

多摩川を挟んで羽田空港の対岸に位置する殿町国際戦略拠点キングスカイフロントは、様々な研究機関が集積し、ライフサイエンスや環境分野の研究開発などが行われている。

キングスカイフロントでは、川崎市臨海部国際戦略本部が中心となり、子どもたちに科学技術に関心を持ってもらうことを目的とした「夏の科学イベント」を例年 8 月に開催しており、当研究所もブースを出展している。

主に小学生を対象に開催されるこのイベントは、キングスカイフロントに進出又は関係する企業・研究機関等がそれぞれの特色を活かしながら夏休みの学習に役立つ科学実験やクイズラリーなどの体験コーナーを出展するもので、新型コロナウイルス感染症の影響により令和 2 年度及び令和 3 年度は中止となっていたが、令和 4 年度から完全事前申込制で再開となり、「キングスカイフロント夏の科学イベント 2022」には 233 人の親子連れが参加した。

ア 開催日時

令和 4 年 8 月 10 日(水) 13:00～16:00

イ 主催(事務局)

キングスカイフロント夏の科学イベント実行委員会(川崎市臨海部国際戦略本部)

ウ 会場

川崎生命科学・環境研究センター(LiSE)、ナノ医療イノベーションセンター(iCONM)、実験動物中央研究所(実中研)、ジョンソン・エンド・ジョンソンインスティテュート東京(J&J)、ライフイノベーションセンター(LIC)、メドトロニックイノベーションセンター(メドトロ)、リサーチゲートビルディング トノマチ 2(RGB2)、SB カワスミ、国立医薬品食品衛生研究所

エ 出展機関

川崎市健康安全研究所、川崎市環境総合研究所、公益財団法人実験動物中央研究所、国立医薬品食品衛生研究所ほか、キングスカイフロントに集積する民間研究機関等

オ 健康安全研究所の出展内容

健康安全研究所ミステリーツアー

「見習い検査員として食中毒の原因を調べてみよう!!」をテーマに、普段入ることのできない健康安全研究所の研究エリア内で、ニラと有毒なスイセンの誤食、漂白剤の誤飲、細菌性食中毒という 3 種類の食中毒モデルについて実験操作を体験しながら原因を調べるツアーを行い、楽しみながら食の安全に関する知識を学んでもらった。

(参加人数:29 人(保護者含む))

写真 1 ニラとスイセンの比較観察の様子



写真 2 漂白剤に含まれる塩素について学ぶ様子



写真 3 培地作り体験の様子



【第2章 業務実績】

1 企画調整部門

(1) 企画調整担当

企画調整担当の主な業務は、各種調査研究評価委員会の開催、調査研究に係る企画及び連絡調整、試験検査に係る信頼性確保業務、情報発信業務である。

ア 調査研究評価委員会等の運営

(7) 内部評価委員会

川崎市健康安全研究所調査研究評価委員会設置要綱に基づき、内部評価委員会を開催した。

内部評価委員会は、当該年度に当研究所で実施の「全研究課題」について、委員である当研究所職員が研究計画の評価及び研究結果の評価を行うもので、令和4年度の開催概要は表のとおりである。

(イ) 外部評価委員会

川崎市健康安全研究所調査研究評価委員会設置要綱に基づき、外部評価委員会を開催した。

外部評価委員会は、内部評価委員会で評価された研究課題のうち、「特に重要な研究課題」について、委員である当研究所職員及び本庁関係課職員並びに外部研究機関の有識者が研究計画の評価及び研究結果の評価を行うもので、令和4年度の開催概要は表のとおりである。

(ウ) 倫理審査委員会

川崎市健康安全研究所倫理審査委員会設置要綱に基づき、倫理審査委員会を開催した。

倫理審査委員会は、当該年度に新たに計画された「人を対象とする医学系研究」について、委員である当研究所職員及び外部の有識者が、倫理指針等に基づき倫理的観点及び科学的観点からその実施の適否に係る審査を行うもので、令和4年度の開催概要は表のとおりである。

表 令和4年度調査研究評価委員会等開催概要

年月日	委員会	課題数
R4.5.16 R4.5.18 R4.5.23	内部評価委員会(研究計画の評価)	32
R5.7.10	倫理審査委員会	5
R4.7.25	外部評価委員会(研究計画の評価)	8
R4.8.18	内部評価委員会(研究計画(追加課題2・取下げ1)の評価)	3
R4.12.27	内部評価委員会(研究計画(追加課題1:次年度分)の評価)	1
R5.2.16 R5.2.27 R5.3.9	内部評価委員会(研究結果の評価)	33
R5.3.22	外部評価委員会(研究結果の評価)	8

イ 食品衛生検査の信頼性確保業務

食品衛生検査の信頼性確保部門として、収去施設及び食品衛生検査施設に対し次の業務を行った。なお、不適とされたものについては適宜、改善指導を行った。

(7) 内部点検

収去施設(全7区役所地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)衛生課、保健医療政策部食品安全担当(食品専門監視担当)並びに食品衛生検査施設(健康安全研究所及び保健医療政策部中央卸売市場食品衛生検査所)に対し、内部点検を実施した。

内部点検では、標準作業書の作成状況や機械器具の管理等が適切に実施されているかの確認を行った。

(イ) 内部精度管理

検査部門が実施した内部精度管理の実施状況の確認を行った。

(ウ) 外部精度管理調査

毎年度、健康安全研究所及び中央卸売市場食品衛生検査所では、一般財団法人食品薬品安全センターが実施する外部精度管理調査に参加し、客観的な評価を受けている。

令和4年度は、食品添加物や残留農薬等の理化学検査、一般細菌数や大腸菌群等の微生物検査、動物を用いる検査に係る調査に参加し、結果の確認を行った。

ウ 病原体等検査の信頼性確保業務

病原体等検査の信頼性確保部門として、病原体等検査施設(健康安全研究所)に対し次の業務を行った。なお、食品衛生検査の信頼性確保業務と同様に、不適とされたものは適宜、改善指導を行った。

(7) 内部監査

内部監査では、標準作業書の作成状況や試験検査に係る書類の作成、機械器具の管理等が適切に行われているかの確認を行った。

(イ) 内部精度管理

検査部門が実施した内部精度管理の実施状況の確認を行った。

(ウ) 外部精度管理調査

令和4年度は、厚生労働省が実施する新型コロナウイルスの次世代シーケンシング(NGS)による遺伝子の解読・解析、新型コロナウイルスの核酸検出検査、コレラ菌の同定検査、厚生労働科学研究の研究班の協力依頼に基づくレジオネラ属菌検査及び結核VNTR遺伝子型別の外部精度管理調査に参加し、結果の確認を行った。

エ 情報発信業務

主にホームページを用いて健康安全研究所の取組内容の情報発信を行っている。ホームページを用いた定期的な情報発信業務としては、「検査情報」を作成・掲載しており、理化学部門及び微生物部門が実施する日常の試験検査実績を、市民にとってわかりやすい体裁に配慮し取りまとめている。令和4年度は理化学検査情報を4回、微生物検査情報を4回作成し公開した。

(2) 感染症情報センター担当

感染症情報センターの役割は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(以下、「感染症法」という。)」に基づく感染症発生動向調査事業実施要綱に規定されており、「各都道府県等域における患者情報、疑似症情報及び病原体情報を収集、分析し、都道府県等の本庁に報告するとともに、全国情報と併せて、これらを速やかに医師会等の関係機関に提供・公開することとして、各都道府県等域内に1か所、原則として地方衛生研究所の中に設置する。」と明記されている。

川崎市では、平成25年2月まで、健康福祉局健康安全室(現在の健康福祉局保健医療政策部)に感染症情報センターを設置し、「川崎市感染症発生動向調査事業実施要領」に基づき感染症発生動向調査事業を実施してきたが、平成25年3月、感染症情報センター機能を健康安全研究所に移管し、従来から実施してきた業務に加えて、感染症情報発信システムの運用や疫学研究等を行い、機能強化を図っている。また、市内における健康危機事象発生時の初動体制及びネットワークを構築するため、FETP* - Kawasakiプランに基づく取組を行っている。

*FETP:Field Epidemiology Training Program

<感染症発生動向調査事業>

感染症発生動向調査事業は、感染症情報センターの主たる業務であり、前述の感染症発生動向調査事業実施要綱により規定されている。

本事業では、医療機関から届出等される対象疾患について、国、県、指定都市の感染症情報センター等を結んで、感染症発生動向調査情報ネットワークを形成し、全国的な規模で感染症の流行状況の把握、患者発生情報及び検査情報の収集、解析、還元を行っている。市内では、健康福祉局保健医療政策部及び各区役所地域みまもり支援センター等と連携しながら、患者情報等の収集・解析を行い、関係機関に対して感染症情報を迅速に発信するとともに、市民に対しては広報紙「今、何の病気が流行しているか!」やメールマガジン等を毎週定期的に発行している。

ア 全数把握疾患の発生状況(表1~3)

一類感染症の届出はなかった。

二類感染症では、結核204件の届出があり、

急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(SARS)、中東呼吸器症候群(MERS)、鳥インフルエンザ(H5N1)、鳥インフルエンザ(H7N9)の届出はなかった。

三類感染症では、腸管出血性大腸菌感染症41件の届出があり、コレラ、細菌性赤痢、腸チフス及びパラチフスの届出はなかった。腸管出血性大腸菌感染症は前年と比べて届出数がやや減少し、集団発生事例はなかった。

四類感染症では、E型肝炎17件、A型肝炎4件、サル痘1件、つつが虫病1件、デング熱2件、レジオネラ症21件、レプトスピラ症1件の届出があった。サル痘については、令和4年7月に世界保健機関(WHO)が「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態(PHEIC)」に該当すると宣言し、同月には国内においても患者が報告された。市内においても、平成15年11月に届出対象となって以降初の届出があった。

五類感染症では、アメーバ赤痢4件、ウイルス性肝炎4件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症27件、急性弛緩性麻痺3件、急性脳炎12件、クロイツフェルト・ヤコブ病3件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症5件、後天性免疫不全症候群12件、侵襲性インフルエンザ菌感染症2件、侵襲性肺炎球菌感染症15件、水痘(入院例に限る。)5件、梅毒112件、百日咳5件、薬剤耐性アシネトバクター1件の届出があった。梅毒については、65件であった前年と比べて報告数が大幅に増加した。性別では男性が71件、女性が41件であり、年齢階級別では、男性は20歳代から50歳代の報告が多く、女性は20歳代及び30歳代の報告が多かった。

また、新型コロナウイルス感染症は、新型インフルエンザ等感染症として385,284件の届出があった。なお、令和4年9月25日診断分までは、陽性者は全て届出の対象とされていたが、令和4年9月26日診断分からは、届出対象が①65歳以上の者、②入院を要する者、③重症化リスクがあり、かつ、新型コロナ治療薬の投与が必要な者又は重症化リスクがあり、かつ、新型コロナ罹患により新たに酸素投与が必要な者、④妊婦に限定された。それに伴い、届出対象外の陽性者も含めて、年齢階級別に総数のみを日次報告することとなった。

表1 届出数（一～三類感染症、指定感染症及び新型インフルエンザ等感染症患者等届出数）

令和4年

	総数	一類感染症	二類感染症		三類感染症					指定感染症	新型インフルエンザ等感染症
		エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱	急性灰白髄炎、ジフテリア、SARS、MERS、鳥インフルエンザ（H5N1）、鳥インフルエンザ（H7N9）	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	新型コロナウイルス感染症	
令和2年	-	-	-	250	-	1	34	1	-	4,859	
令和3年	-	-	-	227	-	-	47	-	-	3,462	32,684
令和4年	-	-	-	204	-	-	41	-	-		385,284
川崎	-	-	-	58	-	-	11	-	-		120,943
幸	-	-	-	29	-	-	3	-	-		33,984
中原	-	-	-	18	-	-	12	-	-		58,541
高津	-	-	-	27	-	-	-	-	-		47,410
宮前	-	-	-	21	-	-	5	-	-		49,844
多摩	-	-	-	26	-	-	7	-	-		43,452
麻生	-	-	-	25	-	-	3	-	-		31,110

※SARS：重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る。）

※MERS：中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る。）

※新型コロナウイルス感染症は令和2年2月1日から指定感染症、令和3年2月13日から新型インフルエンザ等感染症となった。

※令和2年の新型コロナウイルス感染症の届出数は、新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS）データの陽性者数のみを計上

表2 届出数（四類感染症患者等届出数）

令和4年

	総数	四類感染症						
		E型肝炎	A型肝炎	サル痘	つつが虫病	デング熱	レジオネラ症	レプトスピラ症
総数	47	17	4	1	1	2	21	1
川崎	10	3	1	-	-	2	3	1
幸	7	4	1	-	-	-	2	-
中原	13	4	1	1	-	-	7	-
高津	10	4	1	-	-	-	5	-
宮前	1	1	-	-	-	-	-	-
多摩	4	1	-	-	1	-	2	-
麻生	2	-	-	-	-	-	2	-

※その他の四類感染症の届出はなかった。

表3 届出数（五類感染症（全数把握疾患）患者等届出数）

令和4年

	総数	五類感染症							
		アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）
総数	210	4	4	27	3	12	3	5	12
川崎	70	1	1	3	1	-	1	-	8
幸	17	2	-	-	-	-	-	-	-
中原	45	-	2	10	2	5	-	3	-
高津	15	-	1	2	-	2	-	2	1
宮前	20	-	-	5	-	5	2	-	-
多摩	19	1	-	2	-	-	-	-	-
麻生	24	-	-	5	-	-	-	-	3

	総数	五類感染症					
		侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例に限る。)	梅毒	百日咳	薬剤耐性アシネトバクター感染症
総数		2	15	5	112	5	1
川崎		-	2	-	53	-	-
幸		-	-	1	14	-	-
中原		1	4	2	14	1	1
高津		-	-	-	7	-	-
宮前		-	4	2	2	-	-
多摩		1	3	-	12	-	-
麻生		-	2	-	10	4	-

※その他の五類感染症の届出はなかった。

イ 定点把握疾患の発生状況（表4）

新型コロナウイルス感染症の流行開始以降、多くの疾患で報告数が減少していたが、RSウイルス感染症及び手足口病については、令和4年は新型コロナウイルス感染症の流行前と同程度の流行がみられた。なお、過去5年平均との比較については、令和2年～令和4年は新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、多くの疾患の報告数が著しく減少したため、平成28年から令和元年の平均と比較を行った。

インフルエンザについては、年間の定点当たり患者報告数は過去5年平均と比べて0.05倍と大幅に減少したものの、第50週（12月第3週）には定点当たり1.64人となり、令和元年以来3年ぶりに流行開始の目安である1.00人を超えた。

RSウイルス感染症については、第25週（6月第4週）以降患者報告数が増加し、第30週（7月第4週）には定点当たり4.27人となった。その後は報告数が急激に減少し、例年よりやや低いレベルで推移した。

なお、年間の定点当たり患者報告数は過去5年平均と比べて1.15倍であった。

手足口病については、第31週（8月第1週）に定点当たり患者報告数が5.71人となり、令和元年以来3年ぶりに流行開始警報基準値である定点当たり5.00人を超えた。第34週（8月第4週）には定点当たり6.69人と流行のピークとなったが、その後は報告数が減少し、例年よりやや低いレベルで推移した。年間の定点当たり患者報告数は、過去5年平均と比べて1.03倍であった。

性感染症定点把握疾患については、新型コロナウイルス感染症流行の影響による報告数の減少がみられなかったことから、過去5年平均との比較については平成29年から令和3年の平均と比較を行った。

尖圭コンジローマについては、年間の定点当たり患者報告数は過去5年平均と比べて1.24倍であった。男性は10月、女性は8月に報告数がやや増加した。

表4 五類感染症（定点把握疾患）の発生状況

【小児科定点、内科定点、眼科定点対象疾患】

令和4年

	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総数	14,877	1,194	768	687	636	986	1,492	1,759	1,694	1,780	864	842	2,175
水痘	133	18	8	1	8	13	9	12	12	9	12	17	14
流行性耳下腺炎	74	6	5	2	5	9	16	7	4	4	3	7	6
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	742	71	55	38	16	32	47	51	70	69	114	92	87
感染性胃腸炎	8,031	1,012	649	582	537	819	1,116	521	226	372	378	547	1,272
手足口病	2,441	15	9	3	7	12	35	455	784	854	186	51	30
伝染性紅斑	21	1	-	-	-	7	7	-	2	-	-	3	1
突発性発しん	539	42	29	41	53	63	82	38	18	49	35	52	37
ヘルパンギーナ	637	3	3	-	1	2	13	117	192	224	58	12	12
咽頭結膜熱	172	10	3	9	2	26	43	26	11	7	3	14	18
RSウイルス感染症	1,249	8	3	3	-	2	106	516	363	173	42	23	10
インフルエンザ	742	2	-	1	1	-	1	2	6	10	24	16	679
流行性角結膜炎	96	6	4	7	6	1	17	14	6	9	9	8	9
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【基幹定点、性感染症定点対象疾患】

令和4年

	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総数	766	77	58	58	41	63	67	46	84	69	82	68	53
細菌性髄膜炎	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
無菌性髄膜炎	12	2	-	1	-	-	1	3	2	1	1	-	1
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
インフルエンザ入院サーベイランス	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
淋菌感染症	129	20	9	11	6	10	12	5	13	14	11	10	8
性器クラミジア感染症	378	34	25	25	22	30	37	20	47	31	40	39	28
性器ヘルペスウイルス感染症	77	8	9	8	2	9	3	6	4	8	8	7	5
尖圭コンジローマ	120	11	9	9	8	6	9	11	14	12	17	7	7
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	40	2	5	3	2	8	5	1	2	3	3	3	3
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	5	-	1	-	1	-	-	-	1	-	1	1	-
薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

ウ 集団施設における感染症発生情報（表5）

学校保健安全法に規定される対象疾患により出席停止となった患者数について、小学校及び中学校からの報告数を集計することにより、集団施設における感染症発生状況を解析し、関係機関、市民等へ発信している。なお、保育園については、学校等欠席者・感染症情報システムから収集した情報を集計している。

令和4年は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、令和3年に引き続き、多くの疾患で報告数が減少した。そのため、過去5年平均との比較については、平成28年から令和元年の平均と比較を行った。

インフルエンザ様疾患については、年間では過去5年平均と比較して0.01倍であったが、12月は0.085倍と報告数がやや増加した。

また、小学校及び中学校においては、その他に新型コロナウイルス感染症の患者、濃厚接触者及びその他関連による出席停止が含まれており、その他全体の99.7%を占めた。

表5 集団施設における感染症発生情報

令和4年

		総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総数	総数	213,123	20,866	35,873	19,518	14,032	12,336	11,055	18,749	8,879	16,245	12,774	19,833	22,963
	保育園	25,569	1,437	2,502	2,908	2,232	1,593	1,214	4,175	3,637	1,743	813	1,257	2,058
	小学校	149,872	15,042	24,676	13,713	9,499	8,817	8,539	11,747	3,890	12,189	10,051	15,271	16,438
	中学校	37,682	4,387	8,695	2,897	2,301	1,926	1,302	2,827	1,352	2,313	1,910	3,305	4,467
百日咳	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	保育園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ様疾患	総数	319	3	-	-	2	-	1	-	2	3	11	44	253
	保育園	59	1	-	-	-	-	1	-	1	2	1	7	46
	小学校	190	1	-	-	1	-	-	-	-	1	7	35	145
	中学校	70	1	-	-	1	-	-	-	1	-	3	2	62
麻疹	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	保育園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	総数	189	15	11	6	6	25	29	17	5	25	20	19	11
	保育園	35	2	4	1	-	-	7	2	-	3	5	6	5
	小学校	143	12	7	5	6	23	20	14	5	19	15	11	6
	中学校	11	1	-	-	-	2	2	1	-	3	-	2	-
水痘	総数	360	41	28	14	19	40	41	26	15	14	36	45	41
	保育園	104	24	2	1	6	13	13	6	11	5	7	6	10
	小学校	228	15	25	13	12	25	25	20	2	7	24	29	31
	中学校	28	2	1	-	1	2	3	-	2	2	5	10	-
風しん	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	保育園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	総数	108	9	4	4	7	3	15	10	4	9	11	10	22
	保育園	72	6	2	4	2	1	9	6	2	3	7	8	22
	小学校	31	3	2	-	3	2	5	4	2	5	3	2	-
	中学校	5	-	-	-	2	-	1	-	-	1	1	-	-
急性出血性結膜炎	総数	4	-	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	1
	保育園	3	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1
	小学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中学校	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	総数	93	2	1	4	2	14	20	26	6	2	3	8	5
	保育園	87	1	1	3	2	14	20	24	5	2	3	8	4
	小学校	6	1	-	1	-	-	-	2	1	-	-	-	1
	中学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他*	総数	212,050	20,796	35,829	19,490	13,995	12,253	10,949	18,670	8,846	16,192	12,693	19,707	22,630
	保育園	25,209	1,403	2,493	2,899	2,221	1,565	1,164	4,137	3,617	1,728	790	1,222	1,970
	小学校	149,274	15,010	24,642	13,694	9,477	8,767	8,489	11,707	3,880	12,157	10,002	15,194	16,255
	中学校	37,567	4,383	8,694	2,897	2,297	1,921	1,296	2,826	1,349	2,307	1,901	3,291	4,405

※保育園は学校等欠席者・感染症情報システムから収集した情報

* 小学校及び中学校のその他は、新型コロナウイルス感染症の患者、濃厚接触者及びその他関連による出席停止を含む。

2 理化学部門

(1) 食品担当

食品衛生法及び食品表示法に基づく食品中の食品添加物検査、成分規格検査、遺伝子組換え食品検査、特定原材料検査、自然毒及び化学物質検査並びに苦情食品検査等を担当している。令和4年度は、保健所、保健所支所、中央卸売市場食品衛生検査所及び港湾局から搬入された食品等132検体、345項目及び苦情食品1検体、1項目について検査を実施した。(表1)

ア 食品添加物検査

食品添加物の使用基準及び表示基準に関する項目について、延べ278項目(保存料、着色料、酸化防止剤等)の検査を実施した。(表2)

イ 遺伝子組換え食品検査

米加工品、ばれいしょ加工品、魚介類加工品及び菓子 計21検体について検査を実施した。結果は全て陰性であった。(表3)

ウ 特定原材料検査

特定原材料の使用表示のない食品について、小麦を対象に2検体及び卵を対象に4検体の検査を実施した。スクリーニング検査の結果は、全ての検体で不検出又は基準値である10 μ g/g未満であった。(表4)

エ 自然毒及び化学物質検査

東扇島東公園人工海浜に自生する二枚貝及び市内流通食品、計9検体について貝毒検査を実施した。このうち1検体で麻痺性貝毒が、2検体で下痢性貝毒が検出されたが、いずれも規制値以下であった。また、フグ毒検査を1検体及びヒスタミン検査を2検体実施した。(表5)

オ 苦情食品検査

保健所及び保健所支所へ苦情品として届けられたもののうち、魚介類加工品1検体が担当宛て搬入された事例があり、ヒスタミンの検査

を実施したところ不検出だった。

検査精度確保のため、(一財)食品薬品安全センターが実施する「食品衛生外部精度管理調査」に参加し食品添加物(着色料、ソルビン酸)、及び麻痺性貝毒の検査、「遺伝子組換え食品検査の外部精度管理調査」に参加し安全性未審査の遺伝子組換えコメの検査、及び「食品表示に関する外部精度管理調査」に参加し特定原材料(卵)の検査、(株)森永科学研究所主催の「第7回食物アレルギー物質検査精度管理サーベイ」に参加し特定原材料(卵及び牛乳)の検査、並びに(一社)日本バイオテクノロジー認証機構主催の「JBC0技能試験2022」に参加しヒスタミンの検査を実施した。

そして、地域保健総合推進事業関東甲信静ブロック精度管理事業で実施された、有毒植物の誤食による食中毒を想定した模擬訓練にも参加した。

さらに、関係機関の調査研究に係る検査に関して、(一財)食品薬品安全センターからの依頼による「特定原材料検査における外部精度管理調査研究」(検査項目:牛乳及び卵)、(地独)大阪健康安全基盤研究所からの依頼による「特定原材料検査の試験室間共同研究」(検査項目:小麦)、国立医薬品食品衛生研究所からの依頼による「くるみ定量検査法バリデーション」、及び下痢性貝毒検査に関する試験所間比較試験事務局(茨城大学)からの依頼による「下痢性貝毒検査に関する試験所間比較試験」について協力を行った。

表1 食品化学検査内訳

検査内容	項目数
食品添加物検査	278
遺伝子組換え食品検査	21
特定原材料検査	6
自然毒・化学物質検査 (苦情食品1検体含む)	22
その他の検査	19
総計	346

表2 食品添加物検査内訳

検査内容		項目数
保存料	安息香酸	44
	ソルビン酸	32
	パラオキシ安息香酸エステル類	10
着色料	許可酸性タール色素	27
発色剤	亜硝酸根	11
甘味料	サッカリン	13
	アセスルファムカリウム	14
漂白剤	亜硫酸塩	22
酸化防止剤	ブチルヒドロキシアニソール	2
	ジブチルヒドロキシトルエン	2
品質保持剤	プロピレングリコール	10
防かび剤	イマザリル	12
	オルトフェニルフェノール	11
	ジフェニル	11
	チアベンダゾール	12
その他の添加物	ナタマイシン	2
不許可添加物	サイクラミン酸(甘味料)	20
	TBHQ(酸化防止剤)	9
	アゾルビン(着色料)	3
	スーダンⅠ(着色料)	1
	スーダンⅡ(着色料)	1
	スーダンⅢ(着色料)	1
	スーダンⅣ(着色料)	1
	パラレッド(着色料)	1
	パテントブルー(着色料)	1
	キノリンイエロー(着色料)	5
総計		278

表3 遺伝子組換え食品検査結果

品目	検体数	検査対象	安全性	試験方法	結果	
					陰性	陽性
米加工品	9	遺伝子組換えコメ (63Bt、NNBt、CpTI)	未審査	定性PCR	陰性	9
菓子	1				陰性	1
ばれいしょ加工品	3	遺伝子組換えパレイショ (F10、J3)	未審査	定性PCR	陰性	3
菓子	6				陰性	6
魚介類加工品	2	遺伝子組換えサケ (AquAdvantage)	未審査	定性PCR	陰性	2

表4 特定原材料スクリーニング検査結果

検査対象	品目	検体数	試験方法	結果
小麦	菓子	1	日本ハム(株)製 FASTKIT エライザ Ver.Ⅲ 小麦	不検出
			(株)森永生科学研究所製モリナガ FASPEK エライザⅡ小麦(グリアジン)	不検出
	菓子	1	日本ハム(株)製 FASTKIT エライザ Ver.Ⅲ 小麦	10 μ g/g未満
			(株)森永生科学研究所製モリナガ FASPEK エライザⅡ小麦(グリアジン)	10 μ g/g未満
卵	魚肉練り製品	1	日本ハム(株)製 FASTKIT エライザ Ver.Ⅲ 卵	不検出
			(株)森永生科学研究所製モリナガ FASPEK エライザⅡ卵(卵白アルブミン)	不検出
	食パン	1	日本ハム(株)製 FASTKIT エライザ Ver.Ⅲ 卵	不検出
			(株)森永生科学研究所製モリナガ FASPEK エライザⅡ卵(卵白アルブミン)	不検出
	そうざい	1	日本ハム(株)製 FASTKIT エライザ Ver.Ⅲ 卵	不検出
			(株)森永生科学研究所製モリナガ FASPEK エライザⅡ卵(卵白アルブミン)	不検出
	菓子	1	日本ハム(株)製 FASTKIT エライザ Ver.Ⅲ 卵	不検出
			(株)森永生科学研究所製モリナガ FASPEK エライザⅡ卵(卵白アルブミン)	不検出

試験方法:1 検体につき2種類のキットを用いて検査を実施し、いずれか1種でも10 μ g/g以上検出された場合、スクリーニング検査陽性となる。

表5 自然毒及び化学物質検査結果

品目	検体数	自然毒分類	検査項目	結果	
アサリ	6	貝毒	麻痺性貝毒	1.8 MU/g 未満	6
			下痢性貝毒	不検出	6
	1		麻痺性貝毒	1.8 MU/g 未満	1
			下痢性貝毒	0.16 mgOA 当量/kg以下	1
赤貝	1		麻痺性貝毒	1.8 MU/g 未満	1
			下痢性貝毒	0.16 mgOA 当量/kg以下	1
	1		麻痺性貝毒	4MU/g 以下	1
			下痢性貝毒	不検出	1
フグ加工品	1	フグ毒	フグ毒	5 MU/g 以下	1
魚介類加工品	2	化学物質	ヒスタミン	不検出	2

下痢性貝毒の規制値は可食部当たり0.16mgOA当量/kg、麻痺性貝毒の規制値は可食部当たり4MU/g

(2) 水質・環境担当

「水道法」に基づく貯水槽水等の水質検査、「災害時における飲料水及び生活用水の供給源としての井戸及び受水槽の有効活用に関する要綱」に基づく災害用井戸水検査、「神奈川県水浴場等に関する条例」に基づくプール水検査、「川崎市公衆浴場法施行条例」及び「川崎市旅館業法施行条例」に基づく浴槽水検査及びシャワー水検査、「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」に基づく家庭用品検査、「食品衛生法」に基づく食品の成分規格等検査のほか、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」に基づき健康食品等に含まれる医薬品成分（無承認無許可医薬品）検査等を担当している。

令和3年度は保健所及び保健所支所から搬入された検体について検査を実施した。

また、厚生労働省が実施する水道水質検査精度管理のための統一試料調査（塩素酸、四塩化炭素、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン）、神奈川県が実施する外部精度管理調査（鉄及びその化合物、クロロ酢酸、ジクロロ酢酸、トリクロロ酢酸）に参加し、信頼性確保に係る検査を実施した。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図りながらも可能な範囲で飲料水やプール水等の検査を実施したことにより、検査実績数は前年度と比較して増加した。

ア 飲料水検査

令和4年度に検査を実施した飲料水は、95 検体で検査検体の内訳としては、井戸水（災害用選定の生活用水井戸）85 件、貯水槽水 3 件、小規模水道水 2 件、専用水道水 3 件、飲用井戸 2 件だった。（表 1）

イ プール水、浴槽水等検査

市内プール水（採暖槽水を含む）54 検体、浴槽水 145 検体、計 199 検体について検査を実施した。（表 2）

ウ 家庭用品検査

市販の家庭用品 132 検体（1 検体で複数項目を検査する場合もあり、試買件数としては 108 件）について 13 項目の有害物質等の検査を

実施したところ、全て基準に適合していた。（表 3）

エ 清涼飲料水の規格基準検査

清涼飲料水（ジュース、ミネラルウォーター等）4 検体、粉末清涼飲料 1 検体について 5 項目〔混濁、沈殿物又は固形の異物、ヒ素、鉛、スズ（金属製容器包装入りのものに限る）〕の規格検査を実施したところ、全て基準に適合していた。

オ 豆類、生あんの規格基準検査

ベビーライマ豆 1 検体及び生あん 1 検体についてシアン化合物の規格検査を実施したところ、基準に適合していた。

カ 寒天の規格基準検査

粉末寒天 2 検体についてホウ素化合物の規格検査を実施したところ、2 検体とも基準に適合していた。

キ 魚介類の環境汚染物質検査

多摩川で採取したアユ 3 検体について金属類等の環境汚染物質検査を実施した。（表 4）

ク 医薬品成分検査

市販の健康食品 16 検体及びローション類（外用）4 検体について、医薬品成分 14 項目の検査を実施した。（表 5）

表1 飲料水検査結果

種類	災害用井戸水 (生活用水) [※]	貯水槽水	小規模水道水	専用水道水	その他	計
検体数	85 (86)	3 (0)	2 (2)	3 (2)	2 (0)	95 (90)
不適合件数	23 (39)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	23 (39)
不 適 合 項 目 件 数	亜硝酸態窒素	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)
	硝酸態窒素及び 亜硝酸態窒素	1 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (2)
	鉄及びその化合物	16 (19)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	16 (19)
	塩化物イオン	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	カルシウム、マグネシウム等 (硬度)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	有機物 (全有機炭素(TOC)の量)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)
	pH値	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	味	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	臭気	4 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (2)
	色度	13 (14)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	13 (14)
	濁度	8 (11)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (11)
	塩素酸	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

※災害用井戸水に対して水質基準値は設定されていないため、
水道法に基づく水道水質基準をあてはめて評価した。

():前年度

表2 プール水、採暖槽水、浴槽水、シャワー水検査

種類	検査件数	検査項目
プール水 (採暖槽水含む)	54 (59)	濁度、過マンガン酸カリウム消費量
浴槽水	145 (70)	濁度、過マンガン酸カリウム消費量、 有機物(全有機炭素(TOC)の量)
シャワー水	0 (2)	色度、濁度、過マンガン酸カリウム消費 量
計	199 (131)	

():前年度

表3 家庭用品試買試験検査結果

検査項目	対象家庭用品	検体数	違反数
ホルムアルデヒド	繊維製品、つけまつげ用接着剤等	87	0
アゾ化合物	繊維製品	7	0
塩化水素、硫酸	住宅用の洗浄剤	1	0
水酸化カリウム、水酸化ナトリウム	家庭用の洗浄剤	1	0
容器試験	住宅用・家庭用の洗浄剤	2	0
有機水銀化合物	家庭用塗料、家庭用接着剤等	8	0
トリフェニル錫化合物	家庭用塗料、家庭用接着剤等	8	0
トリブチル錫化合物	家庭用塗料、家庭用接着剤等	8	0
ジベンゾ[a, h]アントラセン	防腐・防虫木材、木材防腐剤・防虫剤	2	0
ベンゾ[a]アントラセン	防腐・防虫木材、木材防腐剤・防虫剤	2	0
ベンゾ[a]ピレン	防腐・防虫木材、木材防腐剤・防虫剤	2	0
テトラクロロエチレン	家庭用エアゾル製品	2	0
トリクロロエチレン	家庭用エアゾル製品	2	0
総 数		132	0

表4 多摩川で採取した魚介類の検査結果

項目	1 [※]	2 [※]	3	定量下限値
総水銀 (ppm)	不検出	0.01	不検出	0.01
銅 (μg/g)	0.5	0.4	0.4	0.3
鉛 (μg/g)	不検出	不検出	不検出	0.1
カドミウム (μg/g)	不検出	不検出	不検出	0.01
マンガン (μg/g)	2.9	2.3	4.5	0.1
クロム (μg/g)	0.1	不検出	不検出	0.1
亜鉛 (μg/g)	13	11	14	0.3
ヒ素 (μg/g)	0.15	0.20	0.19	0.01
トリブチルスズ化合物 (ppm)	不検出	不検出	不検出	0.1
トリフェニルスズ化合物 (ppm)	不検出	不検出	不検出	0.1
ジブチルスズ化合物 (ppm)	不検出	不検出	不検出	0.1

※検体量不足のため結果は参考値とした。

表5 健康食品中医薬品成分検査結果

検査項目		検体数	検出	不検出
痩身成分	フェノールフタレイン	7	0	7
	フェンフルラミン			
	シブトラミン			
	マジンドール			
	クロルプロパミド			
	トルブタミド			
	オリストット			
強壮成分	シルデナフィル	9	0	9
	タダラフィル			14 [※]
	バルデナフィル			9
	クロロプレタダラフィル			
	グリペンクラミド			
	ヨヒンビン			
局所麻酔成分	リドカイン	4	0	4

※タダラフィルについて、形状がカプセルの場合は内容物に加えカプセル皮膜の検査(5件)を実施した。

(3) 残留農薬・放射能検査担当

残留農薬・放射能検査担当では、食品衛生法に基づき、市内産農産物を含めた市内流通食品の残留農薬検査、残留動物用医薬品検査及び食品・水道水等の放射性物質検査を実施した。

精度管理については、一般財団法人食品薬品安全センターが実施する食品衛生外部精度管理調査に参加し、重金属検査(カドミウム)、残留農薬検査(I:個別試験、II:一斉試験)及び残留動物用医薬品検査(定量)を実施した。

ア 残留農薬検査

保健所及び中央卸売市場食品衛生検査所から依頼のあった食品、総数 45 検体・延べ 2,022 項目について残留農薬検査を実施した。

(7) 国内産農産物の残留農薬検査

保健所及び中央卸売市場食品衛生検査所依頼分の 33 検体・計 1,650 項目について検査を実施した。

国内産農産物のうち市内産は 3 検体・計 150 項目(表 1)、その他の国内産は 30 検体・計 1,500 項目(表 2-1、2-2、2-3)行った。

市内産農産物では、日本なし1検体からダイアジノン 0.015mg/kg(基準値 0.3mg/kg)及びブプロフェジン 0.010mg/kg(基準値 6mg/kg)が検出された。

その他の国内産農産物では、茨城県産トマト 1 検体からジエトフェンカルブ

0.015mg/kg(基準値 2mg/kg)、福島県産ピーマン 1 検体からアゾキシストロビン 0.007mg/kg(基準値 3mg/kg)、宮崎県産ピーマン 1 検体からジフェノコナゾール 0.018mg/kg(基準値 2mg/kg)、群馬県産キャベツ 1 検体からフルトラニル 0.006mg/kg(基準値 2mg/kg)、茨城県産日本なし 1 検体からジフェノコナゾール 0.016mg/kg(基準値 0.8mg/kg)、山形県産リンゴ 1 検体からフェンプロパトリン 0.122mg/kg(基準値 2mg/kg)、群馬県産春菊 1 検体からアゾキシストロビン 0.030mg/kg(基準値 30mg/kg)が検出された。

(イ) 輸入農産物の残留農薬検査

保健所依頼 6 検体・計 300 項目について検査を実施した(表 3)。エクアドル産バナナ 1 検体からはビフェントリン 0.006mg/kg(基準値 0.1mg/kg)が検出された。

(ウ) 玄米中のカドミウム検査

保健所依頼の山形県産玄米 1 検体について検査を実施したところ、0.059 mg/kg(基準値 0.4mg/kg)であった。

(エ) 国産及び輸入畜産物の残留農薬検査

保健所及び中央卸売市場食品衛生検査所から依頼の 6 検体・計 72 項目について検査を実施した(表 4)。国産及び輸入畜産物のどちらにおいても、検出が認められた検体は無かった。

表1 市内産農産物の残留農薬検査結果

単位:mg/kg、括弧内は基準値

農産物名		日本なし①	日本なし②	日本なし③	農産物名		日本なし①	日本なし②	日本なし③
生産地区		宮前区	宮前区	宮前区	生産地区		宮前区	宮前区	宮前区
検査依頼項目数		50	50	50					
検出項目数		2	0	0					
検査依頼項目	1 EPN	○	○	○	検査依頼項目	14 パラチオンメチル	○	○	○
	2 アジンホスメチル	○	○	○		15 ピリミホスメチル	○	○	○
	3 エチオン	○	○	○		16 フェナミホス	○	○	○
	4 カズサホス	○	○	○		17 フェニトロチオン(MEP)	○	○	○
	5 キナルホス	○	○	○		18 フェントエート	○	○	○
	6 クロルピリホス	○	○	○		19 プロチオホス	○	○	○
	7 クロルピリホスメチル	○	○	○		20 ホサロン	○	○	○
	8 クロルフエンピホス	○	○	○		21 ホスチアゼート	○	○	○
	9 シアノホス	○	○	○		22 マラチオン(マラソン)	○	○	○
	10 ジメトエート	○	○	○		23 メチダチオン	○	○	○
	11 ダイアジノン	0.015(0.3)	○	○		24 アクリナトリン	○	○	○
	12 トルクロホスメチル	○	○	○		25 アゾキシストロビン	○	○	○
	13 パラチオン(パラチオンエチル)	○	○	○		26 アトラジン	○	○	○
				27 アラクロール	○	○	○		
				28 イソプロチオラン	○	○	○		

○:不検出

表1 市内産農産物の残留農薬検査結果(続き)

単位:mg/kg、括弧内は基準値

農産物名	日本なし①	日本なし②	日本なし③	農産物名	日本なし①	日本なし②	日本なし③				
	生産地区	宮前区	宮前区		生産地区	宮前区	宮前区	宮前区			
検査依頼項目	29	エンドスルファン	○	○	○	検査依頼項目	40	フェンバレレート	○	○	○
	30	クロルフェナピル	○	○	○		41	フサライド	○	○	○
	31	シアナジン	○	○	○		42	ブプロフェジン	0.010(6)	○	○
	32	ジエトフェンカルブ	○	○	○		43	フルキンコナゾール	○	○	○
	33	シフルフェナミド	○	○	○		44	フルシトリネート	○	○	○
	34	シメコナゾール	○	○	○		45	フルトラニル	○	○	○
	35	ジメチピン	○	○	○		46	フルバリネート	○	○	○
	36	トリアレート	○	○	○		47	プロモプロピレート	○	○	○
	37	ビフェントリン	○	○	○		48	ペンディメタリン	○	○	○
	38	ピリダベン	○	○	○		49	マイクロブタニル	○	○	○
	39	フェナリモル	○	○	○		50	レナシル	○	○	○

○:不検出

表2-1 国内産農産物の残留農薬検査結果

単位:mg/kg、括弧内は基準値

農産物名	にんじん①	にんじん②	なす	こかぶ	きゅうり①	きゅうり②	きゅうり③	トマト①	トマト②	トマト③	
	生産地区	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	福島県	群馬県	山形県	茨城県	群馬県	熊本県
検査依頼項目数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	
検出項目数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
検査依頼項目	1	EPN	○						○	○	○
	2	アジンホスメチル	○	○		○					
	3	エチオン	○	○			○	○	○	○	○
	4	エトプロホス	○	○			○	○	○	○	○
	5	キナルホス	○	○			○	○	○	○	○
	6	クロルピリホス	○	○			○	○	○	○	○
	7	クロルピリホスメチル	○	○			○	○	○	○	○
	8	クロルフェンビンホス	○	○			○	○	○	○	○
	9	シアノホス	○	○			○	○			
	10	ジメチルビンホス	○	○							
	11	ジメトエート	○	○			○	○	○	○	○
	12	ダイアジノン	○	○			○	○	○	○	○
	13	テトラクロルビンホス	○			○					
	14	テルブホス	○	○			○		○		
	15	トルクロホスメチル	○	○			○	○	○	○	○
	16	パラチオン(パラチオンエチル)	○	○			○	○	○	○	○

○:不検出

表2-1 国内産農産物の残留農薬検査結果(続き)

単位:mg/kg、括弧内は基準値

	農産物名	にんじん①	にんじん②	なす	こかぶ	きゅうり①	きゅうり②	きゅうり③	トマト①	トマト②	トマト③
		千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	福島県	群馬県	山形県	茨城県	群馬県	熊本県
17	パラチオンメチル	○	○			○	○	○	○	○	○
18	ピラクロホス	○	○			○	○	○	○	○	○
19	ピリミホスメチル	○	○			○	○	○	○	○	○
20	フェナミホス	○	○			○	○	○	○	○	○
21	フェントロチオン(MEP)	○	○			○	○	○	○	○	○
22	フェントエート	○	○				○		○	○	○
23	ブタミホス	○	○			○	○	○	○	○	○
24	プロチオホス	○				○	○	○	○		
25	ホスチアゼート	○	○			○	○	○	○	○	○
26	ホレート	○	○			○		○			
27	マラチオン(マラソン)	○	○			○	○	○	○	○	○
28	メチダチオン	○	○			○	○	○	○	○	○
29	アクリナトリン	○				○	○	○	○	○	○
30	アゾキシストロビン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	アトラジン	○	○			○	○	○	○	○	○
32	アラクロール	○	○				○		○		
33	エンドスルファン	○	○			○	○	○	○	○	○
34	クレソキシムメチル	○	○			○	○	○			
35	クロルフェナピル	○	○			○	○	○	○	○	○
36	クロルプロファム	○	○								
37	ジクロラン	○	○			○	○	○	○	○	○
38	ジフェノコナゾール	○	○			○	○	○	○	○	○
39	シフルフェナミド	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
40	ジメチピン	○	○			○	○	○	○	○	○
41	トリアレート	○	○			○	○	○	○	○	○
42	ビフェントリン	○	○			○	○	○	○	○	○
43	フェナリモル	○	○			○	○	○	○	○	○
44	フェンバレレート	○	○			○	○	○	○	○	○
45	フサライド	○	○			○		○			
46	フルシトリネート	○	○			○	○	○	○	○	○
47	フルトラニル	○	○			○	○	○	○	○	○
48	ブロモプロピレート	○	○			○	○	○	○	○	○
49	ミクロブタニル	○	○			○	○	○	○	○	○
50	レナシル	○	○			○	○	○	○	○	○
51	イソプロチオラン		○								
52	シメコナゾール		○	○	○	○	○	○	○	○	○
53	フェンプロバトリン		○			○	○	○			
54	ブプロフェジン		○			○	○	○	○	○	○
55	アニロホス			○	○						
56	カルバリル			○	○						
57	テブフェノジド			○	○						

○:不検出

表2-1 国内産農産物の残留農薬検査結果(続き)

単位:mg/kg、括弧内は基準値

農産物名	にんじん①	にんじん②	なす	こかぶ	きゅうり①	きゅうり②	きゅうり③	トマト①	トマト②	トマト③
	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	福島県	群馬県	山形県	茨城県	群馬県	熊本県
58 テフルベンズロン			○	○						
59 イマザリル			○	○						
60 シアゾファミド			○	○						
61 ジメトモルフ			○	○						
62 チアメキサム			○	○						
63 トリフルムロン			○	○						
64 ピラクロストロピン			○	○						
65 ピリミカーブ			○	○						
66 フェンピロキシメート			○	○						
67 フルフェノクスロン			○	○						
68 フルリドン			○	○						
69 ヘキシチアゾクス			○	○						
70 ベンゾフェナップ			○	○						
71 メキシフェノジド			○	○						
72 モリニューロン			○	○						
73 ラクトフェン			○	○						
74 イプロバリカルブ			○	○						
75 オキシカルボキシシン			○	○						
76 クロリダゾン			○	○						
77 ジウロン			○	○						
78 ボスカリド			○	○						
79 メタベンズチアズロン			○	○						
80 クロメプロップ			○	○						
81 フェノキシカルブ			○	○						
82 ブタフェナシル			○	○						
83 インドキサカルブ			○	○						
84 チアベンダゾール			○	○						
85 ベンダイオカルブ			○	○						
86 ルフェヌロン			○	○						
87 クロマフェノジド			○	○						
88 クロルフルアズロン			○	○						
89 ナプロアニド			○	○						
90 シプロジニル			○	○						
91 フェノブカルブ			○	○						
92 イミダクロプリド			○	○						
93 クロチアニジン			○	○						
94 ノバルロン			○	○						
95 プリフタリド			○	○						
96 フェンアミドン			○	○						
97 チアクロプリド			○	○						
98 チオジカルブ及びメソミル			○	○						
99 オキサミル			○	○						

検査依頼項目

○:不検出

表2-1 国内産農産物の残留農薬検査結果(続き)

単位:mg/kg、括弧内は基準値

農産物名	にんじん①	にんじん②	なす	こかぶ	きゅうり①	きゅうり②	きゅうり③	トマト①	トマト②	トマト③
	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	福島県	群馬県	山形県	茨城県	群馬県	熊本県
100	ジメチリモール		○							
101	フラチオカルブ		○							
102	エポキシコナゾール			○						
103	クロキントセツメキシル			○						
104	フラメピル			○						
105	ジフルベンズロン			○						
106	ヘキサフルムロン			○						
107	ペンシクロン			○						
108	オリザリン			○						
109	シクロエート			○						
110	トリチコナゾール			○						
111	フェリムゾン			○						
112	カズサホス				○	○	○	○	○	○
113	ホサロン				○	○	○	○	○	○
114	ジエトフェンカルブ				○	○	○	0.015(2)	○	○
115	ピリダベン				○	○	○	○	○	○
116	ペンディメタリン					○		○	○	○
117	フェンスルホチオン							○	○	○
118	プロピコナゾール							○	○	○
119	フルキンコナゾール								○	○
120	フルバリネート								○	○
121	ピリダフェンチオン									
122	プロフェノホス									
123	シフルトリン									
124	フィプロニル									
125	サリチオン									
126	ピペロホス									
127	ピラゾホス									
128	エトリムホス									
129	シアナジン									
130	ジクロフェンチオン									
131	ベンフルラリン									
132	アザメチホス									
133	テブチウロン									
134	クミルロン									
135	ダイムロン									
136	エディフェンホス									
137	キノクラミン(ACN)									
138	ジチオピル									
139	シハロホップブチル									
140	ビフェノックス									

検査依頼項目

○:不検出

表2-2 国内産農産物の残留農薬検査結果

単位:mg/kg、括弧内は基準値

農産物名		ピーマン①	ピーマン②	ピーマン③	ほうれん草①	ほうれん草②	小松菜①	小松菜②	キャベツ①	キャベツ②	キャベツ③
生産地区		福島県	宮崎県	沖縄県	群馬県	栃木県	群馬県	神奈川県	群馬県	愛知県	愛知県
検査依頼項目数		50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
検出項目数		1	1	0	0	0	0	0	1	0	0
検査 依頼 項目	1 EPN	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	2 アジンホスメチル				○		○	○		○	○
	3 エチオン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4 エトプロホス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5 キナルホス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6 クロルピリホス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7 クロルピリホスメチル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8 クロルフェンビンホス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9 シアノホス	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	10 ジメチルビンホス										
	11 ジメトエート	○	○	○	○	○					
	12 ダイアジノン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	13 テトラクロルビンホス				○	○	○	○	○	○	○
	14 テルブホス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	15 トルクロホスメチル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	16 パラチオン(パラチオンエチル)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	17 パラチオンメチル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	18 ピラクロホス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	19 ピリミホスメチル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	20 フェナミホス				○	○	○	○	○	○	○
	21 フェニトロチオン(MEP)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	22 フェントエート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	23 ブタミホス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	24 プロチオホス	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	25 ホスチアゼート	○	○	○			○	○	○	○	○
	26 ホレート				○	○	○	○			
	27 マラチオン(マラソン)	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	28 メチダチオン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	29 アクリナトリン	○	○	○							
	30 アゾキシストロビン	0.007(3)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	31 アトラジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	32 アラクロール		○		○	○	○	○	○	○	○
	33 エンドスルファン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	34 クレソキシムメチル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	35 クロルフェナピル									○	○
	36 クロルプロファム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	37 ジクロラン										
	38 ジフェノコナゾール	○	0.018(2)	○	○	○	○	○	○	○	○
	39 シフルフェナミド	○	○	○	○	○	○	○		○	○
	40 ジメチピン				○	○					

○:不検出

表2-2 国内産農産物の残留農薬検査結果(続き)

単位:mg/kg、括弧内は基準値

農産物名		ピーマン①	ピーマン②	ピーマン③	ほうれん草①	ほうれん草②	小松菜①	小松菜②	キャベツ①	キャベツ②	キャベツ③
生産地区		福島県	宮崎県	沖縄県	群馬県	栃木県	群馬県	神奈川県	群馬県	愛知県	愛知県
41	トリアレート	○	○	○	○	○	○	○	○		
42	ピフェントリン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43	フェナリモル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
44	フェンバレレート	○	○	○							
45	フサライド	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	フルシトリネート	○	○	○			○	○			
47	フルトラニル	○	○	○	○	○	○	○	0.006(2)	○	○
48	ブロモプロピレート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
49	マイクロタニル				○	○	○	○	○	○	○
50	レナシル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
51	イソプロチオラン	○	○	○	○			○		○	○
52	シメコナゾール				○	○	○	○	○	○	○
53	フェンプロパトリン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
54	ブプロフェジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
55	アニロホス				○			○		○	○
56	カルバリル										
57	テブフェノジド										
58	テフルベシズロン										
59	イマザリル										
60	シアゾファミド										
61	ジメトモルフ										
62	チアメトキサム										
63	トリフルムロン										
64	ピラクロストロビン										
65	ピリミカーブ										
66	フェンピロキシメート										
67	フルフェノクスロン										
68	フルリドン										
69	ヘキシチアゾクス										
70	ベンゾフェナップ										
71	メキシフェノジド										
72	モノリニューロン										
73	ラクトフェン										
74	イプロバリカルブ										
75	オキシカルボキシ										
76	クロリダゾン										
77	ジウロン										
78	ボスカリド										
79	メタベンズチアズロン										
80	クロメブロッブ										
81	フェノキシカルブ										
82	ブタフェナシル										

検査依頼項目

○:不検出

表2-2 国内産農産物の残留農薬検査結果(続き)

単位:mg/kg、括弧内は基準値

農産物名		ピーマン①	ピーマン②	ピーマン③	ほうれん草①	ほうれん草②	小松菜①	小松菜②	キャベツ①	キャベツ②	キャベツ③
生産地区		福島県	宮崎県	沖縄県	群馬県	栃木県	群馬県	神奈川県	群馬県	愛知県	愛知県
83	インドキサカルブ										
84	チアベンダゾール										
85	ベンダイオカルブ										
86	ルフェヌロン										
87	クロマフェノジド										
88	クロルフルアズロン										
89	ナプロアニリド										
90	シプロジニル										
91	フェノブカルブ										
92	イミダクロプリド										
93	クロチアニジン										
94	ノバルロン										
95	ピリフタリド										
96	フェンアミドン										
97	チアクロプリド										
98	チオジカルブ及びメソミル										
99	オキサミル										
100	ジメチリモール										
101	フラチオカルブ										
102	エボキシコナゾール										
103	クロキントセットメキシル										
104	フラメトピル										
105	ジフルベンズロン										
106	ヘキサフルムロン										
107	ペンシクロン										
108	オリザリン										
109	シクロエート										
110	トリチコナゾール										
111	フェリムゾン										
112	カズサホス	○	○	○	○	○	○		○	○	○
113	ホサロン	○	○	○		○			○		
114	ジエトフェンカルブ										
115	ピリダベン										
116	ペンディメタリン										
117	フェンスルホチオン									○	○
118	プロピコナゾール										
119	フルキンコナゾール			○							
120	フルバリネート	○	○	○							
121	ピリダフェンチオン	○	○	○			○		○		
122	プロフェノホス	○	○	○					○	○	○
123	シフルトリン	○	○	○							
124	フィプロニル	○	○	○			○	○	○	○	○

○:不検出

表2-2 国内産農産物の残留農薬検査結果(続き)

単位:mg/kg、括弧内は基準値

農産物名	ピーマン①	ピーマン②	ピーマン③	ほうれん草①	ほうれん草②	小松菜①	小松菜②	キャベツ①	キャベツ②	キャベツ③
	福島県	宮崎県	沖縄県	群馬県	栃木県	群馬県	神奈川県	群馬県	愛知県	愛知県
125 サリチオン			○							
126 ピペロホス				○	○					
127 ピラゾホス					○			○		
128 エトリムホス						○	○			
129 シアナジン						○		○		
130 ジクロフェンチオン							○			
131 ベンフルラリン								○		
132 アザメチホス										
133 テブチウロン										
134 クミルロン										
135 ダイムロン										
136 エディフェンホス										
137 キノクラミン(ACN)										
138 ジチオピル										
139 シハロホップブチル										
140 ビフェノックス										
141 スピノサド										
142 プロパキザホップ										
143 ピラグリネート										
144 フェンメディファム										

○:不検出

表2-3 国内産農産物の残留農薬検査結果

単位:mg/kg、括弧内は基準値

農産物名	じゃがいも	ズッキーニ	日本なし	かぼちゃ	リンゴ	玄米	春菊	大根①	大根②	さつまいも
	北海道	栃木県	茨城県	北海道	山形県	山形県	群馬県	千葉県	神奈川県	千葉県
検査依頼項目数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
検出項目数	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0
1 EPN		○	○	○	○	○				
2 アジンホスメチル	○		○		○		○	○	○	○
3 エチオン		○	○	○	○					
4 エトプロホス		○		○						
5 キナルホス		○	○	○	○	○				
6 クロルピリホス		○	○	○		○				

○:不検出

表2-3 国内産農産物の残留農薬検査結果(続き)

単位:mg/kg、括弧内は基準値

	農産物名	じゃがいも	ズッキーニ	日本なし	かぼちゃ	リンゴ	玄米	春菊	大根①	大根②	さつまいも	
		北海道	栃木県	茨城県	北海道	山形県	山形県	群馬県	千葉県	神奈川県	千葉県	
検査 依頼 項目	7	クロルピリホスメチル	○	○	○	○	○					
	8	クロルフェンピホス	○	○	○	○	○					
	9	シアノホス	○	○	○	○	○					
	10	ジメチルピホス					○					
	11	ジメトエート			○		○					
	12	ダイアジノン		○	○	○	○					
	13	テトラクロルピホス	○	○		○	○		○			
	14	テルブホス		○		○	○	○				
	15	トルクロホスメチル		○	○	○	○					
	16	パラチオン(パラチオンエチル)		○	○	○	○					
	17	パラチオンメチル		○	○	○	○					
	18	ピラクロホス						○				
	19	ピリミホスメチル		○	○	○	○	○				
	20	フェナミホス		○	○	○	○	○				
	21	フェニトロチオン(MEP)		○	○	○	○	○				
	22	フェントエート		○	○	○	○	○				
	23	ブタミホス		○		○	○	○				
	24	プロチオホス		○	○	○	○	○				
	25	ホスチアゼート		○	○	○	○	○				
	26	ホレート		○		○	○					
	27	マラチオン(マラソン)		○	○	○	○	○				
	28	メチダチオン		○	○	○	○	○				
	29	アクリナトリン			○			○				
	30	アゾキシストロビン	○		○		○	○	0.030(30)	○	○	○
	31	アトラジン		○	○	○	○	○				
	32	アラクロール			○	○	○					
	33	エンドスルファン		○	○	○	○	○				
	34	クレソキシムメチル		○		○		○				
	35	クロルフェナピル		○	○	○	○					
	36	クロルプロファミ		○		○	○					
	37	ジクロラン										
	38	ジフェノコナゾール			0.016(0.8)		○	○				
	39	シフルフェナミド			○		○		○	○	○	○
	40	ジメチピン			○			○				
	41	トリアレート			○		○	○				
	42	ビフェントリン		○	○	○	○	○				
	43	フェナリモル		○	○	○	○	○				
	44	フェンバレレート		○	○	○	○	○				
	45	フサライド		○	○	○	○	○				
	46	フルシトリネート			○		○	○				
	47	フルトラニル		○	○	○	○	○				
	48	プロモプロピレート		○	○	○	○	○				

○:不検出

表2-3 国内産農産物の残留農薬検査結果(続き)

単位:mg/kg、括弧内は基準値

	農産物名	じゃがいも	ズッキーニ	日本なし	かぼちゃ	リンゴ	玄米	春菊	大根①	大根②	さつまいも
		北海道	栃木県	茨城県	北海道	山形県	山形県	群馬県	千葉県	神奈川県	千葉県
検査 依頼 項目	49	ミクロブタニル	○	○	○	○	○				
	50	レナシル	○	○	○	○					
	51	イソプロチオラン			○		○				
	52	シメコナゾール		○	○	○	○	○	○	○	
	53	フェンプロバトリン		○		○	0.122(2)	○			
	54	ブプロフェジン		○	○	○	○				
	55	アニロホス	○						○		
	56	カルバリル	○						○	○	○
	57	テブフェノジド							○	○	○
	58	テフルベンズロン							○	○	○
	59	イマザリル	○							○	○
	60	シアゾファミド							○	○	○
	61	ジメトモルフ	○						○	○	○
	62	チアメキサム	○						○		○
	63	トリフルムロン	○						○	○	○
	64	ピラクロストロビン	○						○	○	○
	65	ピリミカーブ	○						○	○	○
	66	フェンピロキシメート	○						○	○	○
	67	フルフェノクスロン							○	○	○
	68	フルリドン	○						○	○	
	69	ヘキシチアゾクス							○	○	○
	70	ベンゾフェナップ	○						○	○	○
	71	メキシフェノジド	○						○	○	○
	72	モノニューロン	○								
	73	ラクトフェン	○						○	○	○
	74	イプロバリカルブ								○	○
	75	オキシカルボキシ	○								
	76	クロリダゾン								○	○
	77	ジウロン	○							○	○
	78	ボスカリド	○							○	○
79	メタベンズチアズロン	○							○	○	
80	クロメブロップ	○					○	○	○	○	
81	フェノキシカルブ							○	○	○	
82	ブタフェナシル							○	○	○	
83	インドキサカルブ	○						○	○	○	
84	チアベンダゾール	○							○	○	
85	ベンダイオカルブ	○						○	○	○	
86	ルフェヌロン	○						○	○	○	
87	クロマフェノジド	○						○	○	○	
88	クロルフルアズロン	○						○	○	○	
89	ナプロアニリド							○	○	○	

○:不検出

表2-3 国内産農産物の残留農薬検査結果(続き)

単位:mg/kg、括弧内は基準値

農産物名		じゃがいも	ズッキーニ	日本なし	かぼちゃ	リンゴ	玄米	春菊	大根①	大根②	さつまいも
生産地区		北海道	栃木県	茨城県	北海道	山形県	山形県	群馬県	千葉県	神奈川県	千葉県
90	シプロロジニル							○	○	○	○
91	フェノブカルブ	○						○	○	○	○
92	イミダクロプリド	○						○	○	○	○
93	クロチアニジン	○						○			○
94	ノバルロン	○						○	○	○	○
95	ピリフタリド	○						○	○	○	○
96	フェンアミドン	○						○	○	○	○
97	チアクロプリド	○									○
98	チオジカルブ及びメソミル	○									○
99	オキサミル	○						○			○
100	ジメチリモール	○						○	○	○	○
101	フラチオカルブ										○
102	エポキシコナゾール										
103	クロキントセットメキシル	○						○	○	○	
104	フラメピル	○							○	○	○
105	ジフルベンズロン							○	○	○	○
106	ヘキサフルムロン	○						○			
107	ペンシクロン	○						○	○	○	○
108	オリザリン	○						○	○	○	○
109	シクロエート	○						○			
110	トリチコナゾール	○									
111	フェリムゾン	○						○	○	○	○
112	カズサホス		○	○	○		○				
113	ホサロン		○	○	○	○					
114	ジエトフェンカルブ			○							
115	ピリダベン			○							
116	ペンディメタリン			○							
117	フェンスルホチオン										
118	プロピコナゾール										
119	フルキンコナゾール		○	○							
120	フルバリネート			○							
121	ピリダフェンチオン		○		○						
122	プロフェノホス		○		○	○					
123	シフルトリン						○				
124	フィプロニル		○		○	○	○				
125	サリチオン										
126	ピペロホス										
127	ピラゾホス		○		○	○					
128	エトリムホス										
129	シアナジン		○		○						
130	ジクロフェンチオン		○		○						

○:不検出

表2-3 国内産農産物の残留農薬検査結果(続き)

単位:mg/kg、括弧内は基準値

農産物名		じゃがいも	ズッキーニ	日本なし	かぼちゃ	リンゴ	玄米	春菊	大根①	大根②	さつまいも
生産地区		北海道	栃木県	茨城県	北海道	山形県	山形県	群馬県	千葉県	神奈川県	千葉県
131	ベンフルラリン		○		○						
132	アザメチホス	○									
133	テブチウロン	○						○		○	○
134	クミルロン	○									
135	ダイムロン	○									
136	エディフェンホス						○				
137	キノクラミン(ACN)						○				
138	ジチオピル						○				
139	シハロホップブチル						○				
140	ピフェノックス						○				
141	スピノサド							○			
142	プロパキザホップ							○			
143	ピラゾリネート								○	○	
144	フェンメディファム								○		

○:不検出

表3 輸入農産物の残留農薬検査結果

単位:mg/kg、括弧内は基準値

農産物名	バナナ	グレープフルーツ(赤)		グレープフルーツ(白)		パプリカ(赤)	かぼちゃ	大豆	農産物名	バナナ	グレープフルーツ(赤)		グレープフルーツ(白)		パプリカ(赤)	かぼちゃ	大豆
		イスラエル	南アフリカ	韓国	メキシコ						アメリカ	エクアドル	イスラエル	南アフリカ			
検査依頼項目数		50	50	50	50	50	50	50	11	テルブホス	○	○	○	○	○	○	
検出項目数		1	0	0	0	0	0	0	12	トルクロホスメチル	○	○	○	○	○	○	○
検査依頼項目	1	アジンホスメチル	○						13	パラチオン(パラチオンエチル)	○	○	○	○	○	○	○
	2	エチオン	○	○	○	○	○		14	パラチオンメチル	○	○	○	○	○	○	○
	3	エトプロホス	○		○	○			15	ピラクロホス	○				○	○	○
	4	カズサホス	○	○	○	○	○	○	16	ピリミホスメチル	○	○	○		○	○	○
	5	キナルホス	○	○	○	○	○	○	17	フェナミホス	○	○	○			○	○
	6	クロルピリホス	○	○	○	○	○	○	18	フェントロチオン(MEP)	○	○	○		○	○	○
	7	クロルピリホスメチル	○	○	○	○	○	○	19	フェンスルホチオン	○						○
	8	クロルフェンビンホス	○	○	○	○	○	○	20	フェントエート	○	○	○		○	○	○
	9	サリチオン	○						21	ホスチアゼート	○	○	○		○	○	
	10	ジメトエート	○				○	○	22	ホレート	○	○	○			○	

○:不検出

表3 輸入農産物の残留農薬検査結果(続き)

単位:mg/kg、括弧内は基準値

農産物名	生産地区	バナナ	グレープフルーツ(赤)	グレープフルーツ(白)	パプリカ(赤)	かぼちゃ	大豆	農産物名	生産地区	バナナ	グレープフルーツ(赤)	グレープフルーツ(白)	パプリカ(赤)	かぼちゃ	大豆
		エクアドル	イスラエル	南アフリカ	韓国	メキシコ	アメリカ			エクアドル	イスラエル	南アフリカ	韓国	メキシコ	アメリカ
23 マラチオン(マラソン)		○	○	○	○	○	○	51 EPN		○	○			○	
24 メチダチオン		○	○	○	○	○	○	52 エディフェンホス		○					
25 メビンホス		○						53 シアノホス		○	○	○	○	○	○
26 アクリナトリン		○			○			54 ジクロフェンチオン		○				○	○
27 アズキシストロビン		○			○		○	55 ダイアジン		○	○	○	○	○	○
28 アトラジン		○	○	○	○	○	○	56 テトラクロルピンホス		○				○	
29 エンドスルフアン		○	○	○	○	○	○	57 ビリダフェンチオン		○		○	○		
30 クレソキシムメチル		○	○	○	○	○	○	58 ブタミホス		○	○	○	○	○	○
31 クロルフェンソ		○						59 プロチオホス		○	○	○	○	○	
32 ジクロブトラゾール		○						60 プロフェノホス		○	○	○	○	○	
33 ジフェノコナゾール		○			○		○	61 ホサロン		○		○	○		
34 シフルフェナミド		○			○			62 アザコナゾール		○	○				○
35 シメコナゾール		○	○	○		○	○	63 イソプロチオラン		○	○	○	○		
36 トリアレート		○	○	○	○		○	64 トリブホス(DEF)		○					
37 ハルフェンプロックス		○						65 ビラゾホス		○	○			○	○
38 ビフェントリン		0.006(0.1)	○	○	○	○		66 フサライド		○	○	○	○	○	○
39 フィプロニル		○		○	○	○		67 フルキンコナゾール		○	○				○
40 フェナリモル		○	○	○	○	○	○	68 フルトラニル		○	○	○	○	○	○
41 フェンクロールホス		○						69 エトリムホス			○				
42 フェンバレレート		○	○	○	○	○	○	70 アラクロール			○	○	○	○	○
43 フェンプロパトリン		○	○	○	○	○	○	71 クロルプロファミ			○	○			○
44 ブプロフェジン		○	○	○	○	○	○	72 ベンフルラリン			○			○	○
45 フルシトリネート		○	○	○	○			73 シフルトリン				○			○
46 フルバリネート		○			○			74 クロルフェナピル						○	○
47 プロモプロピレート		○	○	○	○	○	○	75 シアナジン						○	○
48 プロモホス(プロモホスメチル)		○						76 ジメチルビンホス							○
49 ミクロブタニル		○	○	○		○	○	77 ピペロホス							○
50 レナシル		○	○	○	○	○	○	78 クロメプロップ							○

○:不検出

表4 国産及び輸入畜産物の残留農薬検査結果

単位 mg/kg

畜産物名	鶏肉 (もも肉)	鶏肉 (もも肉)	鶏肉 (もも肉)	豚肉 (ロース)	豚肉 (ロース)	豚肉 (もも肉)	畜産物名	鶏肉 (もも肉)	鶏肉 (もも肉)	鶏肉 (もも肉)	豚肉 (ロース)	豚肉 (ロース)	豚肉 (もも肉)			
	①	②	③	①	②			①	②	③	①	②				
生産地区	岩手県	ブラジル	ブラジル	青森県	アメリカ	スペイン	生産地区	岩手県	ブラジル	ブラジル	青森県	アメリカ	スペイン			
検査依頼項目数	12	12	12	12	12	12	検査依頼項目	6	DDT	○	○	○	○	○	○	
検出項目数	0	0	0	0	0	0		7	アルドリン及びディルドリン	○	○	○	○	○	○	
検査依頼項目	1	エンドスルファン	○	○	○	○		○	8	エンドリン	○	○	○	○	○	○
	2	ビフェントリン	○	○	○	○		○	9	クロルデン	○	○	○	○	○	○
	3	プロシミドン	○	○	○	○		○	10	ジコホール	○	○	○	○	○	○
	4	BHC	○	○	○	○		○	11	ヘキサクロロベンゼン	○	○	○	○	○	○
	5	γ-BHC	○	○	○	○		○	12	ヘプタクロル	○	○	○	○	○	○

○:不検出

イ 残留動物用医薬品検査

(7) 国内産畜産物の検査

保健所及び中央卸売市場食品衛生検査所依頼分の11検体・計171項目について検査を実施したところ、検出が認められた検体はなかった(表5)。

(イ) 輸入畜産物及び水産物の検査

保健所及び中央卸売市場食品衛生検査所依頼分の10検体・計135項目について検査を実施したところ、検出が認められた検体はなかった(表6)。

表5 残留動物用医薬品検査結果(国内産)

単位 mg/kg

農産物名		鶏肉(もも肉)	鶏肉(むね肉)①	鶏肉(むね肉)②	鶏肉(むね肉)③	鶏肉(ささみ)	鶏卵(白玉)①	鶏卵(白玉)②	鶏卵(赤玉)①	鶏卵(赤玉)②	鶏卵(赤玉)③	豚肉(ロース)
生産地区		岩手県	岩手県	宮崎県	岩手県	岩手県	岩手県	青森県	福島県	高津区	千葉県	青森県
検査依頼項目数		13	14	14	14	14	17	17	17	17	17	17
検出項目数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検査 依頼 項目	1 ジフロキサシン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 ナリジクス酸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3 フルメキン		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4 スルファジアジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5 スルファピリジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6 スルファメラジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7 スルファジミジン(スルファメサジン)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8 スルファメキシピリダジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9 スルファモノメキシシン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	10 スルファドキシシン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	11 スルファメキサゾール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12 スルファキノキサリン						○	○	○	○	○	○
	13 スルファジメキシシン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	14 スルファニトラン						○	○	○	○	○	○
	15 ミロキサシン	○	○	○	○	○						○
	16 ピロミド酸											○
	17 スルファクロルピリダジン											○
	18 オキシリニック酸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	19 トリメプリーム						○	○	○	○	○	
	20 オルメプリーム						○	○	○	○	○	

○:不検出

表6 残留動物用医薬品検査結果(輸入)

単位 mg/kg

農産物名		鶏肉 (もも肉) ①	鶏肉 (もも肉) ②	豚肉 (ロース)	豚肉 (もも肉)	えび ①	えび ②	えび ③	サーモン ①	サーモン ②	サーモン ③
生産地区		ブラジル	ブラジル	米 国	ス ペ イ ン	イ ン ド	イ ン ド ネ シ ア	ベ ト ナ ム	チ リ	ペ ル ー 共 和 国	ペ ル ー 共 和 国
検査依頼項目数		13	13	17	17	13	13	13	12	12	12
検出項目数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検査 依 頼 項 目	1	ジフロキサシン	○	○	○	○	○	○			
	2	ナリジクス酸	○	○	○	○			○	○	○
	3	フルメキン			○	○					
	4	スルファジアジン	○	○	○	○			○	○	○
	5	スルファピリジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6	スルファメラジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7	スルファジミジン(スルファメサジン)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8	スルファメキシピリダジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9	スルファモノメキシシ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	10	スルファドキシシ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	11	スルファメキサゾール	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12	スルファキノキサリン			○	○					
	13	スルファジメキシシ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	14	スルファニトラン			○	○	○	○			
	15	ミロキサシン	○	○	○	○			○	○	○
	16	ピロミド酸			○	○					
	17	スルファクロルピリダジン			○	○					
	18	オキシリニック酸	○	○			○	○	○	○	○
	19	トリメプリーム					○	○	○		
	20	オルメプリーム					○	○	○		

○:不検出

ウ 放射性物質検査

平成23年3月11日の福島第一原発事故後より放射性ヨウ素(ヨウ素 131)と放射性セシウム(Cs-134とCs-137)について測定を行っている。保健所、教育委員会及び上下水道局水道水質課から依頼のあった、総数22検体・延べ44項目(内訳:食品14検体28項目、水など環境試料8検体16項目)について放射能検査(放射性セシウム測定)を実施した。

(7) 市内流通食品

保健所依頼分の、市内に流通する一般食

品3検体について検査を実施したところ、全て不検出(基準値(Cs-134及び137の合計で100Bq/kg以下))であった(表7)

(イ) 学校給食(牛乳)

教育委員会依頼分の学校給食食材(牛乳)

11検体について検査を実施したところ、全て不検出であった(表8)。

(ウ) 水道水

上下水道局水道水質課依頼分の水道原水及び配水8検体について検査を実施したところ、検査結果は全て不検出であった(表9)。

表7 市内流通食品の放射性物質検査結果

基準値 適応区分	品名	検査件数	原材料等産地 又は 製造所等所在地	放射性セシウム(Bq/kg)	
				Cs-134	Cs-137
一般食品	はちみつ	1	ウクライナ	不検出(1.7 Bq/kg 未満)	不検出(1.3 Bq/kg 未満)
	ジュース(桃)	1	福島県	不検出(2.0 Bq/kg 未満)	不検出(1.9 Bq/kg 未満)
	トマトジュース	1	福島県	不検出(2.0 Bq/kg 未満)	不検出(1.9 Bq/kg 未満)

表8 学校給食用牛乳の放射性物質検査結果

基準値 適応区分	品名	検査件数	原材料産地	放射性セシウム(Bq/kg)	
				Cs-134	Cs-137
牛乳	牛乳	11	神奈川県等	不検出(1.3 Bq/kg 未満)	不検出(1.0 Bq/kg 未満)
				不検出(1.1 Bq/kg 未満)	不検出(1.0 Bq/kg 未満)
				不検出(1.3 Bq/kg 未満)	不検出(1.0 Bq/kg 未満)
				不検出(1.1 Bq/kg 未満)	不検出(1.0 Bq/kg 未満)
				不検出(1.0 Bq/kg 未満)	不検出(1.0 Bq/kg 未満)
				不検出(1.4 Bq/kg 未満)	不検出(1.1 Bq/kg 未満)
				不検出(1.5 Bq/kg 未満)	不検出(1.1 Bq/kg 未満)
				不検出(1.2 Bq/kg 未満)	不検出(1.1 Bq/kg 未満)
				不検出(1.3 Bq/kg 未満)	不検出(1.1 Bq/kg 未満)
				不検出(1.4 Bq/kg 未満)	不検出(1.1 Bq/kg 未満)

表9 水道水等の放射性物質検査結果

基準値 適応区分	品名	検査件数 (8件)	水源地	放射性セシウム(Bq/kg)	
				Cs-134	Cs-137
飲料水	水道原水	4	神奈川県	不検出(1.0 Bq/kg 未満)	不検出(1.0 Bq/kg 未満)
	水道水	4	神奈川県	不検出(1.0 Bq/kg 未満)	不検出(1.0 Bq/kg 未満)

3 微生物部門

(1) 消化器・食品細菌担当

腸管系細菌検査では、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づく届出及び市内外の食中毒の発生により消化器症状（下痢、腹痛等）を呈した患者やその接触者から腸管系感染症原因菌（コレラ菌、赤痢菌、チフス菌・パラチフス A 菌、腸管出血性大腸菌等）の分離・同定を行い、市内における食中毒被害の拡大防止や感染症のまん延防止に寄与している。また、分離された原因菌について、遺伝子解析を行い得られた分子疫学解析結果を保健所等の行政機関に還元している。

食品細菌検査では、食中毒予防等のため、川崎市食品衛生監視指導計画に基づき保健所及び 7 保健所支所から搬入された市内流通食品（食肉製品、乳製品、弁当類、そうざい等）について、食品衛生法に基づく成分規格検査や衛生指導検査（細菌数、大腸菌群、サルモネラ属菌、黄色ブドウ球菌、腸管出血性大腸菌等）を実施している。また、川崎市食品 GLP の対応として、外部精度管理調査（一般細菌数測定、黄色ブドウ球菌、サルモネラ属菌、大腸菌群、E.coli 検査）に年 5 回参加している。

ア 腸内細菌

(7) 感染性細菌検査

感染症の発生に伴う感染性細菌検査や市内医療機関で分離された菌株について、209 検体、374 項目の検査を実施した。月別検査件数は、表 1 のとおりである。また、菌種別の検出状況は、表 2 のとおりである。

分離又は搬入された腸管出血性大腸菌 57 検体（すべて感染症検体由来）についての血清型及び毒素型は、表 3 に示すとおりである。カルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）の β -ラクタマーゼ遺伝子検査は、届出対象外も含め、30 検体が搬入された。菌種別カルバペ

ネマーゼ遺伝子の保有状況は、表 4 のとおりである。

(イ) 細菌性食中毒検査

市内の食中毒や有症苦情及び他都市食中毒関連調査の検体が 247 検体搬入された。月別検査件数は、表 5 のとおりで、カンピロバクター・ジェジュニが 23 件で、最も多く検出された。また、令和 4 年度の市内細菌性食中毒の発生は 0 件であった。

イ 食品細菌

食品細菌検査は、表 6 に示すとおりである。総検体数は 892 検体で、不適項目（食品衛生法成分規格及び川崎市の食品等の衛生指導基準等による）は延べ 91 件（10.2%）で、成分規格違反はなく、すべて川崎市衛生指導基準等による不適合件数であった。

食品別の細菌検出状況については、大腸菌群は非加熱そうざい、弁当類、生菓子等から、セレウス菌は生菓子、非加熱そうざい等から、黄色ブドウ球菌は手指拭取、弁当類等から、カンピロバクター属菌は食肉から検出されている。

ウ 水質検査

水質細菌検査は、総検体数 297 検体（井戸水 87 検体、浴槽水 149 検体、採暖槽水 5 検体、プール水 48 検体等）が搬入された。

水質基準に関する省令、遊泳用プールの衛生基準等を基に一般細菌数及び大腸菌又は大腸菌群の検査を実施し、井戸水で一般細菌数 20 件、大腸菌 11 件、浴槽水で大腸菌群 1 件が基準不適であった。

表1 感染性細菌検査における月別検査件数（菌株含む）

項目 月	検体数	コレラ菌	赤痢菌	チフス菌	パラチフスA菌	下痢原性大腸菌	腸管出血性大腸菌 (腸管出血性大腸菌を除く)	腸炎ビブリオ (コレラ菌を除く)	カンピロバクター・ジエジュニ	カンピロバクター・コリ	エルシニア・エンテロコリチカ	ナグビブリオ	ビブリオ・フルビアリス	ビブリオ・ファーンシイ	エロモナス・フィドロフィラ	エロモナス・ソブリア	プレシオモナス・シゲロイデス	※1 カルバベネム耐性腸内細菌科細菌	その他	総項目数
4月	6	1	1	1	1	7	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	0	24
5月	5	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	5
6月	22	2	2	2	2	24	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	0	56
7月	29	0	0	0	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	29
8月	19	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	19
9月	44	0	0	0	0	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	44
10月	20	0	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	20
11月	9	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	9
12月	11	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	10
1月	20	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	20
2月	14	5	5	5	5	33	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	1	0	109
3月	10	1	1	1	1	13	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	29
総計	209	9	9	9	9	208	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	30	1	374

※1 β-ラクタマーゼ遺伝子検査

表2 感染性細菌検査における検出状況（菌株含む）

項目 月	コレラ菌	赤痢菌	チフス菌	パラチフスA菌	下痢原性大腸菌 (腸管出血性大腸菌を除く)	腸管出血性大腸菌	腸炎ビブリオ (コレラ菌を除く)	サルモネラ属菌 (チフス菌・パラチフスA菌を除く)	カンピロバクター・ジエジュニ	カンピロバクター・コリ	エルシニア・エンテロコリチカ	ナグビブリオ	ビブリオ・フルビアリス	ビブリオ・ファーンシイ	エロモナス・フィドロフィラ	エロモナス・ソブリア	プレシオモナス・シゲロイデス	※1 カルバベネム耐性腸内細菌科細菌	その他	検出細菌数 合計
4月																			1	1
5月						1														1
6月						4														4
7月						6												1		7
8月						7												2		9
9月						13												1		14
10月						5												1		6
11月						2														2
12月						3												1	1	5
1月						5														5
2月						7														7
3月						4														4
検出件数	0	0	0	0	0	57	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	2	65

※1 β-ラクタマーゼ遺伝子検出検体

表3 腸管出血性大腸菌の血清型及び毒素型

血清型	毒素型	株数
O26	VT1	20
O26	VT2	1
O157	VT1&2	12
O157	VT2	14
O121	VT2	2
O165	VT1&2	1
O8	VT2	1
O150	VT2	1
O177	VT1	1
OUT	VT2	4
計		57

表4 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）の菌種別遺伝子検出状況（令和4年4月～令和5年3月）

菌種	遺伝子検査 実施数	カルバペネマーゼ遺伝子 保有数	カルバペネマーゼ遺伝子 内訳
<i>Enterobacter cloacae</i>	9	0	—
<i>Klebsiella aerogenes</i>	11	0	—
<i>Escherichia coli</i>	1	0	—
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	2	0	—
<i>Citrobacter braakii</i>	1	0	—
<i>Citrobacter freundii</i>	3	1	NDM
<i>Raoultella sp.</i>	1	1	NDM
<i>Serratia liquefaciens</i>	1	0	—
<i>Serratia marcescens</i>	1	0	—

表5 細菌性食中毒検査における月別検査件数及び検出状況（菌株含む）

項目	検体数	赤痢菌	サルモネラ属菌 (チフス菌、パラチフスA菌を除く)	病原性大腸菌 (腸管出血性大腸菌を除く)	腸管出血性大腸菌	腸炎ビブリオ (コレラ菌含む)	黄色ブドウ球菌	カンピロバクター・ジエジュニ	カンピロバクター・コリ	ウエルシュ菌	エルシニア・エンテロコリチカ	ナグビブリオ(コレラ菌非O1)	ビブリオ・フルビアリス	ビブリオ・ファーンシイ	エロモナス・フィドロフィラ	エロモナス・ソブリア	ブレシオモナス・シゲロイデス	セレウス菌	クドア・セブテンブククタータ	検出細菌種数 合計
月																				
4月	2						1	1												2
5月	15							4												4
6月	71		5				3	6		1										15
7月	28						1	1												2
8月	48		3				1	6												10
9月	5						2													2
10月	23						1	2		1										4
11月	13						3	1		2										6
12月	20						1	1		1										3
1月	2									2										2
2月	11																			0
3月	9							1												1
総計	247	0	8	0	0	0	13	23	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51

(2) 呼吸器・環境細菌担当

結核菌・レジオネラ属菌・溶血性レンサ球菌・インフルエンザ菌・百日咳菌等の呼吸器系細菌や髄膜炎菌等の検査ならびに研究を行っている。

ア 結核関連検査

(7) 塗抹・培養検査

結核登録患者管理検診、結核患者接触者健診対象者に対して塗抹・培養検査を実施している。

令和4年度は 35 件の搬入があった。

結果は全て陰性であった。

(4) I G R A 検査

結核患者接触者健診において IGRA 検査を実施している。QFT-PLUS 検査件数は 303 件で、結果は表 1 に示すとおり陽性 15 件 (5.0%)、陰性 288 件 (95.0%) であった。

(7) 結核菌分子疫学解析

川崎市分子疫学調査として、平成 25 年度から川崎市内で発生届のあった患者の菌株を収集し、JATA15-VNTR 法で遺伝子解析を行っている。令和元年度から解析領域を 24 領域に拡大し、解析を実施している。

令和4年度は菌株 26 株が搬入され遺伝子解析を行った。更に、患者の疫学情報とあわせて分析を行い、菌バンクとしてデータを蓄積した。

イ レジオネラ属菌検査

浴槽水等の環境水、レジオネラ症患者発生時の患者喀痰や患者環境調査検体等からのレジオネラ属菌の分離培養を行った。また、遺伝子検査として LAMP 法を行った。

レジオネラ属菌検査の総数は 235 件、LAMP 法は 19 件であった。

各検査材料別の件数および検出血清型は表 2-1 及び表 2-2 に示すとおりである。

ウ 感染症細菌検査

感染症の発生に伴う細菌検査や市内医療機関で分離された菌株について検査を実施した。

インフルエンザ菌は 2 症例 3 株搬入され、全て non-typable (NTHi) であった。

劇症型溶血性レンサ球菌は 7 症例 7 株搬入され、B群 3 株、G 群 4 株であった。

肺炎球菌は 19 症例 22 株の搬入があり、血清型別を行った。血清型別結果は表 3 に示すとおりである。

表1 QFT-PLUS検査

依頼件数	陽 性	陰 性	判定不可
303	15(5.0%)	288(95.0%)	0(0.0%)

表2-1 レジオネラ属菌検出状況

		環境			感染症		計	
		浴槽水	採暖槽水	シャワー水等	喀痰	患者環境調査		
総検体数		158	52	0	9	16	145	
検出検体数(※)		20	7	0	2	2	31	
検 出 数	<i>L. pneumophila</i>	計	20	7	0	2	2	31
	血 清 群	SG1	4	1		1		6
		SG3	2	1				3
		SG4	1					1
		SG5	6	3				9
		SG6	2	1		1		4
		SG7	1					1
		SG8	1					1
		SG10	1					1
		SG12	1				1	2
	SGUT	1	1			1	3	

※ 1検体から複数の属・血清群が分離された場合は1と計上

表2-2 LAMP法によるレジオネラ属菌遺伝子検出状況

	環境		感染症		計
	浴槽水	採暖槽水	喀痰	患者環境調査	
総検体数	6	1	2	20	29
検出検体数		1		4	5

表3 肺炎球菌 血清型別

区分	血清 型別													計	
	13価ワクチン含有株														
	23価ワクチン含有株														
	3	14	18C	19A	11A/E	22F	6C	15A	15C	23A	24B	35F	37	※不明	
件数(15歳未満)			1	1	1			2	2		1	1			9
件数(15歳以上)	1	1				1	1			2		1	2	1	10

※multiplex法によるスクリーニング検査の結果は 18A/18B/18C/18F であった。

(3) ウイルス・衛生動物担当

ウイルス・衛生動物検査担当では、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づく感染症発生動向調査事業及び感染症対策における積極的疫学調査等により、患者等から採取された検体について、ウイルス、リケッチア及びクラミジアの検査を行っている。また、食品衛生法に基づくノロウイルス等食中毒起因ウイルスの検査及び寄生虫等の衛生害虫の同定検査を行っている。

ア 感染症対策におけるウイルス等検査

(7) 感染症発生動向調査事業

市内の病原体定点医療機関等においてインフルエンザ様疾患、咽頭結膜熱、手足口病、無菌性髄膜炎、RSウイルス感染症、流行性角結膜炎、感染性胃腸炎、急性脳炎（急性脳症含む）及び急性弛緩性麻痺と診断された患者から採取された153検体について、遺伝子検査及び細胞によるウイルス分離培養を行った。結果については月別件数を表1、疾患別件数を表2に示した。

(イ) 発熱発疹性ウイルス検査

麻しん、風しん及び先天性風しん症候群疑い症例における病原ウイルス検索のため、患者等10名の検体について遺伝子検査を行った。その結果、患者1名から麻しんウイルスD8型が検出された。

(ロ) デングウイルス検査

医療機関においてデング熱疑いと診断された患者4名について遺伝子検査を行ったところ、4名とも陽性となり、デングウイルス1型が2例、2型と3型が各1例から検出された。

(ハ) A型肝炎・E型肝炎ウイルス検査

医療機関においてA型肝炎又はE型肝炎と診断された患者又は接触者の計25名について遺伝子検査を行った。A型肝炎ウイルスは2例検出され、E型肝炎ウイルスは8例検出された(表3)。

(ニ) エムポックスウイルス検査

医療機関においてエムポックス(サル痘)疑いと診断された患者3名についてエムポックスウイルス及び水痘帯状疱疹ウイルスのPCR検査を実施したところ、エムポックスウイルス陽性が1例、水痘帯状疱疹ウイルス陽性が1例であった。

(ホ) 小児の原因不明急性肝炎ウイルス検査

「欧州及び米国における小児の原因不明の急性肝炎の発生について(協力依頼)」(令和4年4月27日付け厚生労働省県境局結核感染症課事務連絡)に基づき、医療機関から搬入された患者4名の検体について、原因探索のためのウイルス遺伝子検査を実施したところ、1例からヒトパレコウイルス3型とサイトメガロウイルス、2例からヒトヘルペスウイルス6型が検出された。

(ヘ) 集団かぜ患者のインフルエンザウイルス検査

市内各区における小学校の集団かぜ初発患者から鼻腔ぬぐい液を採取し、PCR及びウイルス分離培養にて検査を行った。その結果、7集団でインフルエンザウイルスが検出された(表4)。

(ヘ) 後天性免疫不全症候群/HIV検査

保健所で実施しているエイズ検査(HIV無料匿名検査)の検体のうち、スクリーニング検査で陽性又は判定保留となった患者2名について確認検査を行った。ウエスタンブロット法及び核酸検査を行い、1例がHIV-1陽性であった。

(コ) 新型コロナウイルス検査

新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)について、発症者及び濃厚接触者等の鼻咽頭ぬぐい液又は唾液等10,587検体についてリアルタイムPCR検査を行ったところ1,393例が陽性となった(表5)。

また流行している変異株を解析するため、陽性となった778例について次世代シーケンサーを用いたゲノム解析を実施した。令和4年3月頃から主流であったオミクロン株

(BA.2)は、6月頃からBA.5系統に推移し、10月頃からBA.5系統の亜系統であるBQ.1やBF.7が検出され、増加した。また、10月頃からBA.2系統はほぼBA.2.75系統となった。令和5年2月頃からBA.2の亜系統の組換え体であるXBB系統が増加した。

(3) 感染症媒介蚊のウイルス検査

市内2箇所において、令和4年7月から10月まで搬入のあった蚊について種別し、その雌成虫92匹を用いて蚊媒介感染症のウイルス検査を行った(表6)。その結果、ウエストナイルウイルス、デングウイルス、チクングニアウイルス及びジカウイルスを含むフラビウイルス属はいずれも不検出であった。

(4) リケッチア検査

医療機関において日本紅斑熱疑い又はつつが虫病疑いと診断された患者2名について日本紅斑熱を含むリケッチア、つつが

虫病リケッチア及びSFTSウイルスの遺伝子検査を行ったところ、つつが虫病リケッチアの遺伝子が1例検出された。

イ 食中毒原因究明のためのウイルス検査

食中毒等で搬入された患者等の臨床検体106検体について遺伝子検査を行い、30例でノロウイルスが検出され、遺伝子型はGI.3、GII.2、GII.4及びGII.17が検出された(表7)。また、食中毒に伴う食品及び拭き取り液108検体について遺伝子検査を行い、ノロウイルスはすべて不検出であった(表8)。

ウ 衛生動物検査

保健所に相談があった虫体又はさなぎ4検体について、形態学的同定検査及び遺伝子検査を行い、それぞれババムカシハナバチ、アミアリ、オオキモンノミバエ、ナミクバエと同定した。

表1 感染症発生動向調査事業におけるウイルス検出状況(月別)

発症年月	R4.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R5.1	2	3	合計
検査検体数	5	1	4	16	15	9	10	24	6	40	12	11	153
検査症例数	1	1	2	10	10	5	5	5	6	17	9	11	82
症例ごとの検出数の合計	2	1	4	11	8	5	6	8	6	14	8	6	79
インフルエンザウイルスAH3型							1		3	6	3	4	17
インフルエンザウイルスB型											1	2	3
RSウイルスA型				1	1								2
ヒトメタニューモウイルス				1		2	1						4
パラインフルエンザウイルス1型					1								1
パラインフルエンザウイルス3型							1						1
ライノウイルス				1		1	1						3
アデノウイルス6型				1									1
アデノウイルス37型				1									1
アデノウイルス53型								1					1
アデノウイルス56型										1			1
アデノウイルス64型				1									1
ヒトボカウイルス				1	1		2						4
コクサッキーウイルスA6型		1		1	3	1							6
コクサッキーウイルスA16型				1									1
ヒトパレコウイルス1型								1					1
ヒトパレコウイルス3型								1		1			2
新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)					1				1	1	2		5
ロタウイルスG3P[8]II					1								1
水痘・帯状疱疹ウイルス			1										1
EBウイルス				1						1			2
サイトメガロウイルス	1			1				3					5
ヒトヘルペスウイルス6型	1		2	1		1		2	1	2	1		11
ヒトヘルペスウイルス7型									1	2	1		4

表2 感染症発生動向調査におけるウイルス検出状況（疾患別）

診断名(疑いを含む)	インフルエンザ様疾患	RSウイルス	伝染性紅斑	突発性発疹	水痘	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	流行性耳下腺炎	無菌性髄膜炎	感染性胃腸炎	ロタウイルス	性器	急性弛緩性麻痺	合計
検出数	33	4	0	0	0	9	0	1	4	0	2	1	0	15	10	79
インフルエンザウイルスAH3型	17															17
インフルエンザウイルスB型	3															3
RSウイルスA型		2														2
ヒトメタニューモウイルス	3	1														4
パラインフルエンザウイルス1型		1														1
パラインフルエンザウイルス3型	1															1
ライノウイルス						2									1	3
アデノウイルス6型								1								1
アデノウイルス37型									1							1
アデノウイルス53型									1							1
アデノウイルス56型									1							1
アデノウイルス64型									1							1
ヒトボカウイルス	4															4
コクサッキーウイルスA6型						6										6
コクサッキーウイルスA16型						1										1
ヒトパレコウイルス1型															1	1
ヒトパレコウイルス3型													1	1		2
新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)	3													2		5
ロタウイルスG3P[8]I1												1				1
水痘・帯状疱疹ウイルス														1		1
EBウイルス														1	1	2
サイトメガロウイルス											1			3	1	5
ヒトヘルペスウイルス6型	1										1			6	3	11
ヒトヘルペスウイルス7型	1													1	2	4

表3 A型肝炎・E型肝炎ウイルス検査

検査年月	R4.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R5.1	2	3	合計
検査件数	2	2	2	5	3	1	1	2	5	1	1	6	31
検査症例数	2	2	1	5	3	1	1	1	3	1	1	4	25
A型肝炎ウイルス IA					1								1
A型肝炎ウイルス IB			1										1
E型肝炎ウイルス III型		2				1	1	1	1			2	8

表4 集団かぜ患者のインフルエンザウイルス検査

検体採取日	学校名	検体数	インフルエンザウイルス検出検体数			ウイルス型
			AH1pdm09亜型	AH3亜型	B型	
R5.1.14	殿町小学校	2		2		AH3
R5.1.16	菅小学校	2		2		AH3
R5.1.16	古市場小学校	3	1	2		AH3/AH1pdm09
R5.1.24	富士見台小学校	3		3		AH3
R5.1.25	西丸子小学校	2		2		AH3
R5.2.17	下作延小学校	4		3		AH3
R5.2.20	金程小学校	1		1		AH3

表5 新型コロナウイルス検査

検査年月	R4.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R5.1	2	3	合計
検査件数	1146	807	554	2076	1923	724	335	698	1272	746	302	4	10587
新型コロナウイルス陽性数※	124	58	60	238	298	127	72	127	199	62	28	0	1393
ゲノム解析数	92	48	38	77	148	76	62	54	109	69	5	0	778

※陰性確認の検体も含む

表6 市内2か所における人囀法による雌蚊（成虫）の捕集数

採集日	R4.7.11		R4.7.25		R4.8.8		R4.8.22		R4.9.12		R4.9.26		R4.10.11		R4.10.24		総計
	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B			
ヒトスジシマカ	3	6	9	3	2	1	1	13	9	5	1	16	12	7	0	0	88
ヤマトヤブカ	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
オオクロヤブカ	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2

A:生田緑地、B:等々力緑地

表7 食中毒起因ウイルス検査（患者等の臨床検体からの検出数）

検査年月	R4.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R5.1	2	3	合計
検査件数	2	9	16	9	18	1	9	14	7	2	12	7	106
検出件数	0	0	1	0	0	0	0	9	6	0	11	3	30
ノロウイルスG I. 3								7					7
ノロウイルスG I（型別不能）								1					1
ノロウイルスG II. 2			1									1	2
ノロウイルスG II. 4								1	6		10		17
ノロウイルスG II. 17												2	2
ノロウイルスG II（型別不能）											1		1

表8 食品及び拭き取り液からのノロウイルス検査

検査年月	R4.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R5.1	2	3	合計
検査件数	0	5	45	19	13	0	14	0	12	0	0	0	108
ノロウイルス検出数													0

【第3章 試験検査】

1 月別検査件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
結核	分離・同定・検査・検出	0	1	3	1	5	0	4	5	5	1	2	3	30
	核酸検査	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
	化学療法剤に対する耐性検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウイルス・リケッチア等検査	分離・同定・検出	1,140	814	566	2,108	1,946	740	367	730	1,297	806	325	32	10,871
	リケッチア	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
	クラミジア・マイコプラズマ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	リケッチア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病原性微生物の動物試験	クラミジア・トラコマティス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	原虫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	寄生虫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ族・節足動物	0	0	1	5	4	4	3	0	0	0	0	0	17
	真菌・その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	病原性微生物検査	2	10	26	9	22	5	9	9	13	2	11	9	126
	ウイルス	2	9	16	9	18	1	9	9	14	2	12	7	106
	核酸検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	理化学的検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
臨床検査	血液検査(血液一般検査)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	エイズ(HIV)検査	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
	HBs抗原・抗体検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他HCV	18	17	24	20	5	14	15	19	19	15	16	131	299
	先天性代謝異常検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	尿一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	神経芽細胞腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	アレルギー検査(抗原検査・抗体検査)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
食品等検査	微生物学的検査	78	120	244	148	77	67	121	79	97	41	49	0	1,121
	理化学的検査(残留農薬・食品添加物)	30	25	68	54	14	26	56	50	51	38	92	12	516
	動物を用いる試験	1	0	1	1	1	0	4	1	1	0	0	0	11
	その他(ウイルスも含む)	3	3	21	13	4	12	17	7	14	2	0	0	27
	分離・同定・検出	11	7	28	31	22	45	31	25	19	20	19	16	274
	核酸検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	抗体検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	化学療法剤に対する耐性検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	医薬品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	医薬部外品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
化粧品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
医療用品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
毒劇物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
家庭用品	0	0	0	17	22	22	22	17	11	0	23	12	0	124
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	25
栄養関係検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水道等水質検査	水道原水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌学的検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	理化学的検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生物学的検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌学的検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	理化学的検査	0	2	1	0	0	0	25	21	17	0	0	0	95
	生物学的検査	0	7	1	0	0	29	25	21	17	0	0	0	100
	細菌学的検査	0	16	91	46	17	38	61	108	28	23	22	16	466
	理化学的検査	0	11	39	34	13	6	19	42	11	11	11	2	199
	一般廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃棄物関係検査	細菌学的検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	理化学的検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生物学的検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌学的検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	理化学的検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生物学的検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
環境・公害関係検査	大気検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	SO ₂ ・NO ₂ ・O ₃ 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	浮遊粒子状物質	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	降下煤塵	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	有害化学物質・重金属等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	酸性雨	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	水質検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	公共用水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	工場・事業場排水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	浄化槽放流水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	騒音・振動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	土壌・低質検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	環境生物検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	藻類・プランクトン・魚介類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般室内環境	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	放射能	環境試料(雨水・空気・土壌等)	0	2	0	0	2	0	0	0	2	0	0	2
	食品	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	4	14
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
温泉(鉱泉)泉質検査		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 依頼別・項目別検査件数

		依頼によるもの				依頼によらないもの(5)	検査件数合計	検査項目又は検体名	延検査項目数(小計)	
		住民(1)	保健所(2)	保健所以外の行政機関(3)	その他(医療機関、学校、事務所)(4)					
結核	分離・同定・検出	0	30	0	0	0	30		0	
	核酸検査	0	2	0	0	0	2		0	
	化学療法剤に対する耐性検査	0	0	0	0	0	0		0	
性病	梅毒	0	0	0	0	0	0		(0)	
		1. STS 定性							0	
		2. STS 定量							0	
		3. TPHA 定性							0	
		4. TOHA 定量							0	
		5. 梅毒(ELISA)							0	
	6. その他							0		
	その他	0	0	0	0	0	0		(0)	
1. 淋病							0			
2. その他							0			
ウイルス・リケッチア等検査	ウイルス	0	10,871	0	0	0	10,871		(10,997)	
		1. 細胞培養							158	
		2. 鶏卵培養							0	
		3. 酵素抗体							0	
		4. 蛍光抗体							0	
		5. 遺伝子増幅							10,839	
		6. その他							0	
	分離・同定・検出	リケッチア	0	3	0	0	0	3		(3)
			1. 細胞培養							0
			2. 鶏卵培養							0
			3. 酵素抗体							0
			4. 蛍光抗体							0
			5. 遺伝子増幅							3
			6. その他							0
	クラミジア・マイコプラズマ	0	0	0	0	0	0	0		(0)
			1. 細胞培養							0
			2. 鶏卵培養							0
			3. 蛍光抗体							0
			4. 遺伝子増幅							0
			5. その他							0
抗体検査	ウイルス	0	0	0	0	0	0		(0)	
		1. 中和試験							0	
		2. HI試験							0	
		3. CP試験							0	
		4. 酵素抗体							0	
		5. ワイル・フェリックス反応							0	
		6. その他							0	
リケッチア	0	0	0	0	0	0	0		0	
		0	0	0	0	0	0		(0)	
		1. 性器クラミジア抗体IgA							0	
		IgG							0	
病原微生物の動物試験	0	0	0	0	0	0		0		

		依頼によるもの				依頼に よらない もの(5)	検査 件数 合計	検査項目又は検体名	延検査 項目数 (小計)	
		住民(1)	保健所(2)	保健所 以外の 行政機関 (3)	その他 (医療機 関、学 校、事務 所)(4)					
原虫・ 寄生虫	原虫	0	0	0	0	0	0	(0)		
								1. アメーバー赤痢	0	
								2. その他	0	
	寄生虫	0	0	0	0	0	0	(0)		
								1. 蟯虫	0	
								2. その他	0	
	そ族・節足動物	0	17	0	0	0	17	(17)		
							1. 害虫動物	0		
							2. 殺虫効力試験	0		
							3. 生態習性試験	0		
							4. その他	17		
真菌・その他	0	0	0	0	0	0	0			
食中毒	病原微生物検査	細菌	0	126	0	0	126	(2627)		
									1. 食中毒病原菌21菌種	2,625
									2. 腸管出血大腸菌	0
								3. その他の細菌	2	
	ウイルス(SRSV) (A型 肝炎)	0	106	0	0	0	106	(107)		
								1. SRSV電子顕微鏡	9	
								2. NV遺伝子増幅	97	
							3. その他の細菌	1		
核酸検査	0	0	0	0	0	0	0			
理化学的検査	0	0	0	0	0	0	0			
その他	0	0	0	0	0	0	0			
臨床検査	血液検査(血液一般検査)		0	0	0	0	0	0		
	血液等検査	エイズ(HIV)検査	0	2	0	0	2	(2)		
									1. PA法	0
									2. 確認試験(W,B)	2
		HBs抗原、抗体検査	0	0	0	0	0	0	(0)	
									1. HBs抗原	0
									2. HBs抗体	0
								3. HBe抗原	0	
								4. HBe抗体	0	
								5. IgMHbC抗体	0	
								6. その他	0	
その他	0	299	0	0	0	299	(0)			
							1. HCV抗体	0		
							2. QFT	0		
							3. その他	0		
生化学検査	先天性代謝異常検査	0	0	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0	0	0			
尿検査	尿一般	0	0	0	0	0	0			
	神経芽細胞腫	0	0	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0	0	0			
アレルギー検査 (抗原検査・抗体検査)		0	0	0	0	0	0			
その他		0	0	0	0	0	0			

		依頼によるもの				依頼によらないもの(5)	検査件数合計	検査項目又は検体名	延検査項目数(小計)							
		住民(1)	保健所(2)	保健所以外の行政機関(3)	その他(医療機関、学校、事務所)(4)											
食品等検査	微生物学的検査	0	1,121	0	0	0	1,121		(7,559)							
	食品細菌	0	892	0	0	0	892		(4,910)							
								1. 生菌数	865							
								2. 大腸菌数	861							
	食中毒細菌(食品・ふき取り等)	0	121	0	0	0	121		(2,541)							
								1. 食中毒病原菌21菌種	2,541							
								2. 腸管出血大腸菌	0							
	食中毒ウイルス(食品等)	0	108	0	0	0	108		(108)							
								1. 電子顕微鏡	0							
								2. 遺伝子増幅	108							
	理化学的検査(残留農薬・食品添加物等)	0	188	0	0	328	516		(24,937)							
								食品添加物	0	122	0	0	99	221		(479)
															1. 食品添加物	423
	2. 遺伝子組換え食品	26														
残留農薬	0	66	0	0	229	295		(24,458)								
							1. 残留農薬	22,926								
							2. 動物用医薬品	1,532								
							3. 金属類	0								
動物を用いる試験	0	5	5	0	1	11		11								
							その他	0	18	5	0	100	123		(368)	
														1. 金属類	54	
2. 炭水水素等	0															
(上記以外)細菌検査	分離・同定・検出	0	248	2	0	24	274		(362)							
								1. 赤痢菌	10							
								2. サルモネラ(腸・バラ含む)	10							
								3. 病原大腸菌	40							
								4. 腸炎ビブリオ	9							
								5. コレラ菌	9							
								6. 病原ブドウ球菌	0							
								7. カンピロバクター・ジェジュ/コリー	20							
								8. 腸管出血大腸菌	165							
								9. その他の腸管病原菌	63							
								10. レンサ球菌	0							
	11. その他の細菌	36														
核酸検査	0	0	0	0	0	0		0								
抗体検査	0	0	0	0	0	0		0								
化学療法剤に対する耐性検査	0	0	0	0	0	0		0								

	依頼によるもの				依頼によらないもの(5)	検査件数合計	検査項目又は検体名	延検査項目数(小計)		
	住民(1)	保健所(2)	保健所以外の行政機関(3)	その他(医療機関、学校、事務所)(4)						
医薬品・家庭用品等検査	医薬品	0	0	0	0	0		0		
	医薬部外品	0	0	0	0	0		0		
	化粧品	0	0	0	0	0		0		
	医療用具	0	0	0	0	0		0		
	毒劇物	0	0	0	0	0		0		
	家庭用品	0	108	0	0	16	124	(362)		
								1. ホルムアルデヒド 95		
								2. 有機水銀化合物 10		
								3. トルフェニル銀化合物 10		
								4. トリブチル錫化合物 10		
								5. 酸/アルカリ定量 2		
								6. 容器試験 8		
							7. テトクロロエチレン 3			
							8. トリクロロエチレン 3			
							9. メタノール 0			
							10. 蛍光 0			
							11. その他 221			
その他	0	25	0	0	0	25	1. 健康食品等	112		
栄養関係検査	0	0	0	0	0	0	1. 成分検査	0		
水道等水質検査	水道原水	細菌学的検査	0	0	0	0	0		0	
		理化学的検査	0	0	0	0	0		0	
		生物学的検査	0	0	0	0	0	0	0	
	飲用水	細菌学的検査		0	95	0	0	95	(190)	
									1. 一般細菌数 95	
									2. 大腸菌等 95	
		理化学的検査		0	95	0	0	5	100	(1,095)
										1. 井戸水 870
										2. 貯槽水 30
										3. 船舶水 0
								4. 簡易水道水 0		
								5. 専用水道水 80		
							6. 水道直結栓水 0			
							7. その他 115			
(プール水等を含む)	細菌学的検査		0	466	0	0	466	(576)		
								1. 一般細菌数 288		
								2. 大腸菌群 288		
	理化学的検査		0	199	0	0	0	199	(397)	
								1. プール水 108		
								2. その他 289		

		依頼によるもの				依頼によ らないも の(5)	検査件数 合計	検査項目又は検体名	延検査 項目数 (小計)	
		住民(1)	保健所(2)	保健所以 外の行政 機関(3)	その他 (医療機 関、学 校、事務 所)(4)					
廃棄物 関係 検査	一般 廃棄物	細菌学的検査	0	0	0	0	0		0	
		理化学的検査	0	0	0	0	0		0	
		生物学的検査	0	0	0	0	0		0	
	産業 廃棄物	細菌学的検査	0	0	0	0	0		0	
		理化学的検査	0	0	0	0	0	1. 汚泥	0	
		生物学的検査	0	0	0	0	0		0	
環境・ 公害 関係	大気 汚染	SO ₂ ・NO ₂ ・O _x 等	0	0	0	0	0		0	
		浮遊粒子状物質	0	0	0	0	0		0	
		降下煤塵	0	0	0	0	0		0	
		有害化学物質・重金属	0	0	0	0	0		0	
		酸性雨	0	0	0	0	0		0	
		その他	0	0	0	0	0		0	
	水道 検査	公共用水		0	0	0	0		(0)	
									1. 河海水底質	0
									2. その他	0
		工場・事業場排水		0	0	0	0	0		(0)
									1. 工場・事業場排水	0
									2. その他	0
	浄化槽放流水		0	0	0	0	0		0	
									(0)	
								1. 一般細菌数	0	
	騒音・振動		0	0	0	0	0		0	
									0	
									0	
									0	
	環境 生物 検査	藻類・プランクトン・魚介類	0	0	0	0	0		0	
		その他	0	0	0	0	0		0	
一般室内環境		0	0	0	0	0	1. 落下細菌	0		
その他		0	0	0	0	0		0		
放射能	環境試料(雨水・空気・土壌等)		0	0	8	0	8		(16)	
								1. セシウム134	8	
								2. セシウム137	8	
								3. ヨウ素131	0	
	食品		0	3	11	0	0	14	(28)	
									1. セシウム134	14
									2. セシウム137	14
									3. ヨウ素131	0
									(0)	
その他		0	0	0	0	0		0		
								1. セシウム134	0	
								2. セシウム137	0	
							3. ヨウ素131	0		
温泉(鉱泉)泉質検査		0	0	0	0	0		0		
その他		0	0	0	0	0		0		
計		0	14,027	31	0	474	14,532	49,766		

3 食品別検査項目内訳

(1) 食品別検査項目内訳(理化学検査)

区分	項目	総検体数	総項目数	着色料	保存料	発色剤	漂白剤	甘味料	強化剤	殺菌料	酸化防止剤	品質保持剤	防かび剤	酸味料	その他の添加物	不許可添加物	水分活性	品質検査	シアン化合物	マイコトキシン	魚介毒	塩分濃度	酸価過酸化物価	動物用医薬品	規格試験	食品成分	P C B	残留農薬	放射能	重金属	遺伝子組換え食品検査	特定原材料検査	その他					
魚介類		11	49																		16								24			9						
魚介類	ねり製品	1	1																												1							
加工品	その他	15	90		4		1											3			3		75	2														
食肉及びその加工品	食肉	16	218																				146															
卵及びその加工品	食肉製品	11	36	7	14	11		4																														
	卵及びその加工品	5	85																				85															
穀類及びその加工品		26	81		6		3					10																										
野菜果実類及び漬物		11	33	2	8		1	4										8																				
その加工品	野菜果実・その他	60	1,913	2	2		2						46																									
豆類及びその加工品		4	53	1																																		
乳及びその加工品	乳類	11	22																																			
	乳製品	5	9		3			2																	2													
調味料		9	37	3	19		2	6																														
菓子類		17	33	7	6		3	3																														
清涼飲料水		9	37	3	8		2	5																														
酒精飲料		1	6	1	1		1	1																														
油脂類																																						
びん詰・缶詰食品		7	39	3	9		5	1																														
健康食品		0	0																																			
その他の食品		7	14		6		2	1																														
食品添加物		0	0																																			
器具及び容器包装																																						
おもちゃ																																						
その他																																						
合計		226	2,756	27	86	11	22	27	0	0	4	10	46	0	2	43	1	11	2	0	19	8	0	306	12	0	0	2,022	28	33	21	6		9				

(2)食品別検査項目内訳(食品細菌検査)

区分	項目	検体数	一般細菌数	大腸菌群	黄色ブドウ球菌	サルモネラ属菌(チフス菌等を含む)	E・c・o・i・i	E・c・o・i・i最確数(MPN)	腸管出血性大腸菌(6血清※1)	セラウス菌	ウェルシュ菌	カンピロバクター属菌	腸炎ビフリオ	腸炎ビフリオ最確数(MPN)	NAGビフリオ	その他ビフリオ科(※2)	コシラ菌	エルシニア	赤痢菌	リステリア菌	ボツリヌス菌	クロストリジウム属菌	病原性大腸菌(腸管出血性大腸菌を除く)	腸球菌	球菌類(カビ・酵母)	その他試験(※3)	検査項目総数	
種別及びその加工品	生食用かき	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	生食用鮮魚介類	16	16	14	14	3	16	0	0	1	0	0	0	2	14	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	84
冷凍食品	食肉及び	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生食用食肉	10	10	4	1	8	9	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28
その加工品	食肉製品	6	0	0	0	3	0	0	18	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24
	食品加工品	12	9	9	12	12	12	0	48	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0	0	0	108	
卵及びその加工品	卵	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	卵加工品	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
乳及びその加工品	乳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳製品	6	3	3	2	5	2	0	18	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	37
穀類・豆類及びその加工品	穀類・豆類及び	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	穀類加工品(その他)	2	2	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
野菜・果物及びその加工品	野菜・果物及び	14	14	14	14	8	11	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	72
	野菜加工品(その他)	1	1	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
菓子類	菓子類	10	10	10	10	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	菓子加工品	4	2	2	2	2	2	0	12	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24
清涼飲料水・粉末清涼飲料水	清涼飲料水	14	11	13	11	5	13	0	54	4	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	127
	粉末清涼飲料水	80	80	80	80	80	80	0	0	54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	454
調味料(みそ・しょうゆ等)	調味料	3	3	3	3	3	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17
	調味料加工品	5	5	5	5	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	
その他食品	その他食品	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	加工品	6	5	6	4	4	6	0	0	6	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	
そうざい類	そうざい類	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	非加熱そうざい	6	3	3	1	1	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16
弁当類	調理ごはん類	273	274	274	274	274	274	0	54	109	57	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1590
	調理パン類	201	200	200	200	200	200	0	24	142	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1171
ふきとり	器具拭取	69	69	69	69	69	69	0	0	55	3	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	409
	手拭拭取	39	38	39	39	39	39	0	0	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	225	
ふきん・おしぼり	器具拭取	76	75	75	75	12	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	263
	手拭拭取	25	26	26	26	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80
ふきん・おしぼり	その他拭取	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	検体数	892	865	861	844	747	784	0	240	433	65	3	22	14	3	3	0	3	0	6	3	3	0	1	3	9	4910	

※1：腸管出血性大腸菌(6血清)とは、O157、O26、O111、O103、O121、O145をいひ、各々1件として計上。
 ※2：その他ビフリオ科材料には、*Vaminicus*、*V.famisi*、*A.hydrophila*、*A.sobria*、*P.shigelloides*を実施した場合に計上。
 ※3：その他試験には、恒温試験・細菌試験・保存試験・乳酸菌数を実施した場合に計上。

4 水質別検査項目内訳

区分	項目	総検体数	総項目数	外観・濃度・色度・臭・味	P H	窒素化合物	有機物	硬度	陽イオン類	陰イオン類	蒸発残留物	残留塩素	溶存酸素	C O D	B O D	浮遊物質	陰イオン界面活性剤	n-ヘキサン可溶性物質	その他の理化学試験	一般細菌数	大腸菌又は大腸菌群	その他の細菌学的試験	放射能	
飲料水検査	水道水	8	16																	8	8			
	浄水																							
	貯水槽水(細)																							
	その他(ウォータークーラー)																							
	貯水槽水(理)	8	165	24	8	16	8	8	63	8	1							29						
	その他(ウォータークーラー)																							
	水道原水	4	8																				8	
	水道配水	4	8																				8	
	井戸水(細)	87	174																		87	87		
	その他(ミネラルウォーター)																							
井戸水(理)	87	870	261	87	174	87	87	87	87	87														
その他(ミネラルウォーター)																								
利用水関係検査	中水道水(細)																							
	その他																							
	中水道水(理)																							
	その他																							
下水関係検査	生物学的検査																							
	下水(細)																							
	その他																							
	下水(理)																							
清掃関係検査	生物学的検査																							
	し尿																							
	浄化放流水(細)																							
	浄化槽水																							
	浄化放流水(理)																							
	浄化槽水																							
公害・一般環境検査	生物学的検査																							
	その他																							
	河川																							
	河川水底質																							
	汚濁																							
	産業排水																							
	その他(コレラ)																							
	その他(浄水発生土)																							
	浴槽水	495	632	144			140												14	149	149	36		
	プール水・採暖槽水	150	232	54															54	53	53	18		
その他(クーリングタワー)																								
その他(海水)																								
温泉(鉱泉)																								
その他(シャワー水等)	7	7																						
合計	850	2,112	483	95	190	235	95	150	95	95	1							97	297	297	61	16		

【第4章 調査研究】

1 令和4年度調査研究課題一覧

令和4年度に当研究所で実施した調査研究課題を次に示す。

研究課題名	担当	研究の種類
自然毒食中毒検査体制の拡充	食品	経常研究
デオキシニバレノールとオクラトキシンAの同時分析法の開発	食品	共同研究
食品中の食品添加物分析法の設定(ヘキサンの分析法の検証)	食品	受託研究
不揮発性物質試験法の性能評価	水質・環境	共同研究
家庭用品に含まれる有害物質(TDBPP、BDBPP)検査法の検討	水質・環境	共同研究
カンピロバクター・ジェジュニ/コリの検査法の検討	消化器・食品細菌	経常研究
O-genotyping PCR(Og-typing PCR)法を用いた腸管出血性大腸菌のO血清群検査法の検討	消化器・食品細菌	経常研究
市内流通ベビーリーフにおける腸管出血性大腸菌の汚染実態調査	消化器・食品細菌	経常研究
市内流通食品等における薬剤耐性大腸菌群の汚染実態に関する事業研究	消化器・食品細菌	経常研究
NIHSJ-35カンピロバクター定量試験法の妥当性評価	消化器・食品細菌	共同研究
ウエルシュ菌食中毒の制御のための検査法の開発及び汚染実態把握のための研究(大規模な汚染実態調査の実施)	消化器・食品細菌	共同研究
川崎市内における侵襲性肺炎球菌感染症の発生状況と血清型分布状況について	呼吸器・環境細菌	経常研究
非結核性抗酸菌のハウスキーピング遺伝子解析を用いた同定	呼吸器・環境細菌	経常研究
環境中のレジオネラ属菌の分布状況の調査	呼吸器・環境細菌	経常研究
結核菌株の各クラスターにおける全ゲノム解析の検討	呼吸器・環境細菌	経常研究
レジオネラ属菌の新規検査法の検討と施設における汚染状況の解析	呼吸器・環境細菌	共同研究
新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)におけるCt値と発症病日の解析	ウイルス・衛生動物	経常研究
Spikeタンパク質領域を中心とした新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)の分子解析	ウイルス・衛生動物	経常研究
ウイルス変異を考慮した大量自動検査システムの研究	ウイルス・衛生動物	共同研究
ノロウイルス検出のためのPCR試薬の検討	ウイルス・衛生動物	共同研究
新興感染症流行時における地方自治体の食品防御対策の検討 ～食品におけるSARS-CoV-2の汚染状況の有無の検証～	ウイルス・衛生動物	共同研究
新興感染症流行時における地方自治体の食品防御対策の検討 ～行政機関における食品防御対策の検討～	ウイルス・衛生動物	共同研究
SARS-CoV-2抗原・インフルエンザウイルス抗原同時検出試薬に関する検討	ウイルス・衛生動物	受託研究
非結核性抗酸菌の環境調査	微生物担当	経常研究
ウエルシュ菌食中毒の制御のための検査法の開発及び汚染実態把握のための研究(新たな検査法の開発)	ウイルス・衛生動物	共同研究

研究課題名	担当	研究の種類
食品検体を用いたastA保有大腸菌検査法の検討	感染症情報センター	共同研究
過粘稠性肺炎桿菌 (hypermucoviscous <i>Klebsiella pneumoniae</i> : hvKP) の発生状況の把握と重症例の解析に関する研究 (継続)	感染症情報センター	共同研究
3類等感染症のMultistate Outbreakの可視化疫学解析システムの運用	感染症情報センター	共同研究
川崎市健康安全研究所における職員のウイルス抗体価調査	感染症情報センター	共同研究
腸管出血性大腸菌の病原体保有者に対する抗菌薬投与と排菌期間の関連を検討する後ろ向きコホート研究	感染症情報センター	共同研究
HPVワクチンの安全性に関する研究	所長	共同研究
感染症予防ワクチンの非臨床試験・臨床試験ガイドラインに関する研究	所長	共同研究
ワクチンで予防可能な疾病のサーベイランスとワクチン効果の評価に関する研究 -VPD に対する疫学調査に基づいた予防法の評価、各種ワクチンの有効性、安全性、免疫原性、累積接種率など、予防接種行政及び国民への情報還元に不可欠な知見に関する研究-	所長	共同研究
公衆衛生体制の見直しと新たな体制構築のための政策研究	所長	共同研究
		計 34課題

研究の種類について

研究の種類	内容	課題数 [※]
経常研究	職員の通常業務上からの発想に基づく研究	12
共同研究	国、地方公共団体、大学及び民間企業等と研究内容を分担し、共同で実施する研究	20
受託研究	他の機関から委託を受けて行う研究	2
合計		34

※令和4年度件数

2 調査研究報告等実績一覧

令和4年度の調査研究成果の報告実績を次に示す。

(1) 令和4年度学会発表実績(口演発表)

○:発表者 下線:健康安全研究所職員

年月日	演題名	学会名	場所	発表者(共同研究者等を含む)
R4.6.30	焼肉店で発生した腸管出血性大腸菌O157による食中毒事例について	衛生微生物協議会第42回研究会	オンライン	○ <u>小嶋由香</u>
R4.9.20	Comparative Study between Legiolert/Quant- Tray and Plate Culture Methods for Detecting L. pneumophila	第10回国際レジオネラ学会	はまぎんホール ヴィアマーレ	○Yusuke Yodotani, Eiko Yuzawa, Toshitsugu Taguri, Bunji Masuwa, Motoki Ihara, Mari Sasaki, Keita Yanagimoto, Chieko Muto, Kikuyo Ogata, Naomi Tanaka, Yuichi Hanada, Junko Amemura-Maekawa, Shinji Izumiya, <u>Nobuhiko Okabe</u>
R4.9.29～30	川崎市におけるSARS-CoV-2のゲノム解析	令和4年度(第36回)地方衛生研究所全国協議会 関東甲信静支部ウイルス研究部会	川崎生命科学・環境研究センター	○ <u>荒井千寛</u> , <u>夏井航平</u> , <u>若菜愛澄</u> , <u>皇山理沙</u> , <u>佐々木国玄</u> , <u>赤星千絵</u> , <u>清水英明</u> , <u>小嶋由香</u>
R4.10.7～9	川崎市における梅毒の発生状況—過去10年間の動向と近年の報告数増加について—	第81回日本公衆衛生学会総会	YCC県民文化ホール、山梨県立図書館	○ <u>廣富匡志</u> , <u>丸山 絢</u> , <u>三崎貴子</u> , <u>岡部信彦</u>
R4.10.31～11.1	食品中の食品添加物分析法改正に向けた検討(令和3年度)	第59回全国衛生化学技術協議会年会	国立医薬品食品衛生研究所, 川崎生命科学・環境研究センター, Shimadzu Tokyo Innovation Plaza	○ <u>多田敦子</u> , <u>堀江正一</u> , <u>内山陽介</u> , <u>栗田史子</u> , <u>山嶋裕季子</u> , <u>杉浦潤</u> , <u>大槻崇</u> , <u>渡部緑</u> , <u>金田祥子</u> , <u>久保田浩樹</u> , <u>建部千絵</u> , <u>寺見祥子</u> , <u>日置冬子</u> , <u>佐藤恭子</u> , <u>杉本直樹</u>
R4.11.10～11	Esherichia albertiiの食品での試験法のコラボレイティブ・スタディによる評価	第118回食品衛生学会学術集会	出島メッセ長崎	○ <u>小嶋由香</u> , <u>今野貴之</u> , <u>山中拓哉</u> , <u>床井由紀</u> , <u>柳本恵太</u> , <u>山谷聡子</u> , <u>高橋直人</u> , <u>小林章人</u> , <u>松永典久</u> , <u>齊木 大</u> , <u>土井りえ</u> , <u>新井沙倉</u> , <u>廣瀬昌平</u> , <u>工藤由起子</u>
R4.11.10～11	環状デペプシペプチド系カピ毒の分析法の開発と汚染実態調査	第118回日本食品衛生学会学術講演会	出島メッセ長崎	○ <u>吉成知也</u> , <u>小杉正樹</u> , <u>佐藤英子</u> , <u>下山晃</u> , <u>竹内浩</u> , <u>谷口賢</u> , <u>福光徹</u> , <u>藤吉智治</u> , <u>森田剛史</u> , <u>工藤由起子</u>
R4.12.3	川崎市におけるSARS-CoV-2のゲノム解析	第90回神奈川県感染症医学会	神奈川県立かながわ労働プラザ	○ <u>荒井千寛</u> , <u>夏井航平</u> , <u>若菜愛澄</u> , <u>皇山理沙</u> , <u>佐々木国玄</u> , <u>赤星千絵</u> , <u>清水英明</u> , <u>小嶋由香</u>
R4.12.3	COVID-19流行下における他の感染症の流行状況	第90回神奈川県感染症医学会	神奈川県立かながわ労働プラザ	○ <u>眞鍋佳世</u> , <u>丸山 絢</u> , <u>津村和大</u> , <u>三崎貴子</u> , <u>岡部信彦</u>
R4.12.3	近年のサル痘の発生状況と国内における今後の感染拡大の可能性に関するリスク評価	第90回神奈川県感染症医学会	神奈川県立かながわ労働プラザ	○ <u>秋山倫人</u> , <u>丸山 絢</u> , <u>津村和大</u> , <u>三崎貴子</u> , <u>岡部信彦</u>
R4.2.10	浴槽水等から分離されたレジオネラ属菌の分子疫学解析の検討	第34回地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部細菌研究部会総会・研究会	神奈川県総合薬事保健センター	○ <u>淀谷雄亮</u> , <u>西里恵美莉</u> , <u>吉田裕一</u> , <u>小嶋由香</u> , <u>岡部信彦</u>
R4.2.10	川崎市で分離された市販血清でO型別不能の腸管出血性大腸菌の細菌学的検討について	第34回地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部細菌研究部会総会・研究会	神奈川県総合薬事保健センター	○ <u>池田史朗</u> , <u>荒木靖也</u> , <u>福島和弥</u> , <u>安澤洋子</u> , <u>阿部光一郎</u> , <u>湯澤栄子</u> , <u>小嶋由香</u> , <u>岡部信彦</u>
R5.2.19	新型コロナウイルス感染症流行が小児定期予防接種の接種率に及ぼす影響—第2報—	第14回予防接種に関する研究報告会	リロの会議室コソフォート新宿	○ <u>三崎貴子</u> , <u>丸山 絢</u> , <u>小泉祐子</u> , <u>勝田友博</u> , <u>岡部信彦</u>

(2) 令和4年度学会発表実績(示説発表)

○: 発表者 下線: 健康安全研究所職員

年月日	演題名	学会名	場所	発表者(共同研究者等を含む)
R4.4	川崎市における侵襲性肺炎球菌感染症(IPD)の発生状況と血清型分布状況について	第96回日本感染症学会 総会・学術講演会	オンライン	○小嶋由香, 淀谷雄亮, 三崎貴子, 常彬, 岡部信彦
R4.6.16~18	腸管出血性大腸菌保菌者への公衆衛生上の対応に関する実態調査	第37回日本環境感染学会 総会・学術集会	パシフィコ横浜 ノース・展示 ホール	○明神翔太, 三崎貴子, 岡部信彦, 宮入 烈
R4.10.26~28	Impact of the COVID-19 pandemic on routine immunization coverage in children in Kawasaki City, Japan	The 10th Asian Congress of Pediatric Infectious Diseases	The Shilla Seoul, Seoul, Korea	○三崎貴子, 小泉祐子, 勝田友博, 岡部信彦
R4.10.30~11.1	令和3年度室内空気環境汚染に関する全国実態調査	第59回全国衛生化学技術協議会年会	国立医薬品食品衛生研究所, 川崎生命科学・環境研究センター, Shimadzu Tokyo Innovation Plaza	○大嶋直浩, 高木規峰野, 高橋夏子, 酒井信夫, 五十嵐良明, 千葉直弘, 柴田学, 岩館朱里, 後藤吉乃, 佐藤智子, 田中智子, 大竹正芳, 角田徳子, 上村仁, 田中礼子, 高居久義, 中村雄介, 堀井裕子, 望月映希, 伊藤彰, 山本優子, 大野浩之, 藤本恭史, 吉田俊明, 古市裕子, 八木正博, 伊達英代, 谷脇妙, 松本弘子, 吉村裕紀, 前田美奈子
R5.3.1~3.3	Duration of fecal shedding among patients and asymptomatic carriers of Shiga toxin-producing Escherichia coli in Kawasaki city, Japan: a descriptive study	2023 St. Jude/PIDS Pediatric Infectious Diseases Conference	St. Jude Children Research Hospital, Memphis, TN, The United States of America	○明神翔太, 三崎貴子, 岡部信彦, 宮入 烈

(3) 令和4年度論文掲載実績

下線: 健康安全研究所職員

題名	学術誌等の名称・掲載ページ等	著者(共著者を含む)
Detection of Rotavirus Strains in Freshwater Clams in Japan	Food and Environmental Virology. 2022 Mar;14(1):94-100. doi: 10.1007/s12560-021-09505-w. Epub 2022 Jan 3.	Sheikh Ariful Hoque, <u>Azumi Wakana</u> , <u>Hideaki Shimizu</u> , Sayaka Takanashi, Shoko Okitsu, Kazi Selim Anwar, Satoshi Hayakawa, Niwat Maneekarn, <u>Nobuhiko Okabe</u> , Hiroshi Ushijima
Highly specific monoclonal antibodies and epitope identification against SARS-CoV-2 nucleocapsid protein for antigen detection tests	Cell Reports Medicine. 2021 Jun 15;2(6):100311. doi:10.1016/j.xcr.2021.100311. Epub 2021 May 16	Yutaro Yamaoka, Kei Miyakawa, Sundararaj Stanleyraj Jeremiah, Rikako Funabashi, Koji Okudela, Sayaka Kikuchi, Junichi Katada, Atsuhiko Wada, Toshiki Takei, Mayuko Nishi, Kohei Shimizu, Hiroki Ozawa, Shuzo Usuku, Chiharu Kawakami, Nobuko Tanaka, Takeshi Morita, Hiroyuki Hayashi, Hideaki Mitsui, Keita Suzuki, Daisuke Aizawa, Yukihiro Yoshimura, Tomoyuki Miyazaki, Etsuko Yamazaki, Tadaki Suzuki, Hirokazu Kimura, <u>Hideaki Shimizu</u> , <u>Nobuhiko Okabe</u> , Hideki Hasegawa, Akihide Ryo
ロタウイルス小脳炎の5歳女児例 - 既報との比較 -	小児科臨床 74(11): 1325-1330 2021	岡田優子, 田村大輔, 小坂仁, 桑島真理, 山岸裕和, 齋藤貴志, 安済達也, 保科優, <u>清水英明</u> , 山形崇倫
Two hidden taxa in the Japanese encephalitis vector mosquito, Culex tritaeniorhynchus, and the potential for long-distance migration from overseas to Japan	PLOS Neglected Tropical Diseases. https://doi.org/10.1371/journal.pntd.010543 June 30, 2022	Satoru Arai, Ryusei Kuwata, Yukiko Higa, Yoshihide Maekawa, Yoshio Tsuda, Sudipta Roychoudhury, Arlene Garcia Bertuso, Tran Vu Phong, Nguyen Thi Yen, Tomoki Etoh, Akira Otuka, Masaya Matsumura, Takeshi Nabeshima, Keiko Tanaka Taya, <u>Nobuhiko Okabe</u> , Mutsuo Kobayashi and Kyoko Sawabe

Proposal for the revision of the guidelines for Non-clinical studies of vaccines for the prevention of infectious diseases in Japan	Vaccine. 2022 Apr 26;40(19):2810-2818. doi: 10.1016/j.vaccine.2022.03.043. Epub 2022 Mar 24	Yumiko Nomura, Kiyohito Noda, Yuusuke Oohashi, Shin Okuda, Kazushige Maki, Takashi Ogawa, Takashi Nakano, Nao Tsuchida, Ken J. Ishii, Kunihiko Hayashi, Tasuo Iiyama, Hiroshi Onodera, Koji Ishii, Mayumi Shikano and <u>Nobuhiko Okabe</u>
Proposal for the revision of the guidelines for clinical trials of vaccines to prevent infectious diseases in Japan	Vaccine. 2022,40:6295-6304. doi: org/10.1016/j.vaccine.2022.03.036. Epub 2022 Sept/ 24	Yumiko Nomura, Kiyohito Noda, Yuusuke Oohashi, Shin Okuda, Jun Matsumoto, Takashi Nakano, Nao Tsuchida, Ken J. Ishii, Kunihiko Hayashi, Tasuo Iiyama, Hiroshi Onodera, Koji Ishii, Mayumi Shikano and <u>Nobuhiko Okabe</u>
食品テロ対策のためのLC-MS/MS による血液・尿等人体試料中のカーバメート系農薬の一斉分析法の検討	日本食品化学学会誌, Vol. 29(2), 77-84 (2022)	田口貴章, 難波樹音, 山下涼香, <u>岸美紀</u> , <u>赤星千絵</u> , <u>岡部信彦</u> , 穂山 浩
The clinical characteristics of pediatric coronavirus disease 2019 in 2020 in Japan	Pediatr Int. 2022 Jan;64(1):e14912. doi: 10.1111/ped.14912. Epub 2021 Nov 10	Tomohiro Katsuta, Naoki Shimizu, Kenji Okada, Keiko Tanaka-Taya, Takashi Nakano, Hajime Kamiya, Kiyoko Amo, Naruhiko Ishiwada, Satoshi Iwata, Makoto Oshiro, <u>Nobuhiko Okabe</u> , Ryutaro Kira, Seigo Korematsu, Shigeru Suga, Takeshi Tsugawa, Naoko Nishimura, Haruka Hishiki, Masashi Fujioka, Mitsuaki Hosoya, Yumi Mizuno, Mahito Mine, Isao Miyairi, Chiaki Miyazaki, Ichiro Morioka, Tsuneo Morishima, Tetsushi Yoshikawa, Taizo Wada, Hiroshi Azuma, Koichi Kusuhara, Kazunobu Ouchi, Akihiko Saitoh, and Hiroyuki Moriuchi
川崎市におけるレジオネラ症患者からのレジオネラ属菌の分離状況とST1346の集積について	感染症学雑誌2022 96-5 p193-197	<u>淀谷雄亮</u> , <u>原俊吉</u> , <u>湯澤栄子</u> , <u>小嶋由香</u> , <u>本間幸子</u> , 前川純子, 森田昌知, 大西真, <u>岡部信彦</u>
Development of a novel real-time polymerase chain reaction assay to detect <i>Escherichia albertii</i> in chicken meat	Foodborne Pathogens and Disease19,823-829.2022	Arai,S., Ooka,T., Shibata,M., Nagai,Y., Tokai,Y., Nagaoka,H.,Maeda,R., Tsuchiya,A., <u>Koijima.Y.</u> , Ohya,K., Ohnishi,T., Konishi,N., Ohtuka,,and Hara-Kudo
焼肉店で発生した腸管出血性大腸菌O157による食中毒事例について	IASR Vol. 43 p. 113-115 : 2022年5月号	田中早織, 榎本 彩, 中村晶子, 香川孝則, 浅見政俊, 村山由里子, 油田卓士, 伊達千晶, 田崎 薫, <u>福島和弥</u> , <u>吉田裕一</u> , <u>小嶋由香</u> , <u>岡部信彦</u>
SARS-CoV-2 B.1.1.529系統(オミクロン株)による院内クラスター対策と事例解析における発症日とCt値および抗原定量値との関連ー山口県	病原微生物検出情報(IASR) Vol. 43 p139-141: 2022年6月号	<u>三嶋貴子</u> , <u>岡部信彦</u> , 横田 啓, 長谷川真成, 池田安宏, 福迫俊弘, 調恒明
ポリカーボネート製器具・容器包装の溶出試験におけるビスフェノールA 分法の室間共同実験	日本食品化学学会誌 2022 年 29 巻 3 号 p. 134-145	片岡洋平, 六鹿元雄, 阿部智之, 阿部 裕, 安藤景子, 石原絹代, <u>生山温子</u> , 内山陽介, 大坂郁恵, 大野浩之, 風間貴充, 木村 亜莉沙, 佐藤 環, 高橋良幸, 田中 葵, 棚橋高志, 谷拓哉, 照井善光, 外岡大幸, 永井 慎一郎, 野村千枝, 花澤 耕太郎, 羽石 奈穂子, 早川雅人, 平林尚之, 藤吉智治, 四柳道代, 渡辺一成, 佐藤恭子
合成樹脂製の器具・容器包装における溶出試験の精度の検証	食品衛生学雑誌 2022 年 63 巻 2 号 p. 51-61	尾崎麻子, 六鹿元雄, 岸 映里, 阿部智之, 阿部 裕, 安藤景子, 石原絹代, <u>生山温子</u> , 内田晋作, 大坂郁恵, 大野浩之, 風間貴充, 加藤千佳, 小林 尚, 佐藤 環, 柴田 博, 関戸晴子, 高島秀夫, 田中 葵, 外岡大幸, 花澤 耕太郎, 山口未来, 山田悟志, 吉川光英, 渡辺一成, 佐藤恭子

題名	報告書の名称・掲載ページ等	報告者(共同研究者等を含む)
カビ毒の分析法の開発と汚染実態調査	厚生労働科学研究費補助金(食品の安全確保推進研究事業)「国内流通食品に検出されるカビ毒に対する安全性確保の方策の確立に資する研究」分担研究報告書	吉成知也, <u>佐藤 英子</u> , 竹内 浩, 谷口 賢, 福光 徹, 大脇 進治, 森田 剛史, 村山 智史, 下山 晃, 中村 歩, 小杉 正樹, 宮崎 光代
新興感染症流行時における地方自治体の食品防御対策の検討	厚生労働科学研究費補助金(食品の安全確保推進研究事業)「新型コロナウイルス感染症対策に取り組む食品事業者における食品防御の推進のための研究」令和4年度 総括・分担研究報告書	<u>岡部信彦</u> , <u>赤星千絵</u> , <u>佐々木国玄</u> , <u>梶山理沙</u> , <u>牛山温子</u> , <u>浅井威一郎</u> , 赤木英則, 油田卓士, 渡辺麻衣子, 工藤由起子
市販製品に残存する化学物質に関する研究(蒸発残留物試験及び総不揮発性物質試験法の性能評価)	厚生労働科学研究費補助金(食品の安全確保推進研究事業)「食品用器具・容器包装等の衛生的な製造管理等の推進に資する研究」令和4年度総括・分担研究報告書	六鹿元雄, 浅川大地, 阿部 裕, 尾崎麻子, 片岡洋平, 岸 映里, 近藤 翠, 佐藤 環, 藤原恒司, 水口智晴, 阿部智之, 池田真季, 糸川尚子, 今井浩一, 岩越景子, <u>牛山温子</u> , 内山陽介, 占部彩花, 海野明弘, 大野浩之, 大橋公泰, 大畑昌輝, 大脇進治, 風間貴充, 金田みのり, 熊坂謙一, 御所窪誠, 小林保志, 近藤貴英, 櫻木大志, 座間俊輔, 下畑ちひろ, 杉本直樹, 高坂典子, 高島秀夫, 高橋良幸, 宮坂陽子, 武田美穂, 田中 葵, 田中秀幸, <u>田中佑典</u> , 棚橋高志, 外岡大幸, 永井慎一郎, 柴田 博, 早川雅人, 平林尚之, 藤吉智治, 宮川弘之, 村山悠子, 藪谷充孝, 八巻ゆみこ, 山口未来, 山田恭平, 横峯真吾, 吉川光英, 四柳道代, 若山貴成, 渡辺一成, 和田佑里華
家庭用品中のTDBPP及びBDBPP化合物試験法の妥当性に関する研究	厚生労働科学研究費補助金(化学物質リスク研究事業)「家庭用品中の有害物質の規制基準に関する研究」令和4年度総括・分担研究報告書	河上強志, 大嶋智子, 大山正幸, 西以和貴, 菅谷なえ子, <u>高居久義</u> , 若山貴成, 大野浩之, 田原麻衣子, 五十嵐良明
地方感染症情報センターの立場からのサーベイランス戦略と枠組みの開発	厚生労働科学研究「今後の新興・再興感染症の発生時に備えたサーベイランス戦略と枠組みの開発」令和4年度分担研究報告書	播磨由利子, 杉下由行, 宗村佳子, 小川麻萌, 岸本 剛, 尾関由姫恵, 片山丘, <u>三崎貴子</u> , <u>丸山 絢</u> , 中村廣志, 金沢聡子, 田村有美, 木内郁代, 矢島理志, 井村香織, 神谷信行
腸管出血性大腸菌の病原体保有者に対する抗菌薬投与と排菌期間の関連を検討する後ろ向きコホート研究	厚生労働科学研究「感染症の病原体を保有していないことの確認方法について」の改定に資する研究」令和4年度分担研究報告書	<u>三崎貴子</u> , <u>岡部信彦</u>
レジオネラ属菌の新規検査法の検討	厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業)令和4年度研究報告書「公衆浴場の衛生管理の推進のための研究」	<u>淀谷雄亮</u> , 武藤千恵子, 山口友美, 梅津萌子, 高久靖弘, <u>西里恵美莉</u> , <u>吉田裕一</u>
浴槽水等から分離されたレジオネラ属菌の分子疫学解析の検討	厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業)令和4年度研究報告書「公衆浴場の衛生管理の推進のための研究」	<u>淀谷雄亮</u> , <u>西里恵美莉</u> , <u>吉田裕一</u>

(5) 令和4年度その他執筆実績

下線:健康安全研究所職員

題名	学術誌等の名称・掲載ページ等	著者(共著者を含む)
新型コロナウイルス感染症を主とした学校での感染症対策について	地域医学 35(1):15-19, 2021.東京都医師会学校医会誌 45:18-40, 2022	岡部信彦
COVID-19 -2021年8月現在	日本臨床腸内微生物学会誌 24(1):14-18, 2022	岡部信彦
新型コロナウイルス感染症:対策の課題と今後の展望(序文)	医療と社会 32(1):5-8, 2022	岡部信彦、武藤香織
新型コロナウイルス感染症—これまでとこれから—	獣医公衆衛生研究 24-2:39-46, 2022	岡部信彦
COVID-19 診療の最前線からVol.9 専門家会議	医学のあゆみ 1280(7):805-810, 2022	岡部信彦
パンデミック感染症に対する社会的備え、国の役割	呼吸器ジャーナル 708(3):440-446, 2022	岡部信彦
HPVワクチン積極的勧奨再開に思う	臨床婦人科産科 76(8):718-724, 2022	岡部信彦
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の現在と未来	日本内科学雑誌 111(9):1731-1739, 2022	岡部信彦
予防接種ストレス関連反応(ISRR) 予防接種プログラム責任者及び医療関係者のための予防接種ストレス関連反応(ISRR)の予防, 発見及び対応の実施マニュアル(WHOマニュアル完訳)	予防接種ストレス関連反応(ISRR) 予防接種プログラム責任者及び医療関係者のための予防接種ストレス関連反応(ISRR)の予防, 発見及び対応の実施マニュアル(WHOマニュアル完訳) https://apps.who.int/iris/handle/10665/330277 2022.6	岡部信彦, 奥山 舞, 多屋馨子, 中島一敏, 三崎貴子
風疹	日本医事新報社 私の治療 No.5156 P.45	三崎貴子
予防接種に関するQ&A 集 2022	日本ワクチン産業会 2022.8	岡部信彦、多屋馨子
学校管理の動向-感染症-	令和4年度版「学校保健の動向」P.37-P.46 (公財)日本学校保健会 2022.11 丸善出版	岡部信彦

(6) 令和4年度表彰等受賞実績

表彰の名称	学会名等	演題・研究課題名等	表彰者
支部長表彰	令和4年度地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部		湯澤栄子、赤星千絵
会長感謝状 行政担当者	令和4年度公益社団法人日本食品衛生協会		赤星千絵
会長感謝状	全国食品衛生監視員協議会		丸山 絢

3 調査研究報告

令和4年度調査研究結果並びに事例等の一部を次ページ以降で報告する。

- (1) 川崎市における梅毒の発生状況ー過去10年間の動向と近年の報告数増加についてー・・・93
(研究責任者：感染症情報センター担当 廣富 匡志)

- (2) 新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)の分子疫学解析・・・94
(研究責任者：ウイルス・衛生動物担当 荒井 千寛)

※本報告のカラー版については、川崎市健康安全研究所ホームページに掲載のPDF版年報を参照してください。

- (3) 食品衛生行政機関における食品防御対策の検討について・・・99
(研究責任者：ウイルス・衛生動物担当 赤星 千絵)

川崎市における梅毒の発生状況—過去 10 年間の動向と近年の報告数増加について—

川崎市健康安全研究所

○廣富匡志 丸山 絢 三崎貴子 岡部信彦

【背景及び目的】

川崎市における梅毒の報告数は、近年増加傾向である。市内における梅毒の報告数増加の原因を探るため過去 10 年間の発生動向について調査を行った。

【方法】

2012 年第 1 週～2022 年第 17 週に、川崎市内で「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき届出のあった梅毒の報告例を対象として、性別、年齢群別及び感染経路別に解析を行った。

【結果】

2012 年に 15 件であった梅毒の報告数は徐々に増加し、2017 年には 77 件となった。2018 年から 2020 年は各 71 件、62 件、48 件と減少したが、2021 年に 65 件と再び増加し、2022 年は第 17 週時点で 36 件と同時期では過去最多であった。

性別では、2012 年、2013 年に 86.7%、81.0%であった男性の割合が、以降はやや減少し 2015 年の 49.0%から 2018 年の 73.2%まで変動しながら推移した。2021 年以降は再び増加し、2022 年は第 17 週時点で 75.0%となっている。

年齢群別では、男性は 20～40 歳代が、各 26.3%、22.1%、23.3%と全体の 71.6%を占めた。女性は 20 歳代が 46.7%と最多で、30 歳代の 21.3%と合わせて全体の 68.0%であった。先天梅毒は 2016 年、2019 年及び 2021 年に各 1 件報告があった。

感染経路別では、2013 年に 52.9%であった男性の同性間性的接触（同性間＋異性間を含む）が、その後は減少し 2015 年から 2020 年は概ね 10%前後で推移したが、2021 年に再び 26.8%と増加した。男性の異性間性的接触は、2013 年までは 30%未満であったが 2015 年までに 70.8%まで増加し、以降は 50～60%で推移した。女性の同性間性的接触は、2019 年、2021 年の各 1 件のみで、異性間性的接触が 68.4%～100%であった。

【考察】

2013 年前後は男性における同性間性的接触による感染が多くを占め、特定の集団内での感染が原因であると報告されている。2015 年以降は男性における異性間性的接触による感染が増加したことから、この集団内での感染が市中に拡大し、全体の報告数の増加につながったと推察された。近年再び、男性における同性間性的接触による感染が増加しており、過去の流行と同様であれば、特定の集団における感染の増加が 2021 年以降の報告数増加の原因であることも示唆される。報告数が増加すれば、20～30 歳代の妊娠可能年齢の女性にも感染が拡大し、先天梅毒の増加も危惧される。梅毒の発生動向を注視しながら感染予防について啓発を行うことが重要であると考えられる。

新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)の分子疫学解析

荒井千寛、夏井航平、若菜愛澄、畠山理沙、佐々木国玄、
赤星千絵、清水英明、小嶋由香、岡部信彦

【背景】

新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) は 2019 年 12 月に中国で発見され、その後日本を含む世界中で感染が広がった。当所では、2020 年 1 月末から検査を開始し、2022 年 7 月までに 77, 179 件の SARS-CoV-2 のリアルタイム PCR 検査を行い、陽性となった一部の検体について SARS-CoV-2 の全ゲノム解析を実施し、変異株サーベイランスを行ってきた。今回、これらのデータについて詳細に解析することにより、川崎市内 (以下、市内) における SARS-CoV-2 の伝播や変異の獲得について若干の知見を得たので報告する。

【方法】

1 解析対象

2020 年 1 月末から 2022 年 7 月までに当所に搬入され (表 1. 図 1. 図 3. は 2022 年 12 月まで実施分を含む)、当所及び国立感染症研究所でゲノム解析を実施した検体 942 件 (2022 年 12 月まで含む: 1391 件) から得られた検体採取日、SARS-CoV-2 リアルタイム PCR 検査結果及び SARS-CoV-2 ゲノム情報を用いた。

ゲノム解析については、国立感染症研究所発行の病原体検出マニュアル 2019-nCoV 及び新型コロナウイルスゲノム解読マニュアル Qiagen 社 QiaSEQ FX 編に沿って実施した。

2 解析方法

(1) ハプロタイプネットワーク図の作成

ゲノム解析には“MEGA” (<https://www.megasoftware.net/>)、“COVID-19” (国立感染症研究所が運営する新型コロナウイルス解析用 Web サイト) を用い、ハプロタイプネットワーク図の作成には“PopART” (<https://popart.maths.otago.ac.nz/>)、“PopART Trait File Generator” (PopART Trait File Generator: Beta version (<https://nasasaki.github.io/popart-trait-generator/>)) を用いた。

(2) アミノ酸置換数の算出

各検体の“COVID-19”から得た SARS-CoV-2 全ゲノム情報及び各領域でのアミノ酸置換数を集計し、各採取月の 1 検体あたりの置換数の平均を算出した。

(3) 遺伝子変異の種類数の集計

“COVID-19”から得た各検体の SARS-CoV-2 全ゲノム情報を用いて、SARS-CoV-2 武漢株からの遺伝子変異部位の情報を検索し、月毎に検出された遺伝子変異の種類数を集計した。なお、複数の検体で同じ変異の種類が検出された場合、重複計上しないようにした。

(4) 川崎市と全国の比較

市内と全国における流行状況を比較するために川崎市と全国の陽性者数及び PANGO 系統の割合を比較した。相関係数は、Excel の CORREL 関数を用いて算出した。全国の陽性者数については厚生労働省のホームページ 1) を、各系統の月次推移については国立感染症研究所ホームページ 2) を参照した。

表 1. 川崎市内で検出された SARS-CoV-2 の系統数の経年変化

	2020年	2021年	2022年
検出された系統数	12	18	75
前年と重複して検出された系統	-	3	4
陽性者数 (川崎市)	4550	40270	428008

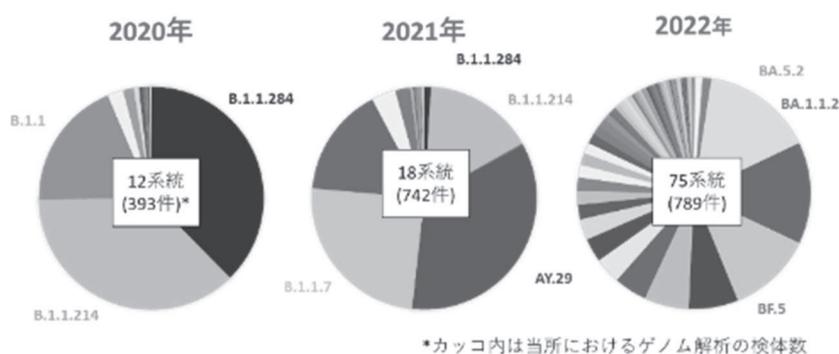


図 1. 川崎市内で検出された SARS-CoV-2 の系統数の経年変化

【結果及び考察】

1 市内における SARS-CoV-2 検出系統数の経年変化

市内の SARS-CoV-2 陽性者数と

検出された SARS-CoV-2 系統数を経年比較した（表 1 図 1）。市内の陽性者数は、年々約 8～10 倍増加しており、検出された系統数についても 2020 年には 12 系統、2021 年には 18 系統、2022 年には 75 系統と年々増加していた。

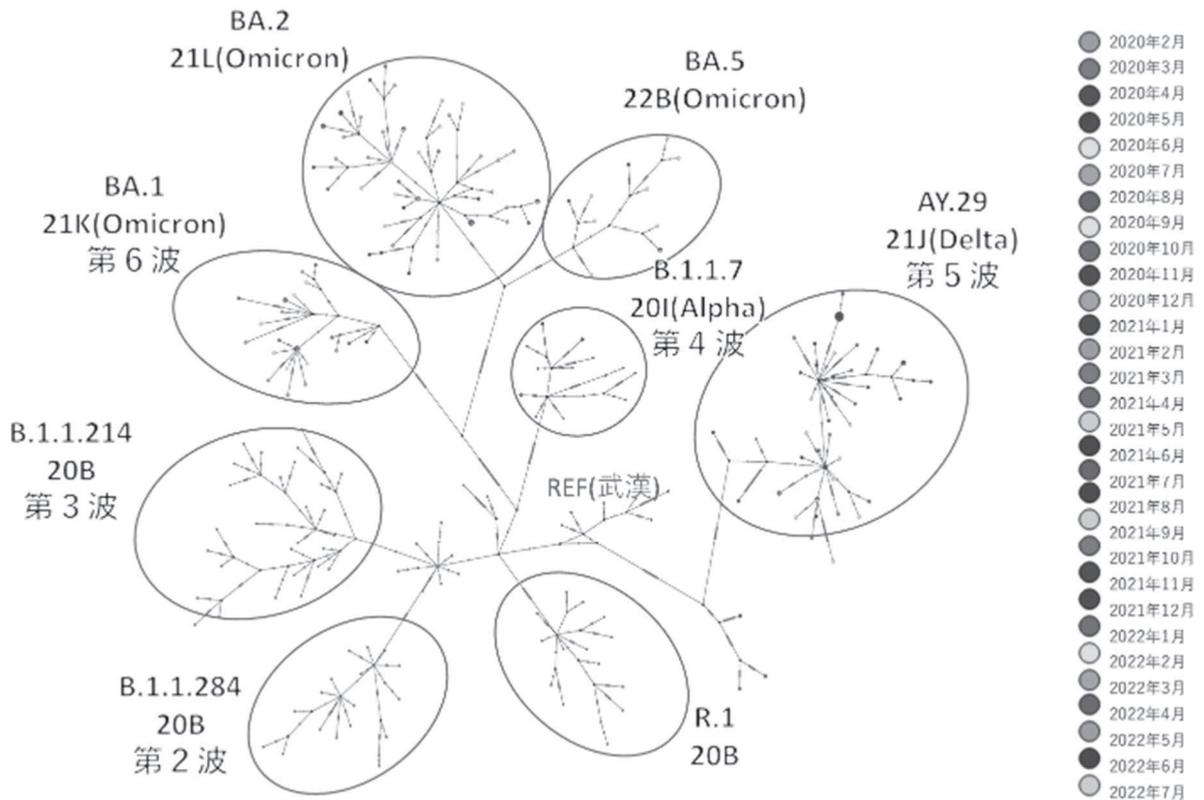


図 2 a. 川崎市内で検出された SARS-CoV-2 のハプロタイプネットワーク図（2020 年～2022 年 7 月）

2 川崎市のハプロタイプネットワーク図

市内において流行した系統間の差を時系列で調べるため、2020 年から 2022 年 7 月までの検体を用いて、ハプロタイプネットワーク図を作成した（図 2 a）。感染者増加の波ごとに検出した系統群は移り変わり、隣接した場所だけでなく、離れた場所に形成されていることもあった。

2022 年の 1 月から 12 月の検体を用いて、ハプロタイプネットワーク図を作成した（図 2 b）。検出した月ごとの推移では、BA.1 は 1 月から 4 月、BA.2 は 2 月から 12 月、

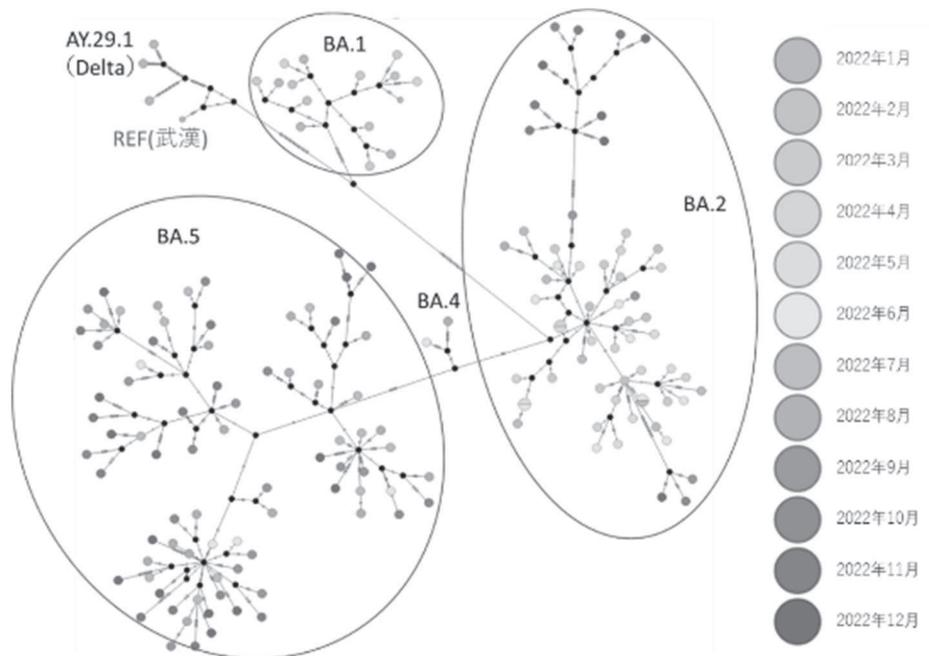


図 2 b. 川崎市内で検出された SARS-CoV-2 のハプロタイプネットワーク図（2022 年）

BA.5は6月から12月まで検出されており、特徴的な状況としてBA.2とBA.5が長期間検出されていた。

3 アミノ酸の置換数

市内において流行している SARS-CoV-2 の変化を知るために、方法4のとおり算出したゲノムの領域ごとのアミノ酸の置換数(ORF1a、ORF1b、S、ORE3a、E、M、ORF6、ORF7a、ORE7b、ORF8、N、ORF9b)の変化を図3に示した。アミノ酸置換数の合計は、流行開始当初から2022年7月まで、おおよそ上昇傾向にあった。また、2021年12月から翌2022年1月にかけて、大幅な増加がみられ、この期間は

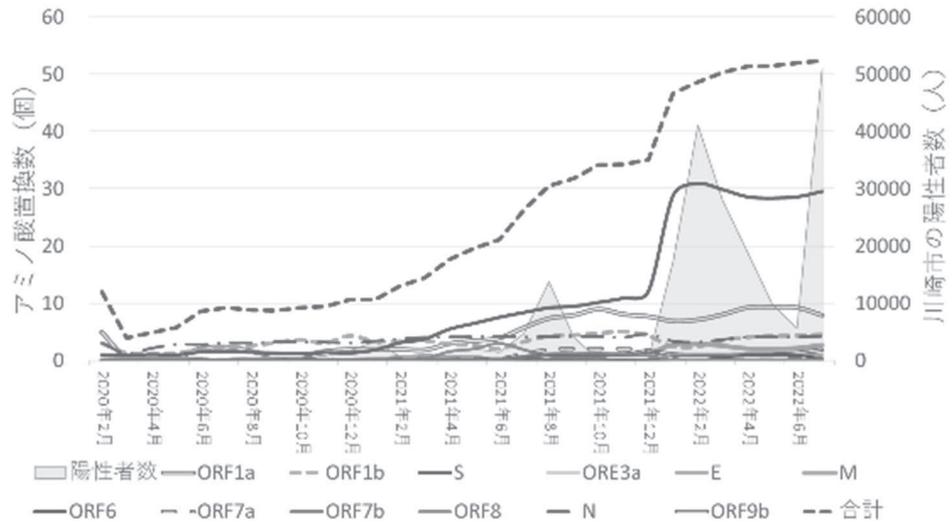


図3. 川崎市で検出された SARS-CoV-2 のアミノ酸置換数の変化

AY.29 を中心としたデルタ株から BA.1、オミクロン株への移行が急速に進んだ時期であった。また、各ゲノムの領域における置換数の変化を比較すると、置換数の合計の増加はS(スパイク)領域の置換数の急増によるものであることが分かった。このことから、オミクロン株がそれまでの系統に比べてS領域に非常に多くのアミノ酸の変異を蓄積していることが示唆された。S領域はコロナウイルスがヒト細胞の受容体と結合するたんぱく質等をコードしており、この部分の変異は感染伝播力の上昇及びワクチン効果を減弱させる免疫逃避能の上昇の可能性が指摘されているため、陽性者数の増加に影響を与えた一因と思われた。

4 遺伝子変異数と陽性者数

市内の感染者数の増加と遺伝子変異数の変化を図4 a bに示した。

川崎市における1か月間の検査数の最大は2021年8月の7202件であり、陽性者数の増減と検体数の増減はおおよそ一致していた。図4 bに示すとおり、多くの変異を検出したのは、2021年8月(314種)、2021年9月(304種)、2021年1月(303種)であった。遺伝子変異数と陽性者及び検体数との相関を比較したところ、変異数—陽性者数の相関係数は0.73であり、正の相関が強く示されたが、変異数—検体数の相関係数は0.36であり、弱い正の相関が示された。陽性者数の増加は市内の

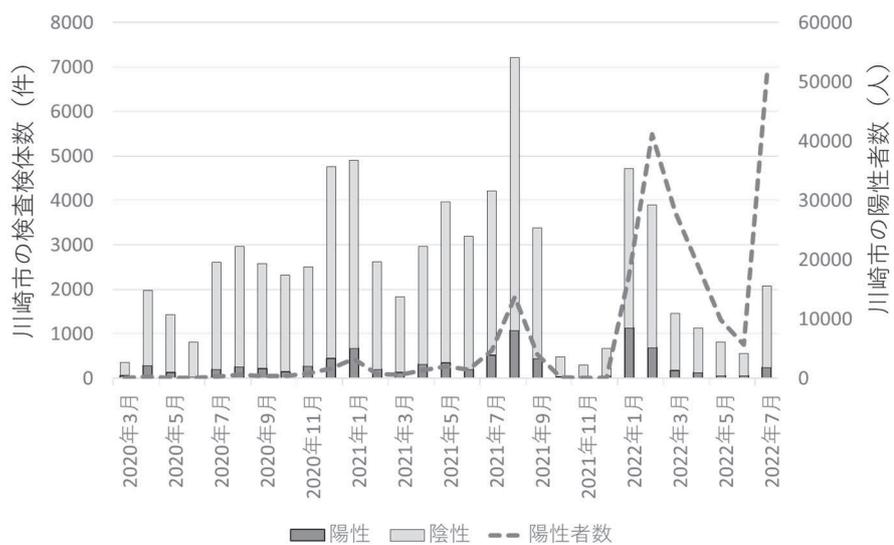


図4 a. 川崎市の検査検体数と陽性者数の推移

既存の系統による感染者の増加だけでなく、外部から新たな系統が持ち込まれることによる感染者の増加も含んでいる。そのため、感染者数の変化と遺伝子の変異数の相関を知るためには別の手法を検討する必要がある。

5 川崎市と全国の検出系統の比較

川崎市と全国の陽性者数の経年推移を比較したところ、ほぼ同様に増減していた(図5 a)。

検出された PANGO 系統の割合の経年推移についても、図5 bに示すとおり全国と川崎市の傾向は類似していたが、川崎市では2021年の12週から18週にかけて、R.1系統の流行によりB.1.1.7系統の増加がみられなかった。また、2022年20週以降は多数の系統が出現しており、全国とは異なる流行状況が示された。これらは、地域差や川崎市内のゲノム解析検体数の差が影響していると考えられた。

新型コロナウイルス感染症を取り巻く状況が変化し、流行当初に比べて危機感弱まったが、新たな変異によるリスクを早く捉えて対応を検討できるよう、今後も変異株ゲノムサーベイランスを継続予定である。また、他の感染症のまん延防止にも貢献できるよう、他のウイルスでもゲノム解析を応用できるよう検討を続けていきたい。

【参考文献】

- 1) 厚生労働省ホームページ：データからわかる－新型コロナウイルス感染症情報－、<https://covid19.mhlw.go.jp/>、2022年8月25日閲覧
- 2) 国立感染症研究所ホームページ：SARS-CoV-2変異株について・新型コロナウイルスゲノムサーベイランスによる国内の系統別検出状況
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/2019-ncov/2551-cepr/10745-cepr-topics.html>、2022年8月25日閲覧

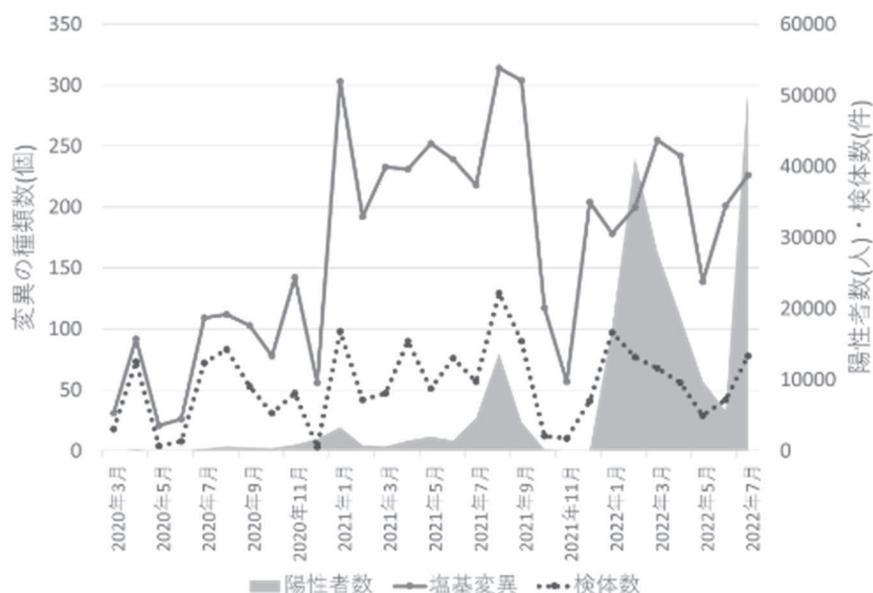


図4 b. 川崎市で検出された変異の種類数と陽性者数の推移

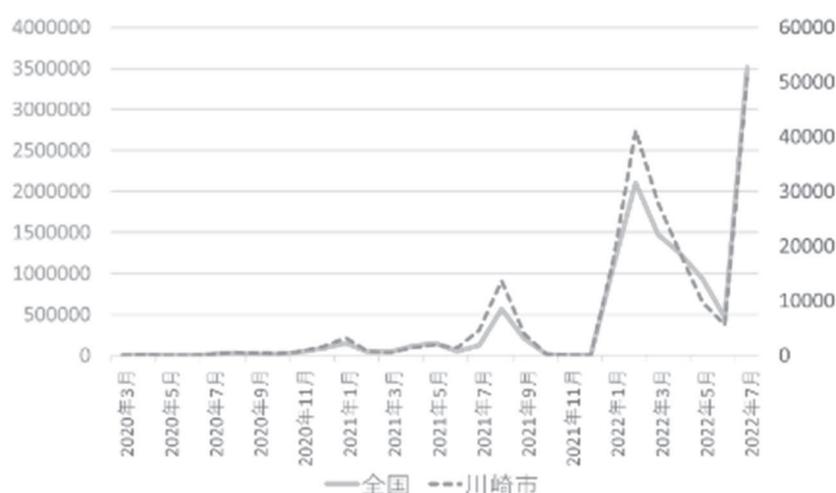


図5 a. 陽性者数の推移(2020年～2022年7月)

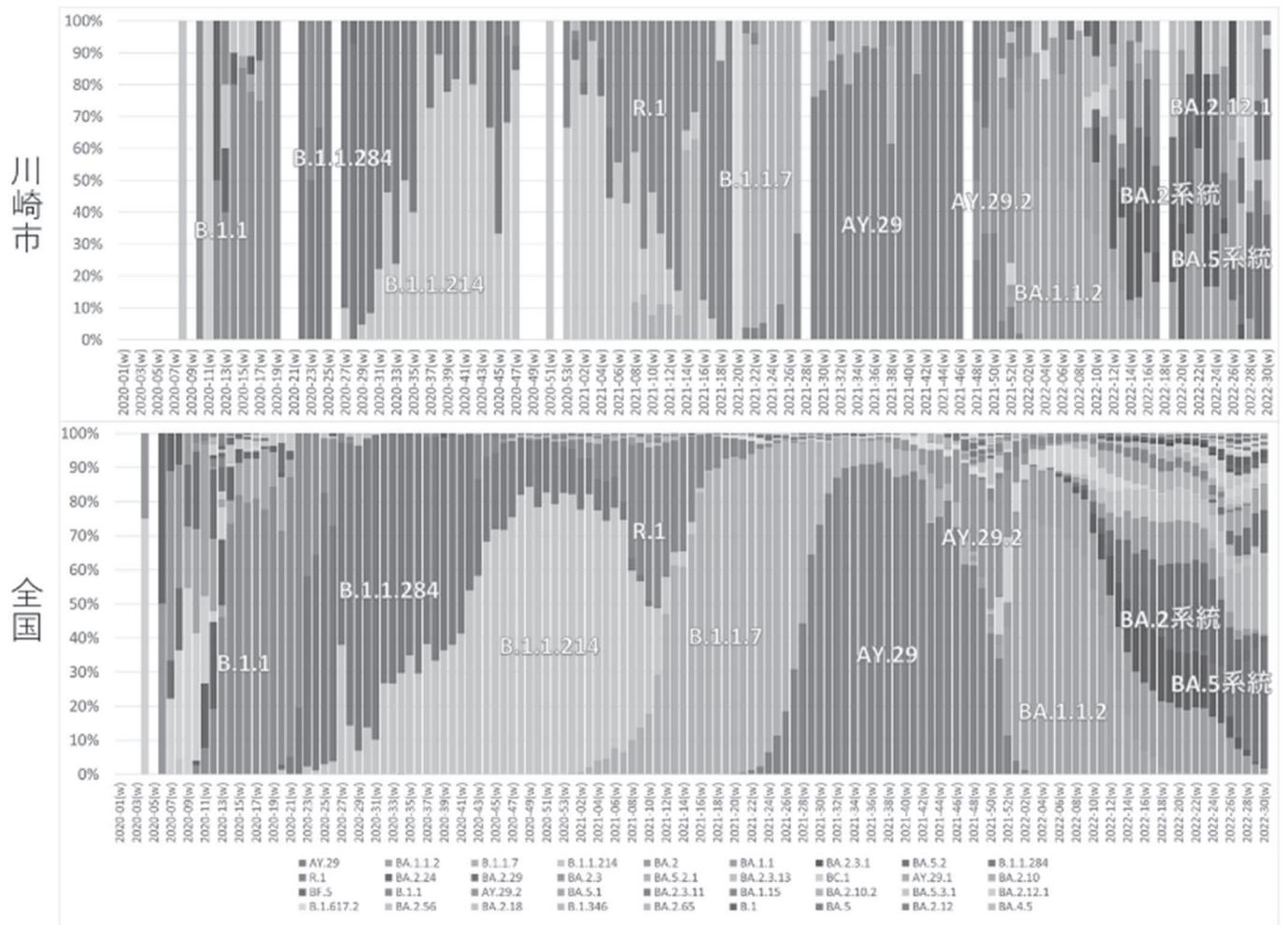


図5 b. 検出された PANGO 系統の割合の推移 (2020 年～2022 年 7 月)

食品衛生行政機関における食品防御対策の検討について

○赤星千絵¹、畠山理沙¹、牛山温子¹、油田卓士²、赤木英則³、浅井威一郎¹、岡部信彦¹
 (¹川崎市健康安全研究所、²教育委員会事務局健康教育課、³川崎市保健所食品安全担当)

【背景】

食品衛生行政機関において、食品安全 (food safety) については食品関係法令の具体的な基準や規定に基づき、指導・監督等が行われている。一方、食品防御 (food defense) については、食品関係法令に基づき事案発生後 (発覚後) の危害拡大防止や食中毒の原因究明等に関して、各自自治体で体制整備が進められているが、意図的な行為に対しての未然防止にかかる対応の規定等はなく、事業者の自主的な取組みを推進するよう、具体的な対応方法をわかりやすく提示していくことが必要とされていた。この対策に関する現状について整理し、行政機関における食品防御対策への関わり方を検討した。

【方法】

行政機関における食品防御対策に関して検討するにあたり、現状の対応を参考にするため、以下の 2 点の調査を実施した。

(1) 食品衛生監視員経験者対象アンケート調査

川崎市の食品衛生監視員 (以下、監視員) 経験者 146 名を対象に、監視時の食品防御と関わり
 の深い相談事例や有事対応における懸念等について、令和 4 年 11~12 月にアンケート調査を実施し、得られた 94 名分の回答について集計した (回答回収率: 64%)。

(2) 全国の食品衛生監視指導計画の調査

47 都道府県・20 政令指定都市の計 67 自治体について、各自自治体のホームページに掲載されている令和 4 年度の食品衛生監視指導計画を集め、食品防御につながる対策を含んでいるかを調べるため、食品防御に関連しそうな「混入」「意図的」「警察」等の 13 のワードについて、Adobe Acrobat Reader のテキスト検索機能を用いて検索した。記載内容から食品防御と関連性がないと判断したものは集計から除いた後、13 ワードを 1 つ以上含む計画についてワードを含む部分の記載を内容別に分け、集計した。

表1. 回答者内訳

	回答数
食品衛生監視員・現役	45
食品衛生監視員・経験者	49
計	94

表2. 食品衛生監視員経験年数

	人数
2年未満	7
2~5年	44
6~10年	25
11~15年	11
16年以上	7
計	94

【結果】

(1) の調査における回答者の内訳等は表 1 表 2 に示した。食品への意図的な混入について食品事業者等から相談の有無への問いに対し、「有り」の回答が 6 件得られた。相談内容は、監視カメラによる従業員の管理方法や事業者が実施した現状の対策の妥当性、従業員又は利用客による商品へのいたずらに対する対策であった。また、食品防御に関わる相談事例や事件等に際しての不安については、知識や経験がない、過失と故意 (犯罪) の判別が難しい、警察との連携への不安等の記載もあった (表 3)。国への要望として挙げた意見には、地方自治体が食

表3. 不安内容の概要集計結果

不安内容	回答数 [※]
知識や経験がない、マニュアルがない	43
警察との連携の仕方	13
食中毒、過失、故意の判別が難しい	10
営業者への対応	10
食品衛生監視員としての役割が不明確	8
内部通報の際の通報者の保護	2
特になし	3
その他	4
計	79

※: 1件の回答に複数の不安内容が含まれている場合、それぞれ計上した。

品防御対策に關与する必要性（役割）を問うものが最も多く、これについては必要がないと考えている意見と、役割が明確化されていれば業務を行いやすいと考えている意見があるように感じられた。次に多かった要望としては、食品防御に関わる研修の要望が多かった（図1）。

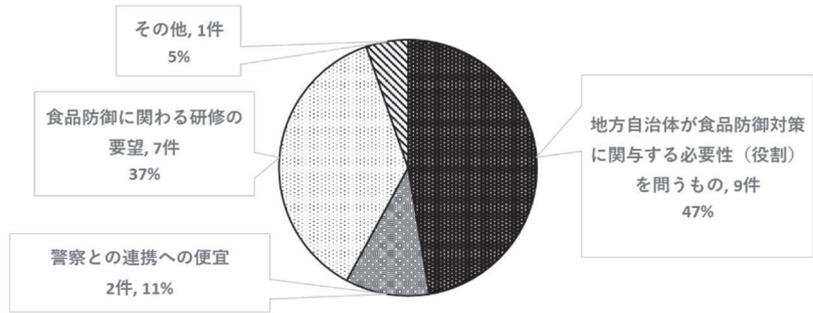


図1. 国への要望の概要集計

(2)の調査を実施したところ、結果の内訳では、「警察」「混入」「毒物」「化学物質」の記載自治体数が多かった（表4）。明確に意図的な混入について記載していた自治体もあったが、多くは食中毒の一般的な対応として、「毒物」や「化学物質」の混入を考慮することを記載した内容が多く、それらは食品防御とも関連するとして検索結果に計上した。「異物混入」を記載している自治体は多かったが、意図的な混入を意識した記載でないものは今回計上しなかった。その結果、食品防御にも関連した内容として13ワードを食品衛生監視指導計画に1つ以上含む自治体数は30と全体の45%であった。その30自治体の13ワードを含む部分の記載について内容別に集計したところ、自治体間や関連機関、警察等との連携協力（情報共有を含む）等の事後の対応に向けた取組みが多かった一方、意図的な異物混入を未然に防ぐ取組みについて記載している自治体が2自治体あり、「フードディフェンス」の記載があった自治体であった（表5）。

表4. 令和4年度食品衛生監視指導計画内の食品防御関連ワードを検索した結果※

検索ワード	記載自治体数
混入	12
意図的	5
警察	15
事件性	3
犯罪	2
悪意	2
特異	1
毒物	12
化学物質	12
毒劇物	6
毒劇物迅速検査キット	5
食品テロ	1
フードディフェンス	2

※各検索ワードで検索し、記載内容から食品防御と関連性がないと判断したものは除いた。

表5. 食品防御関連ワードを含む部分の記載内容の内訳

内訳	記載自治体数
連携協力（情報共有含む）	29
発生時の原因究明	26
被害拡大防止	26
未然に防ぐための取組み	2

【考察】

(1)(2)の結果から、未然防止の食品防御対策に関しては所管が不明瞭な自治体が多いと考えられ、そのような中でも食品衛生監視員は、食品事業者等からの食品防御対策に関する相談に対応することがあると考えられた。食品事業者等の身近な相談窓口として食品衛生行政機関が担うべき役割が明確化された方がよいと思われた。また、要望に応じた食品衛生監視員に対する研修実施の必要性を感じた。これらの結果を今後の対策につなげたい。

【謝辞】

本研究は令和3-5年度厚生労働科学研究費補助金（食品の安全確保推進研究事業）「新型コロナウイルス感染症対策に取り組む食品事業者における食品防御の推進のための研究」（研究代表者：今村知明）により実施しました。関係者の方々に深謝いたします。

【第5章 職員に関する事項】

1 人事記録

(1) 異動(出)

年月日	役職	氏名	配属先
R4.4.1	課長補佐	赤木 英則	健康福祉局保健医療政策部課長補佐
R4.4.1	主任	佐野 達哉	健康福祉局中央卸売市場食品衛生検査所主任
R4.4.1	主任	駒根 綾子	健康福祉局保健医療政策部動物愛護センター主任

(2) 異動(入)

年月日	役職	氏名	前所属
R4.4.1	担当係長	湯澤 栄子	病院局川崎病院検査科担当係長
R4.4.1	主任	平賀 江利子	経済労働局計量検査所主任
R4.4.1		荒木 啓佑	健康福祉局保健所医事・薬事課
R4.4.1		荒木 靖也	新任
R4.4.1		今井 朝香	新任

(3) 内部異動

年月日	役職	氏名	所属
R4.4.1	担当課長	清水 英明	昇任
R4.4.1	担当係長	吉田 裕一	消化器・食品細菌から呼吸器・環境細菌へ異動
R4.4.1	担当係長	赤星 千絵	昇任
R4.4.1	主任	三亀 美津穂	消化器・食品細菌から残留農薬・放射能へ異動
R4.4.1	主任	高居 久義	昇任
R4.4.1	主任	江原 庸	昇任
R4.4.1	主任	佐々木 国玄	昇任
R4.4.1		池田 史朗	感染症情報センターから消化器・食品細菌へ異動
R4.4.1		畠山 理沙	企画調整からウイルス・衛生動物へ異動
R4.4.1		荒井 智博	総務から感染症情報センターへ異動

2 職員名簿（令和4年4月1日現在）

担当理事

（所長） 技術職員 岡部 信彦

担当部長

（副所長） 技術職員 須崎 聰

〔総務〕

担当係長 事務職員 盛崎 健一
主任 技術職員 梅田 裕一
主任 事務職員 平賀 江利子
主任 同 門脇 幸子
同 成田 哲治

〔企画調整〕

担当部長 技術職員 三崎 貴子

〔企画調整〕

担当係長 技術職員 杉本 徳子
同 荒木 啓佑

〔感染症情報センター〕

担当係長 技術職員 丸山 絢
同 廣富 匡志
同 荒井 智博

〔理化学〕

担当課長 技術職員 清水 英明

〔食品〕

課長補佐 技術職員 浅井 威一郎
主任 同 佐藤 英子
主任 同 栗田 史子
主任 同 江原 庸
同 今井 朝香

〔水質・環境〕

課長補佐 技術職員 佐々木 清隆
主任 同 小林 亨
主任 同 田中 佑典
主任 同 牛山 温子
主任 同 高居 久義

〔残留農薬・放射能〕

担当係長 技術職員 岸 美紀
主任 同 三亀 美津穂
同 江崎 康司
同 沼田 航遥

〔微生物〕

担当課長 技術職員 小嶋 由香

〔消化器・食品細菌〕

担当係長 技術職員 湯澤 栄子
主任 同 阿部 光一朗
同 池田 史朗
同 安澤 洋子
同 福島 和弥
同 荒木 靖也

〔呼吸器・環境細菌〕

担当係長 技術職員 吉田 裕一
主任 同 淀谷 雄亮
同 西里 恵美莉

〔ウイルス・衛生動物〕

担当係長 技術職員 赤星 千絵
主任 同 佐々木 国玄
同 畠山 理沙
同 若菜 愛澄
同 荒井 千寛
同 夏井 航平

令和4年度
川崎市健康安全研究所年報
第10号(通巻第58号)

令和5年度発行

発行・編集 川崎市健康安全研究所

所在地 〒210-0821

川崎市川崎区殿町 3-25-13

川崎生命科学・環境研究センター(LiSE)2階

TEL 044(276)8250

FAX 044(288)2044

印刷 清光堂印刷株式会社